

日本彫刻史基礎資料集成 鎌倉時代造像銘記篇
第一期・第二期 (全十六卷)
総目録

凡 例

一、『日本彫刻史基礎資料集成』鎌倉時代造像銘記篇「第一期・第二期（全十六卷）総目録」は、本篇第一期（第一巻から第八巻及び補遺まで）、第二期（第九巻から第一六巻まで）の各巻に収録した四百八十六件の作品（通常の収録四百四十二件、補遺としての収録四十四件）の総目録である。

二、各作品について、収録番号・名称・所蔵者・年紀・品質構造・法量・銘記・納入品の概要を摘記し、銘記中乃至納入品銘記中の年紀・作者等を示す文言は原文のまま記載する。所蔵者は令和二年三月現在のものとしたため、収録巻の記載とは異なる場合がある。

一、本目録の編集は左記の者が担当した。

第一期 森 登（学藝書院）

第二期 佐々木あすか

第一卷 文治二年（一一八六）・建仁二年（一一二一）

一 阿弥陀如来像、不動明王及び二童子像、毘沙門天像

静岡 願成就院 文治二年（一一八六）

阿弥陀如来像 檜、寄木造り、漆箔 一四二・〇

不動明王及び二童子像 各檜、割矧ぎ造り、古色塗り、玉眼 不動明王一三七・二、

矜羯羅童子七四・四、制吒迦童子八三・五

毘沙門天像 檜、寄木造り、古色塗り、玉眼 一四八・二

納入品 五輪塔形銘札 その一・その二（檜薄板製、墨書 五大種子・宝篋印陀羅

尼、裏面に文治二年五月三日始、巧師勾当運慶、願主、執筆僧）、矜羯羅童子分・

制吒迦童子分（檜薄板製、墨書 五大種子・大日如来応身真言・宝篋印陀羅尼、裏

面に文治二年五月三日、巧師勾当運慶、願主、執筆僧）

二 阿弥陀如来像 和歌山 高畑区文化財顕彰保存会 文治二年（一一八六）

檜、一木造り、彩色 八二・一 光背 檜、彩色

銘記 像内墨書（像名、願趣、文治二年十一月始下旬造立、願主）

三 毘沙門天像 大分 永興寺 文治三年（一一八七）

檜、割矧ぎ造り、彩色・漆箔 一六六・七 邪鬼 檜、彩色

銘記 像内墨書（毘沙門天種子、文治三年五月二十八日、願主）

四 地藏菩薩像 滋賀 機野寺 文治三年（一一八七）

檜、寄木造り、漆箔 一一二・二 光背 檜、素地

銘記 像内墨書（勸進上人、願趣、文治三年十月十五日供養、願主）

五 阿弥陀如来及び両脇侍像、不動明王像、毘沙門天像

神奈川 浄楽寺 文治五年（一一八九）

阿弥陀如来及び両脇侍像 各檜、寄木造り、金泥塗り・漆箔 阿弥陀如来一四一・

八、左脇侍一七八・八、右脇侍一七七・一

不動明王像、毘沙門天像 各檜、寄木造り、古色塗り、玉眼 不動明王像一三五・五

毘沙門天像一四〇・五

銘記 阿弥陀如来像 像内墨書（三身真言・宝篋印陀羅尼・阿弥陀肝母）

両脇侍像 各像内墨書（三身真言・宝篋印陀羅尼）

納入品 不動明王像 月輪形銘札（檜、墨書 不動明王種子、大日如来真言・不動慈

救真言・宝篋印陀羅尼、裏面に文治五年己酉三月二十日、願主、大仏師興福寺内相

応院勾当運慶、小仏師十人、執筆僧）

毘沙門天像 月輪形銘札（檜、墨書 毘沙門天種子、大日如来真言・多聞天真言・

宝篋印陀羅尼、裏面に文治五年三月二十日、願主、大仏師興福寺内相応院勾当運慶、

小仏師十人、執筆僧）

六 弥勒菩薩像 アメリカ ボストン美術館 文治五年（一一八九）

檜、割矧ぎ造り、彩色、玉眼 一〇六・六

納入品 弥勒上生経及び宝篋印陀羅尼（紙本墨書 文治五年九月十五日造立、像名、

仏師快慶、願趣、文治六年三月八日記）

七 不空絹索観音菩薩像、四天王像、法相六祖像

奈良 興福寺 文治五年（一一八九）

不空絹索観音菩薩像 檜、寄木造り、漆箔、玉眼 三四四・七 光背 檜、漆箔台

座 檜、漆箔

四天王像 四軀 各檜、寄木造り、彩色、玉眼 持国天二〇四・四、增長天二〇三・

一、広目天二〇四・五、多聞天一九八・五 各邪鬼 檜、彩色 各光背 檜、彩

色・漆箔 各台座 檜、彩色

法相六祖像 六軀 各檜、伝善珠は寄木造り、他の五は割矧ぎ造り、彩色、玉眼 伝

善珠八三・〇、伝常騰七三・三、伝玄昉八四・八、伝玄資七七・二、伝行賀七四・

八、伝神叡八一・二 各台座 檜、錆漆下地、疊彩色、礼盤座黒漆塗り

納入品 不空絹索観音菩薩 奉籠願文（文治五年九月二十八日、願主）

八 弥勒菩薩像 京都 醍醐寺 建久三年（一一九二）

檜、寄木造り、金泥塗り・切金、玉眼 一一一・〇 光背 檜、漆箔

銘記 像内朱漆書（願主、建久三年八月五日始、同十二月二日供養、巧匠阿弥陀仏

納入品 五輪塔、経巻（X線による）

九 薬師如来像 兵庫 達身寺 建久三年（一一九二）

檜、寄木造り、漆箔・古色塗り 一四六・二

銘記 像内墨書（建久三年十月一日、願主）

二〇 釈迦如来像

東京 大円寺 建久四年（二一九三）

櫃、割矧ぎ造り、彩色・切金 一六二・七

納入品 菊花双雀鏡（白銅製、線刻銘 像名、建久四年十月十六日、願主）、墨書紙

片（三紙 願主）

二一 十一面観音菩薩像

山口 正法寺 建久四年（二一九三）

針葉樹、一木造り、素地・彩色 一六七・三

銘記 像内墨書（像名、建久四年四月十七日始、十一月二十日供養、仏師僧□、仏師

原□、勧進僧、結縁交名）

三 阿弥陀如来像

京都 遣迎院 建久五年（二一九四）

檜、寄木造り、金泥塗り・切金、玉眼 九八・九

銘記 足柄墨書（巧匠阿弥陀仏）

納入品 願文（紙本墨書 願趣、金胎五仏種子、金剛界大日真言、胎藏大日三身真言、

金剛界大日如来種子、阿弥陀如来種子）、印仏・結縁交名（紙本墨摺・墨書、七綴七

十一紙 印仏の紙背に結縁者名、一紙に建久五年六月二十九日始）、消息断簡（紙

本墨書 紙背に印仏）、梵字紙片・毛髪

三 持国天像、多聞天像

長野 覚音寺 建久五・六年（二一九四・九五）

持国天像 檜、寄木造り、古色塗り 一六〇・三 邪鬼 檜、彩色

多聞天像 檜、割矧ぎ造り、古色塗り 一六〇・二 邪鬼 檜、彩色

銘記 持国天像 背部陰刻（建久五年造立）、多聞天像 背部陰刻（建久六年造立）

二四 阿弥陀如来及び両脇侍像

兵庫 浄土寺 建久六年（二一九五）

三 三軀

各檜、寄木造り、漆箔 阿弥陀如来五三〇・三、左脇侍三七二・三、右脇侍三七二・四

銘記 阿弥陀如来 像内墨書（結縁交名、建久六年四月十五日） 各光背・台座木

製、漆箔

納入品 阿弥陀如来 頭部に卷子及び包状の納入品

二五 阿弥陀如来像（伝釈迦如来像）

兵庫 慈眼寺 建久六年（二一九五）

檜、割矧ぎ造り、彩色・漆箔 五一・八

銘記 像内墨書（建久六年七月八日始、願主、結縁交名）

二六 阿弥陀如来及び両脇侍像

山梨 善光寺 建久六年（二一九五）

三 三軀

各銅造、鍍金 阿弥陀如来一四七・二、左脇侍九五・五、右脇侍九五・一

銘記 左脇侍 足柄・左肩矧目肩側陰刻（建久六年、願主）

二七 維摩居士像

奈良 興福寺 建久七年（二一九六）

檜、寄木造り、彩色、玉眼 八八・一 後屏 檜、彩色 台座 檜、彩色・漆箔

銘記 像内朱漆書（像名、造像経過、願趣、仏師法師定慶、彩色法橋幸円、供養導師、

建久七年七月五日、願主）

二八 弥勒仏像

香川 長命寺 建久七年（二一九六）

体部以下檜、寄木造り、漆箔（頭部は古仏の転用か） 八七・二

銘記 像内墨書（願主、建久七年七月十日）

二九 阿弥陀如来及び両脇侍像

埼玉 保寧寺 建久七年（二一九六）

三 三軀

阿弥陀如来 檜、割矧ぎ造り、漆箔、玉眼 八八・三

両脇侍 各檜、割矧ぎ造り、漆箔・古色塗り、玉眼 左脇侍九四・八、右脇侍一〇

五・三

銘記 阿弥陀如来 像内墨書（阿弥陀如来種子、勧進僧、願主、建久七年九月二十八

日、大仏師宗慶、小仏師定助・藤原国義）

三〇 阿弥陀如来像

徳島 真楽寺 建久八年（二一九七）

檜、寄木造り、金泥塗り・黒漆塗り 一二八・六

銘記 像内墨書（建久八年三月二日、仏師、願趣）

三一 薬師如来像

神奈川 養命寺 建久八年（二一九七）

檜、寄木造り、漆箔、玉眼 九〇・七

銘記 像内墨書（建久八年八月十二日）

三二 弥勒菩薩像

奈良 東大寺中性院 建久年間（二一九〇～九九）

檜、割矧ぎ造り、漆箔、玉眼 一〇二・四

納入品 弥勒上生經（紙本墨書 奥書に朱書で建久□年）

三 釈迦如来像

京都 峰定寺 正治元年（一一九九）

檜、割矧ぎ造り、金泥塗り、玉眼 五一・四

銘記 足柄墨書（種子）

納入品 水晶製五輪塔形舍利塔、同木製外箱（墨書 願文、正治元年七月六日奉納舍利、願主、結縁者）、宝篋印陀羅尼（紙本墨書 奥書に願主）、解深密經・結縁文（紙本墨書）、梵文陀羅尼（紙本墨書）、結縁文（紙本墨書、四枚 三身真言・種子等、一紙に正治元年六月十日、他の一紙に□月二十二日）、結縁文（樹葉墨書、六枚 願趣・願主・四弘誓願等、一枚に正治元年七月八日書写）

四 地藏菩薩像

滋賀 福明寺 建仁元年（一一〇二）

榎、寄木造り、彩色 一〇六・五

銘記 像内墨書（願主、建仁元年八月始、願趣）、像内左脚部墨書（願文）

五 阿弥陀如来及び脇侍像

広島 耕三寺／静岡 伊豆山浜生協会 建仁元年（一一〇二）

三 軀

各檜、割矧ぎ造り、漆箔 阿弥陀如来五三・五、脇侍（二五・四、脇侍（二六・〇）

銘記 阿弥陀如来 像内朱漆書（巧匠阿弥陀仏、建仁元年十月□□日、執筆僧）

六 薬師如来像

広島 道隆寺 建仁元年（一一〇二）

檜、割矧ぎ造り、素地 八五・五

銘記 像内墨書（執筆僧、建仁元年十一月二日造、願主、願趣）

七 僧形八幡神像

奈良 東大寺 建仁元年（一一〇二）

檜、寄木造り、彩色・金泥塗り・切金 八五・七 光背 檜、漆箔 台座 檜、彩色

銘記 像内墨書（阿弥陀三尊等種子、執筆僧、建仁元年十二月二十七日開眼、結縁交名、巧匠阿弥陀仏快慶、小仏師快尊・慶聖・良情・慶連・宗賢・尊慶・良快・祐賢・宗円・慶覚・覚厳・隆円・覚円・良尊・信慶・勝盛・良智・有尊・有実・快祐・覚縁・浄慶・慶寛・実厳・運慶・有序・円長・宗遍、漆工大中臣友永・藤井末良・友綱、銅細工兼基、願趣、阿弥陀三尊等種子）

納入品 五輪塔（檜 各部に梵字を一字ずつ墨書）

六 帝釈天像、梵天像

東京 根津美術館／奈良・興福寺 建仁元年・二年（一一〇一・〇二）

帝釈天像 檜、寄木造り、彩色・切金 一八三・〇

梵天像 檜、寄木造り、彩色・切金、玉眼 一八一・三

銘記 帝釈天像 像内墨書（造立行事交名、建仁元年十二月二日、大仏師定慶法師、咸賀法師・永賀法師・慶賀法師・定賀法師）

梵天像 像内墨書（大仏師定慶、少仏師僧盛賀・僧定賀、造立行事交名、建仁二年三月十日）

七 薬王菩薩像、薬上菩薩像

奈良 興福寺 建仁二年（一一〇二）

各檜、寄木造り、漆箔 薬王菩薩像三六九・五、薬上菩薩像三六一・〇 各台座 檜、漆箔

納入品 薬王菩薩像 木札（銅鏡嵌入、墨書 金胎大日種子、建仁二年八月二十日、願主）、木製未開敷蓮華、造像願文（紙本墨書）、結縁願文（紙本墨書）、梵文宝篋印陀羅尼（紙本墨書 上記未開敷蓮華内に納める）

薬上菩薩像 木札（銅鏡嵌入、墨書 金胎大日種子、建仁二年九月六日、願主）、木製未開敷蓮華、造像願文（紙本墨書）、梵文宝篋印陀羅尼（紙本墨書 上記未開敷蓮華内に納める）

三 阿弥陀如来及び両脇侍像 愛知 無量光院 建仁二年（一一〇二）

三 軀

各檜、寄木造り、漆箔 阿弥陀如来一三九・八、左脇侍九七・二、右脇侍九七・九

各光背・台座 檜、漆箔

銘記 阿弥陀如来 像内墨書（阿弥陀三尊種子・五大種子等、願主、建仁二年九月二十日、執筆僧、仏師僧寛慶）

右脇侍 像内墨書（五大種子・勢至菩薩種子等、願主、仏師僧寛慶、建仁二年九月二十六日、執筆僧）

第二卷 建仁三年（一二〇三）～建暦二年（一二一一）

三 阿弥陀如来及び右脇侍像

長野 真光寺 建仁三年（一二〇三）

二 軀

阿弥陀如来 檜、寄木造り、漆箔 一二五・〇 台座 木製、漆箔

右脇侍 檜、寄木造り、漆箔 一五二・八

銘記 阿弥陀如来 像内墨書（像名、願主、建仁三年二月十日、大仏師僧□海、筆師僧）

三 不動明王像

京都 醍醐寺 建仁三年（一二〇三）

檜、割刳ぎ造り、彩色・切金、玉眼 五三・三

銘記 像内墨書（御眼巧匠円阿弥陀仏、結縁交名、建仁三年五月四日、巧匠~~お~~阿弥陀仏、不動明王・一字金輪・金剛華菩薩種子）

三 金剛力士像

奈良 東大寺 建仁三年（一二〇三）

二 軀

各檜、寄木造り、彩色 吽形九八七・八、阿形九八五・九

銘記 吽形 像内・懸木墨書（結縁交名、願趣、金胎大日真言）

阿形 像内・懸木墨書（結縁交名、願趣、金胎大日種子、五大種子、大日如来心身真言、建仁三年八月七日記）、金剛杵墨書（建仁三年七月二十四日始、大仏師法眼運慶、~~お~~阿弥陀仏、少仏師十三人、番匠十人、大勸進、行事五人、結縁者）

納入品 吽形 宝篋印陀羅尼經（紙本墨書 奥書に建仁三年八月八日書写、執筆僧、大勸進、大仏師定覚・湛慶、小仏師覚円・定勝・定円・定尊・信勝・長順・源慶・慶仁・春慶・明尊・行縁・慶寛、結縁交名）、十一面観音菩薩立像（檜、素地）、願文（紙本墨書、二通 各建仁三年八月八日）、結縁交名（紙本墨書、十通）、地藏菩薩印仏（紙本墨摺、二枚）、不空絹索神呪心經（紙本墨摺）、法華經普門品殘卷等（紙本墨摺、一帖・二卷）、木札（檜、二枚 一枚に墨書で□□三年八月九日）、經木・經葉断片、追納品各種、木篋（三本 遺留品）、結縁交名（紙本墨書、昭和四十八年取出し分）

阿形 宝篋印陀羅尼經等（紙本墨書 第六紙に大仏師法眼和尚、奥書に建仁三年八月七日書了、執筆僧、勸進、結縁交名）、天部立像（毘沙門天）（桂、素地）、蓮華座（銅板・木製）、結縁交名（紙本墨書、二通）、木札（墨書、二枚）、經木・經葉断片（墨書、数片）、筆（穂先）・木篋（遺留品）、以下は昭和四十八年取出し分

五輪塔（木製）、如来立像二・地藏菩薩立像・飛天・如来面相部・菩薩頭部・如来坐像・比丘形頭部（以上木造）、木彫像、その他

三 文殊菩薩及び侍者像

奈良 安倍文殊院 建仁三年（一二〇三）

四 軀

文殊菩薩 檜、寄木造り、金泥塗り・彩色・切金 一九八・〇

優填王 檜、寄木造り、彩色・切金、玉眼 二六八・七

善財童子・仏陀波離三蔵 各檜、寄木造り、彩色・切金、玉眼 善財童子一三四・七、仏陀波離三蔵一八七・二

銘記 文殊菩薩 像内墨書（建仁三年十月八日、巧匠安阿弥陀仏、結縁交名）

納入品 文殊菩薩 仏頂尊勝陀羅尼・文殊真言等（紙本墨書・金泥書 奥書に願主、承久二年四月十二日、結縁・執筆僧）

三 大日如来像

東京 東京芸術大学 建仁三年（一二〇三）以前

檜、割刳ぎ造り、漆箔・彩色、玉眼 一〇三・二

銘記 像内墨書・朱書（~~お~~阿弥陀仏、結縁者、髪万阿弥陀仏、開眼円□□、巧匠□□）

三 大日如来像

滋賀 石山寺 建仁三年（一二〇三）以前

檜、寄木造り、金泥塗り、玉眼 一〇一・七

三 盧舍那佛像頭部

三重 新大仏寺 建仁三年（一二〇三）以前

檜、漆箔、白毫木製 頂一頸 一〇五・三

銘記 内部墨書（結縁交名、大仏師安阿□□、大和尚南無阿弥陀□□）

三 阿弥陀如来像

京都 松尾寺 建仁三年（一二〇三）以前

檜、寄木造り、古色塗り、玉眼 八九・一

銘記 像内墨書（阿弥陀仏）

三 阿弥陀如来像

奈良 西方寺 建仁三年（一二〇三）以前

檜、割矧ぎ造り、金泥塗り・切金、玉眼 九八・五
 銘記 足柄墨書（巧匠^オ阿弥陀仏）
 納入品 像内に長方形の陰影

四 阿弥陀如来像 和歌山 遍照光院 建仁三年（一二〇三）以前

檜、割矧ぎ造りか、金泥塗り・切金、玉眼 八一・八

銘記 足柄墨書（巧匠^オ阿弥陀仏）

四 阿弥陀如来像 大阪 八葉蓮華寺 建仁三年（一二〇三）以前

檜、割矧ぎ造り、金泥塗り・漆箔、玉眼 八二・三

光背 檜、彩色・金泥塗り 台座 檜、彩色・漆箔

銘記 像内墨書（阿弥陀三尊・金胎大日各種子、^オ阿弥陀仏）、足柄墨書（巧匠^オ阿弥陀仏）

納入品 僧惠敏発願阿弥陀経等（紙本墨書・墨摺 阿弥陀経、金剛界五仏等種子、法華経序品、版本尊勝陀羅尼、版本法華経方便品、法華経如来寿量品偈、如来形・菩薩形・地藏菩薩印仏、阿弥陀如来・菩薩形印仏、般若心経、梵字文殊真言・梵字光明真言・梵字阿弥陀大呪、梵字尊勝陀羅尼、包紙）、^オ阿弥陀仏宛書状等（紙本墨書・墨摺、三通・一枚 文治四年某注文、^オ阿弥陀仏御房宛書状（八月四日、^オ阿弥陀仏御房、紙背左端に^オ阿弥陀仏）、如来形印仏、書状断簡）、釈迦如来名号等（紙本墨書 釈迦如来名号、願文、無量寿経拔書・華嚴経拔書・願文）

銘記 像内墨書（阿弥陀三尊・金胎大日各種子、^オ阿弥陀仏宛書状等（紙本墨書・墨摺、三通・一枚 文治四年某注文、^オ阿弥陀仏御房宛書状（八月四日、^オ阿弥陀仏御房、紙背左端に^オ阿弥陀仏）、如来形印仏、書状断簡）、釈迦如来名号等（紙本墨書 釈迦如来名号、願文、無量寿経拔書・華嚴経拔書・願文）

銘記 像内墨書（阿弥陀三尊・金胎大日各種子、^オ阿弥陀仏宛書状等（紙本墨書・墨摺、三通・一枚 文治四年某注文、^オ阿弥陀仏御房宛書状（八月四日、^オ阿弥陀仏御房、紙背左端に^オ阿弥陀仏）、如来形印仏、書状断簡）、釈迦如来名号等（紙本墨書 釈迦如来名号、願文、無量寿経拔書・華嚴経拔書・願文）

銘記 像内墨書（阿弥陀三尊・金胎大日各種子、^オ阿弥陀仏宛書状等（紙本墨書・墨摺、三通・一枚 文治四年某注文、^オ阿弥陀仏御房宛書状（八月四日、^オ阿弥陀仏御房、紙背左端に^オ阿弥陀仏）、如来形印仏、書状断簡）、釈迦如来名号等（紙本墨書 釈迦如来名号、願文、無量寿経拔書・華嚴経拔書・願文）

銘記 像内墨書（阿弥陀三尊・金胎大日各種子、^オ阿弥陀仏宛書状等（紙本墨書・墨摺、三通・一枚 文治四年某注文、^オ阿弥陀仏御房宛書状（八月四日、^オ阿弥陀仏御房、紙背左端に^オ阿弥陀仏）、如来形印仏、書状断簡）、釈迦如来名号等（紙本墨書 釈迦如来名号、願文、無量寿経拔書・華嚴経拔書・願文）

銘記 像内墨書（阿弥陀三尊・金胎大日各種子、^オ阿弥陀仏宛書状等（紙本墨書・墨摺、三通・一枚 文治四年某注文、^オ阿弥陀仏御房宛書状（八月四日、^オ阿弥陀仏御房、紙背左端に^オ阿弥陀仏）、如来形印仏、書状断簡）、釈迦如来名号等（紙本墨書 釈迦如来名号、願文、無量寿経拔書・華嚴経拔書・願文）

銘記 像内墨書（阿弥陀三尊・金胎大日各種子、^オ阿弥陀仏宛書状等（紙本墨書・墨摺、三通・一枚 文治四年某注文、^オ阿弥陀仏御房宛書状（八月四日、^オ阿弥陀仏御房、紙背左端に^オ阿弥陀仏）、如来形印仏、書状断簡）、釈迦如来名号等（紙本墨書 釈迦如来名号、願文、無量寿経拔書・華嚴経拔書・願文）

銘記 像内墨書（阿弥陀三尊・金胎大日各種子、^オ阿弥陀仏宛書状等（紙本墨書・墨摺、三通・一枚 文治四年某注文、^オ阿弥陀仏御房宛書状（八月四日、^オ阿弥陀仏御房、紙背左端に^オ阿弥陀仏）、如来形印仏、書状断簡）、釈迦如来名号等（紙本墨書 釈迦如来名号、願文、無量寿経拔書・華嚴経拔書・願文）

四 阿弥陀如来像 栃木 真教寺 建仁三年（一二〇三）以前

檜、寄木造り、漆箔、玉眼 九六・六

銘記 像内墨書（^オ阿弥陀仏、阿弥陀三尊種子）

四 阿弥陀如来像 奈良 安養寺 建仁三年（一二〇三）以前

檜、割矧ぎ造り、金泥塗り・切金、玉眼 八一・五

銘記 足柄墨書（結縁者、巧匠安阿弥陀仏）

納入品 長方形の卷子状のもの

四 地藏菩薩像 京都 如意寺 建仁三年（一二〇三）以前

檜、割矧ぎ造り、彩色・切金、玉眼 五二・三

銘記 像内墨書（地藏菩薩種子、^オ阿弥陀仏、巧匠^オ阿弥陀仏）

納入品 包紙（墨書 安阿弥陀仏御房）

四 地藏菩薩像 アメリカ バークファウンデーション 建仁三年（一二〇三）以前

檜、割矧ぎ造り、彩色・切金、玉眼 五一・二

銘記 像内墨書（^オ阿弥陀仏、阿弥陀・地藏・金剛界大日各種子）

納入品 書状（一通）

四 孔雀明王像 和歌山 金剛峯寺 建仁三年（一二〇三）以前

檜、割矧ぎ造り、彩色・切金、玉眼 七七・八

銘記 像内墨書（孔雀明王種子、巧匠^オ阿弥陀仏快慶）

四 四天王像 和歌山 金剛峯寺 建仁三年（一二〇三）以前

四驅

各檜、寄木造り、彩色・切金 持国天一三五・一、增長天一三二・四、広目天一三五・二、多聞天一三八・二

銘記 広目天 足柄墨書（巧匠快慶^オ阿弥陀仏）

納入品 広目天 梵字広目天真言等（紙本墨書 その一の奥書に「建□□年六月」、その三の包紙の紙背に「安阿弥陀仏御房」の墨書）

銘記 執金剛神像、深沙大將像 京都 金剛院 建仁三年（一二〇三）以前

執金剛神像 檜、寄木造り、彩色・切金・漆箔、玉眼 八六・二 台座 岩座

深沙大將像 檜、寄木造り、玉眼 八四・五 台座 岩座

銘記 執金剛神像 足柄墨書（巧匠^オ阿弥陀仏）

銘記 深沙大將像 足柄墨書（巧匠^オ阿弥陀仏）、胴部刻面墨書（^オ阿弥陀仏）

銘記 深沙大將像 足柄墨書（巧匠^オ阿弥陀仏）、胴部刻面墨書（^オ阿弥陀仏）

銘記 深沙大將像 足柄墨書（巧匠^オ阿弥陀仏）、胴部刻面墨書（^オ阿弥陀仏）

四 阿弥陀如来像 大阪 大円寺 建仁三年（一二〇三）以後

檜、割矧ぎ造り、金泥塗り・漆箔、玉眼 八二・五

銘記 足柄墨書（巧匠法橋快慶^オ）

四 地藏菩薩像 奈良 東大寺 建仁三年（一二〇三）以後

檜、割矧ぎ造り、彩色・金泥塗り・切金 九〇・一

銘記 足柄陰刻（巧匠法橋快慶）

納入品 卷子等（X線による）

五 阿弥陀如来像

滋賀 西勝寺 建仁三年（一二〇三）

檜、割矧ぎ造り、漆箔・古色塗り、玉眼 九六・九

納入品 銘札（檜製、墨書 願趣、建仁三年十二月八日、願主、名号）、梵字宝篋印陀羅尼（紙本墨書 薄墨野に宝篋印陀羅尼と中心真言、奥書に建仁参年十二月八日、願趣、願主、結縁衆）、宝篋印陀羅尼（紙本墨書 奥書に建仁三年十二月四日、執筆僧）

五 聖觀音菩薩像

福岡 杷木町 建仁四年（一二〇四）

檜か、一木造り、彩色 一〇二・五 台座 檜か、彩色

銘記 像内墨書（建仁四年正月二十二日、願主）

五 阿弥陀如来像

滋賀 善水寺 元久三年（一二〇六）

銅造、鍍金 三一・七

銘記 本体背面陰刻（像名、鑄師万アミタフ、元久三年十月三日、願主）

五 阿弥陀如来像

東京 新田棟一 元久三年（一二〇六）

銅造 二九・二

銘記 本体背面陰刻（像名、鑄師平国依、元久三年十月三日、願主）

五 十二神将像

奈良 興福寺 建永二年（一二〇七）

十二軀

各檜か、寄木造り、彩色・切金（伐折羅大将是彩色のみ） 毘羯羅大將一一九・一、招

杜羅大將一一七・六、真達羅大將一一七・五、摩虎羅大將一二一・三、波夷羅大將

一〇九・四、因達羅大將一一九・七、珊底羅大將一二三・四、羅大將一二三・七、

安底羅大將一二三・三、迷企羅大將一二六・六、伐折羅大將一二・七、宮毘羅大

將一一七・六

銘記 真達羅大將 足柄墨書、波夷羅大將 足部墨書（建永二年四月二十九日菜色

了、『大乘本生心地觀經』卷第三「報恩品」第二之下の偈）、摩虎羅大將 足柄墨書、

珊底羅大將 足柄墨書（衆阿弥□□）

納入品 毘羯羅大將 束状の紙と箱、羅大將及び安底羅大將 束状の紙

五 藥師如来像

石川 高爪神社 承元二年（一二〇八）

檜、割矧ぎ造り 八一・六

銘記 像内墨書（像名、承元二年□、大勸進）

五 阿弥陀如来像

奈良 東大寺 承元二年（一二〇八）

檜、割矧ぎ造り、金泥塗り、玉眼 九八・七

銘記 足柄針書・陰刻（承元二年九月一日細金印始、日□□□□）

納入品 五輪塔、卷子二卷（X線による）

五 地藏菩薩像

福井 瑞伝寺 承元三年（一二〇九）

檜、一木造り、彩色 八五・七

銘記 像内墨書（願主、承元三年三月一日、結縁者、仏師幸千）

五 大日如来像

静岡 修禪寺 承元四年（一二一〇）

檜、寄木造り、漆箔、玉眼 一〇三・六

銘記 像内墨書（承元四年八月二十八日、大仏師実慶）

納入品 頭髮（二束 各付箋・包紙・紙紐）、かつら、包紙（墨書）、錦袋、巻紙・紙

捻 墨書、二紙 尊勝陀羅尼、仏眼真言・大日真言・光明真言、末尾に筆師、紙捻に二月七日）

五 阿弥陀如来及び両脇侍像

静岡 かなみ仏の里美術館 承元四年（一二一〇）前後

三軀

各檜、割矧ぎ造り、漆箔、玉眼 阿弥陀如来八九・一、左脇侍一〇六・一、右脇侍一

〇七・二 各台座 檜、漆箔

銘記 阿弥陀如来 像内墨書（大仏師実慶）、両脇侍 像内朱書（仏師実慶）

五 阿弥陀如来像

広島 永寿寺 承元四年（一二一〇）

檜、寄木造り（現状）、漆箔、玉眼

銘記 像内墨書（阿弥陀如来種子、願主、承元四年五月造立、願趣）

五 阿弥陀如来像

岡山 東寿院 建暦元年（一二一一）

檜、割矧ぎ造り、漆箔、玉眼 九九・七

銘記 足柄墨書（巧匠法眼快慶、建暦元年三月二十八日）

納入品 阿弥陀種子（紙本墨書 端裏書に揮毫者）、覚勝造像夢想記（紙本墨書 文

頭に承元四年十二月、像名、文中に仏師丹波法眼快慶、塗師高橋、文末に承元五年

正月二十九日、願主、阿弥陀經転読卷数注文（紙本墨書 転読卷数交名、奥書に願趣、承元五年三月九日、願主）、阿弥陀經転読卷数注文紙背文書（紙本墨書 諸仏名号念仏功德書上、習書（久安六年十二月十日）、和歌切、某氏書状、所当注文、ふんのしろう処分状（末尾に嘉応二年五月二十五日）、某氏書状断簡、大般若経転読記録（頭初に元暦二年八月九日始）、某氏書状、詠五首和歌、某氏書状断簡、和歌三首、天王寺少人の記、元聖書状）

三 不動明王像、毘沙門天像

各檜、割矧ぎ造り、古色塗り 不動明王像一六二・三、毘沙門天像一七二・二

銘記 不動明王像 足柄墨書（建暦元年十一月、願主、仏師講師五郎）

毘沙門天像 足柄墨書（建暦元年十一月、願主、仏師源守永）

四 弥勒佛像、無著菩薩像、世親菩薩像

奈良 興福寺 建暦二年（一二二二）

弥勒佛像 桂、寄木造り、漆箔 一四一・九 台座 桂、漆箔

無著菩薩像 桂、一木造り、彩色、玉眼 一九四・七

世親菩薩像 桂、寄木造り、彩色、玉眼 一九一・六

銘記 弥勒佛像 台座反花内部墨書（中尊頭仏師上座大□師源慶、上座大□□□□、

世親□□運□、無著□□、四天頭仏師東方法眼□□、西方法橋康弁、南方法橋康運、

北方法橋康勝、頭仏師法橋運□、台座框墨書（花押）

納入品 弥勒佛像 弥勒菩薩像（白檀か、素地）、奉籠願文（紙本墨書 建暦二年二

月五日、願主、像名、願趣、執筆僧）、厨子（木製 内壁奥に薬師如来像、左右に

不動明王・地藏菩薩像、扉裏左右に弘法大師・鑑真和上坐像を彩色描画、上方に円

相・金剛界五仏種子墨書、五輪塔（板彫り彩色 二枚 五輪種子墨書、宝篋印

陀羅尼經（奥書に建暦二年正月二十七日写了、執筆僧）、水晶珠

五 空也上人像

京都 六波羅蜜寺 建暦二年（一二二二）以前

檜、一木造り、彩色、玉眼 一一七・〇

銘記 像内墨書（僧康勝（花押））

六 持国天像、多聞天像

滋賀 金剛輪寺 建暦二年（一二二二）

持国天像 檜か、割矧ぎ造り、彩色・切金 一五五・二

多聞天像 檜か、割矧ぎ造り、彩色 一五三・八

銘記 持国天像 足柄墨書（像名、願主、願趣、建暦二年八月二日造立始）

多聞天像 足柄墨書（願趣、建暦二年八月六日）

七 阿弥陀如来像

京都 浄土宗 建暦二年（一二二二）

檜、割矧ぎ造り、漆箔、玉眼 九九・〇

納入品 造像願文（紙本墨書 願主、願趣、建暦二年十二月二十四日）、平季村等百

万遍入衆（紙本墨書 結縁交名、建暦二年十二月二十一日）、四十八人念仏衆交名

（紙本墨書 結縁交名）、念仏結縁交名（紙本墨書 結縁交名）、一万遍念仏人仕（紙

本墨書 結縁交名）、越中国百万遍勤修人名（紙本墨書、表裏とも 結縁交名）、百

万遍念仏衆注進帖（紙本墨書、一冊二十二丁 結縁交名）、をみのさたつね等交名

帳（紙本墨書、一冊十九丁 結縁交名）順阿弥陀仏等交名（紙本墨書、表裏とも

結縁交名）、蓮仁等交名（紙本墨書、表裏とも 第一紙端裏に執筆僧、結縁交名）、

平平等交名（紙本墨書、表裏とも 結縁交名）、源頼朝等交名（紙本墨書、表裏と

も 結縁交名）、大納言殿等交名（紙本墨書、表裏とも 結縁交名）、成阿弥陀仏等

交名（紙本墨書、第三紙裏とも 結縁交名）、橘守利等交名（紙本墨書 結縁交名、

第十紙裏に消息）、念仏勧進状（紙本墨書 結縁交名）、源氏等交名（紙本墨書 結

縁交名）、一万遍念仏者交名（紙本墨書 結縁交名）、念仏者交名断簡二通（紙本墨

書 結縁交名）、念仏者交名（紙本墨書 結縁交名）、入道入蓮等交名断簡（紙本

墨書 結縁交名）、念仏者交名（紙本墨書、三片三紙 結縁者）、消息断簡（紙本

墨書）、念仏供養札（紙本墨書、四十八片四十八紙 結縁交名）、尊靈供養札（紙

本墨書、二紙）、回向札（紙本墨書）、交名断片（紙本墨書、わかさ殿宛道詠（紙

本墨書）、念仏供養札等（紙本墨書、十片十紙）、名号紙片（紙本墨書）、名号紙片

（紙本墨書、九片九紙）、念仏数取り状（紙本墨書）、念仏数取り状紙片（紙本墨書、

三片）、清原重遠等交名（紙本墨書 結縁交名）

第三卷 建暦三年（一二二三）（貞応三年（一二三四）

八 不動明王像、毘沙門天像

高知 金林寺 建暦三年（一二二三）

不動明王像 檜、一木造り、彩色 一〇〇・四 光背 檜 彩色

毘沙門天像 檜、一木造り、彩色 一〇五・〇 邪鬼 檜、一材製

銘記 不動明王像 光背裏面墨書(像名、願主、建暦三年二月三日奉立、仏師竜□□)

亮 聖観音菩薩像

檜、寄木造り、素地 一〇〇・〇

銘記 背面墨書(建暦三年十月十一日、願主、仏師僧好尊)

七 阿弥陀如来像

桂、割矧ぎ造り、漆箔 五一・八

銘記 像内墨書(建保元年十月十日)

七 釈迦如来像

檜、寄木造り、金泥塗り・彩色、玉眼 七六・七 台座 檜か、彩色・漆箔

銘記 足柄墨書(建保元年十二月十五日始、仏師僧良円、僧良□、願主、願趣、像名)

三 阿弥陀如来像

檜、割矧ぎ造り、漆箔、玉眼 七七・七

納入品 墨書紙片三枚 その一(願趣、建保二年四月十五日、結縁者) その二(願主、願趣、建保二年四月二十三日) その三(建保二年四月二十九日、願文、願主)

三 阿弥陀如来像

桂、一木造り、漆箔 八八・四

銘記 像内墨書(建保二年八月二十六日造立、願趣、願主)

五 薬師如来像

檜か、一木造り、素地 一四七・九

銘記 体部背面墨書(像名、願主、建保三年四月十七日、同□十月二十三日記)

五 天灯鬼像、竜灯鬼像

各檜、寄木造り、彩色、玉眼 天灯鬼像 一一〇・五、竜灯鬼像 一三七・三

納入品 竜灯鬼像(『享保式丁酉日次記』正月十三日条記載 願主、建保三年卯月二十六日、願主、法橋庚弁作)

五 聖観音菩薩像

滋賀 洞寿院 建保四年(一二二六)

檜か、一木造り、素地 一七一・八 光背 木、彩色 台座 檜か、一材製、白

下地彩色

銘記 本体背面墨書(勸進、建保四年漆月造立)

七 阿弥陀如来像

檜、割矧ぎ造り、漆箔、玉眼 九八・六 台座 檜、漆箔

銘記 台座蓮肉底面墨書(願主、建保四年十一月二十三日)

六 阿弥陀如来像

檜、寄木造り乃至割矧ぎ造り、漆箔、玉眼 七六・二 台座 檜、彩色

納入品 阿弥陀小呪及び阿弥陀種子(紙本墨書、一部朱書 奥書に建保五年三月二十四日書了)

五 四天王像

各檜か、寄木造り、彩色・切金 持国天一・六・一、増長天一〇七・八、広目天一・四・九、多聞天一・五・〇 各台座 檜か、彩色

銘記 持国天 台座框裏墨書(建保四年四月四日、同七日)

六 持国天像、増長天像

持国天像 檜、割矧ぎ造り、彩色・漆箔 一〇〇・〇 邪鬼 檜、彩色

増長天像 檜、割矧ぎ造り、彩色・漆箔 一〇一・四

銘記 増長天像 像内墨書(願趣、願主、結縁者、建保五年八月六日、仏師院能)

六 十一面観音菩薩像

檜、一木造り、古色塗り 一三一・一

銘記 像内墨書(建保六年九月二日造立(七月二十三日始)、像名、願主、願趣、大仏師僧寿賢)

六 薬師如来像

鉄造 五二・五 栃木 上石川一・二区自治会 建保六年(一二二八)

銘記 体部背面陽鑄(願主、結縁者、大工坂本□□、小工□□、建保六年二月二十三日)

六 慈恵大師像

兵庫 現光寺 建保六年(一二二八)

櫃か、一木造り、彩色・切金、玉眼 四八・九

銘記 像内墨書（像名、願趣、願主、建保六年六月九日）

四 地藏菩薩像 大阪 藤田美術館 建保七年（一二一九）以前

檜、割矧ぎ造り、彩色・切金、玉眼 五八・九 光背 檜、漆箔、銅製鍍金、白銅板

台座 木製、彩色

銘記 足柄墨書（巧匠法眼快慶、開眼行快）

納入品 卷子数点（X線による）

五 阿弥陀如来像 京都 光園院 建保七年（一二一九）

針葉樹、寄木造り、金泥塗り・切金、玉眼 七七・七

銘記 像底墨書（判読不能）

納入品 冊子（明治四年写 三紙分の結縁交名、建保七年四月十三日、勸進僧）

六 聖観音菩薩像 新潟 観音堂 承久二年（一二三〇）

桂、一木造り、彩色 一五〇・九

銘記 像内墨書（偈文、願主、承久二年五月十八日、筆師、仏師僧慶□□）

七 勢至菩薩像 熊本 高寺院 承久二年（一二三〇）

檜、割矧ぎ造り、漆箔・古色塗り 五九・三

銘記 像内墨書（像名、承久二年六月十二日造立、仏師源覚、願趣）

八 十大弟子像 京都 大報恩寺 承久二年（一二三〇）

十軀

各檜、割矧ぎ造り、彩色・切金、玉眼 舍利弗九四・八、目連九七・二、大迦葉九

八・〇、須菩提九四・〇、富楼那九六・四、迦旃延九九・八、阿那律九六・七、優

婆離九六・〇、羅羅九七・九、阿難陀九七・〇 各台座 檜、彩色

銘記 目連 足柄墨書（巧匠法眼快慶、台座上榎墨書（願主））

優婆離 像内墨書（法眼快慶、行）、足柄墨画（戯画）

納入品 阿難陀 般若心経（紙本墨書）、般若心経・陀羅尼・真言・唯識三十頌等

（紙本血書 般若心経、尊勝陀羅尼、光明真言、供養真言、仏眼真言、大日真言、そ

の他真言・種子、大金剛輪発菩提心真言、三昧耶真言、実尊願文、唯識三十頌、実

尊奥書、奥書に承久二年八月二十四日・二十五日・二十六日書写。紙背に墨書の

仮名書状）、阿弥陀根本真言・種子等（紙本墨書）、諸真言集（紙本墨書 末尾紙紙

背に金剛□□之本）、大威徳等道場観（紙本墨書）、法華経和讃（紙本墨書 紙

背に無量義経和讃）、聖徳太子未来記等（紙本墨書）、尊念修善勸進願文（紙本墨書

文中に建保七年正月二十九日、奥書に建保六年十一月始、願主）、阿弥陀経巻数摺

札（紙本墨摺 一帖二百十七枚）

九 阿弥陀如来像 宮城 阿弥陀寺 承久三年（一二三二）

檜、割矧ぎ造り、古色塗り、玉眼 七八・九

銘記 足柄墨書（承久三年二月作仏、願主）

十 薬師如来像 神奈川 保木薬師堂 承久三年（一二三二）

檜、寄木造り、黒漆塗り、玉眼 八五・二

銘記 像内墨書（願趣、承久三年三月六日眼入了、仏師僧尊栄、像名、願趣）

十一 一面観音菩薩像 奈良 奈良国立博物館 承久三年（一二三二）

檜、割矧ぎ造り、金泥塗り・彩色・切金、玉眼 四六・七

銘記 像内墨書（十一面観音菩薩種子、般若心経、願趣、結縁交名、十一面観音菩薩

真言、大仏子善門、願主、承久三年五月十五日書写了、執筆僧）

納入品 金剛般若波羅蜜経（紙本墨書 奥書に承久三年二月二十八日始、願趣、大仏

師善門、小仏師定幸。紙背に結縁交名、十一面観音菩薩種子、十一面観音菩薩立像

印仏各二十三・二十七）

十二 阿弥陀如来像 三重 久昌寺 承久三年（一二三二）

檜、割矧ぎ造り、漆箔 九七・一 台座 木製、漆箔

銘記 像内墨書（願主、執筆僧、承久三年八月二十日始、仏師僧幸賢）

十三 地藏菩薩像 京都 清凉寺 承久三年（一二三二）

檜か、割矧ぎ造り、彩色・切金 七七・〇 台座 木製、古色塗り

納入品 造立願文（紙本墨書 文中に承久三年五月二十四日始、九月比造立供養、承

久三年九月造立供養、願主、結縁交名）、経巻（紙本墨書、五巻 法華経二十八品

首題・四要品（奥書に願趣、願主）、華嚴・梵網・占察・心地観経要文（奥書に願

趣、願主）、理趣・般若心経・涅槃経等要文、随求・尊勝・弥陀・千手・大日・不

動・光明・楼閣・絹索・地藏菩薩等陀羅尼及び真言、地藏十輪経第一巻（奥書に願

趣、承久三年六月六日書写、願主)、各巻紙背に仮名消息)、香袋、萌葱絹糸、連珠(一連)、木実(二個)、笛、蝙蝠扇、盃(銅製鍍金)、宋銭(十枚)、真綿、綾袋、黒漆塗り箱(二合 木製と紙胎)

四 阿弥陀如来像

奈良 光林寺 承久三年(一二三二)

檜、割矧ぎ造りか、漆箔、玉眼 八一・八

銘記 足柄墨書(法眼快慶、承久三年)

五 不空羅索觀音菩薩像

福岡 觀世音寺 貞応元年(一二三二)

樟、寄木造り、漆箔 五一七・〇 台座 樟、漆箔

銘記 像内墨書(造像経緯、貞応元年八月十四日、勧進僧、行事僧、大仏師僧琳嚴、小仏師僧長尊、執筆僧、願趣、願主)

納入品 塑像心木、塑像残片(四片)、不空羅索呪経(紙本墨書 包紙に「貞応元年九月二十三日良慶」の墨書)、法華経卷第七(紺紙金泥 奥書に施入者、紙背に願趣)

六 聖觀音菩薩像

滋賀 仏心寺 貞応元年(一二三二)

檜、一木造り、素地 一〇五・三 光背 檜、素地

銘記 光背裏面墨書(貞応元年九月十四日始、勧進僧、仏師近江講師経円)

七 阿弥陀如来像

滋賀 福泉寺 貞応元年(一二三二)

檜、寄木造り、漆箔 七九・三

銘記 像内墨書(願主、仏師筑前寺主栄有、開眼絵師越前慶有、貞応元年五月五〇、勧進僧)

八 阿弥陀如来像

京都 光林寺 貞応三年(一二三四)

針葉樹材か、寄木造り乃至割矧ぎ造り、金泥塗り・漆箔、玉眼 九九・五

納入品 印仏(紙本墨捺、三十六枚〈三十五枚に紙背文書 各墨書〉(一)紙背に千連

数珠あげ日記 端裏書に貞応二年六月七日、(二)紙背に数珠請取日記、(三)紙背に施

行日記(貞応二年十二月二十一日)、(四)紙背に某讓狀(建保六年十一月十日)、(五)・

(六)紙背に某書狀断簡、(七)・(八)紙背に某書狀、(九)印仏面に「十二月」の墨書、

紙背に某書狀、(一〇)印仏面に「四月」「五月」の墨書、紙背に某書狀、(一一)印仏面に「三

月」の墨書、紙背に某書狀、(一二)紙背に嘉陽門院令旨 五月十六日、(一三)印仏面に「七

月」「八月」「十一月」の墨書、紙背に某書狀、(一四)印仏面に「六月」の墨書、紙背に

某書狀、(一五)印仏面に「九月」「十月」「十一月」の墨書、紙背に某書狀、(一六)印仏面に

「七月」「八月」「二月」の墨書、紙背に某書狀、(一七)印仏面に「四月」「五月」「六月」

の墨書、紙背に某書狀、(一八)二紙 第一紙印仏面に「二月」「三月」の墨書、紙背に

某書狀、第二紙印仏面に「十一月」「十二月」「正月」の墨書、紙背に某書狀 十

一月三日、(一九)印仏面に「九月」の墨書、紙背に某書狀、(二〇)印仏面に「三月」の墨

書、紙背に某書狀、(二一)印仏面に「十二月」「正月」の墨書、紙背に某書狀并某勘返

狀、(二二)印仏面に「四月」「五月」「六月」の墨書、紙背に某書狀、(二三)表裏に印仏、表

面に「八月」の墨書、紙背に某書狀、(二四)印仏面に「九月」「十月」の墨書、紙背に

某書狀、(二五)印仏面に「十二月」「正月」の墨書、紙背に某書狀、(二六)印仏面に「二月」

「三月」の墨書、紙背に某書狀、(二七)二紙 第一紙印仏面に「四月」「五月」「六月」の

墨書、紙背に某書狀、第二紙印仏面に「七月」「八月」の墨書、紙背に某書狀、(二八)

印仏面に「九月」「十月」の墨書、紙背にのりな書狀、(二九)印仏面に「壬子十月」「十

一月」「十二月」の墨書、紙背に某書狀、(三〇)印仏面に「正月」「二月」「三月」の墨

書、紙背に某書狀、(三一)印仏面に「四月」の墨書、紙背に某書狀、(三二)印仏断片、紙背

文書なし)、念仏供養札(紙本墨摺・墨書、九百四枚印仏面及び裏面に結縁者名)

九 六觀音菩薩像

京都 大報恩寺 貞応三年(一二三四)

六軀

各軀、割矧ぎ造り、素地、玉眼 聖觀音菩薩一七八・〇、千手觀音菩薩一七九・五、

馬頭觀音菩薩一七五・二、十一面觀音菩薩一八一・六、准胝觀音菩薩一七五・六、

如意輪觀音菩薩九六・五 各光背 檜、素地 各台座 檜、素地

銘記 准胝觀音菩薩 像内墨書(像名、仏師肥後別当定慶、貞応三年五月四日)

納入品 聖觀音菩薩(紙本朱書、二卷 法華経普門品、消伏毒害陀羅尼經)

千手觀音菩薩(紙本朱書 千手陀羅尼)

馬頭觀音菩薩(紙本朱書、二卷 馬頭念誦儀軌上卷・下卷、下卷奥書に貞応三年四月

二十九日、願主、執筆僧)

十一面觀音菩薩(紙本朱書 十一面神呪心経、包紙に「四月二十〇〇〇」の墨書)、准

胝觀音菩薩(紙本朱書 准胝陀羅尼)

如意輪觀音菩薩(紙本朱書 如意心陀羅尼呪経 奥書に貞応三年四月二十五日書写、

願主、執筆僧)

二〇 毘沙門天像

東京 東京芸術大学 貞応三年(一二三四)

檜、割矧ぎ造り、彩色・切金・漆箔、玉眼 八六・八 邪鬼 檜、彩色・切金、玉眼

銘記 像内墨書(肥後別当定慶、貞応三年五月十四日)

二一 弥勒菩薩像

京都 高山寺 貞応三年(一二三四)

本体・台座 木、一材製、金泥塗り・切金 六・五 光背 銅製鍍金、透彫り 厨

子 檜、側面曲物造り、黒漆塗り、蒔絵装飾

銘記 本体・台座背面墨書(願主、十二真言王、金胎五仏種子、一字金輪仏頂または

仏眼仏母種子、大日如来(両部不二)種子、願趣)、厨子内装金具針書(百光遍照

王観、貞応三年十月十八日、願趣、願主)

二二 地藏菩薩像

滋賀 仏心寺 貞応三年(一二三四)

檜、割矧ぎ造り、彩色・切金 九六・九

銘記 像底墨書(願主、貞応三年十一月)、足柄墨書(願趣)

二三 伝教大師像

滋賀 観音寺 貞応三年(一二三四)

檜、一木造り、素地 六五・二

銘記 像内墨書(貞応三年十一月十五日始、像名、大仏師□□)

第四卷 嘉祿元年(一二三五)～貞永元年(一二三三)

二四 釈迦如来像

奈良 東大寺 嘉祿元年(一二三五)

櫃、一木造り、素地 二九・二 台座 檜、素地

銘記 両脚部底面墨書(嘉祿元年十月十六日造始、十一月二日造畢、仏師善円、同二

年九月二十二日供養、導師高辨上人(明恵)、願主)

納入品 舍利及び香木、宝篋印陀羅尼經等(紙本墨書 願趣)、大方広仏華嚴經卷第

四十(紙本墨書 奥書に願趣)、造像願文(紙本墨書 願文中に嘉祿元年十月十六

日始十一月一日造立、像名)

二五 聖観音菩薩像

京都 鞍馬寺 嘉祿二年(一二三六)

檜、割矧ぎ造り、金泥塗り・切金、玉眼 一七六・二 光背 檜、彩色

銘記 足柄陰刻及び墨書(大仏師肥後別当定慶、嘉祿二年二月造、安貞三年三月三日

渡)

二六 阿弥陀如来像

鳥取 大日寺 嘉祿二年(一二三六)

檜、寄木造り、漆箔 一一四・八

銘記 像内墨書(嘉祿二年卯月□□)

二七 阿弥陀如来像

東京 東本願寺 嘉祿二年(一二三六)

檜、寄木造り、漆箔、玉眼 九七・六

納入品 木札(杉製、墨書 像名、嘉祿二年九月十二日御衣木奉請)

二八 蔵王権現像

奈良 如意輪寺 嘉祿二年(一二三六)

檜、割矧ぎ造り、彩色・切金、玉眼 八七・一 光背 檜、彩色 台座 檜、彩

色・黒漆塗り

銘記 足柄朱書(嘉祿二年九月十二日、工匠筑後校源慶、小仏師能慶、願主)、

台座岩座裏面墨書

二九 阿弥陀如来像

滋賀 金剛輪寺 嘉祿二年(一二三六)

檜か、割矧ぎ造り、漆箔 一四〇・九 光背 檜、彩色

銘記 像内墨書(胎藏界大日如来種子、阿弥陀如来種子、像名、願主、願趣、貞応二

年十月始、嘉祿二年五月三十日就座、大仏師近江国講師経円)

三〇 地藏菩薩像

アメリカ アジアソサエティー 嘉祿二年(一二三六)以前

檜、割矧ぎ造り、彩色・切金、玉眼 四一・三

銘記 像内墨書(願趣、地藏菩薩種子、梵文仏眼仏母大呪、地藏菩薩偈、胎藏界大日

如来真言、仏師善円、願主、結縁者)

三一 十二神将像

山梨 大善寺 嘉祿三年(一二三七)

十二軀

各檜、割矧ぎ造り、彩色・切金、玉眼 子神一三八・六、丑神一四二・九、寅神一四

三・八、卯神一四六・二、辰神一四六・四、巳神一四四・〇、未神一四一・六、申

神一四一・〇、酉神一四三・六、戌神一四四・〇、亥神一三八・八

各台座 檜、彩色、古色塗り

銘記 丑神 像内墨書(嘉祿三年潤三月十五日始、像名、勧進僧、仏師僧蓮慶三河君、

筆師僧)

巳神 像内墨書(像名、嘉祿三年七月十三日、大仏師南京三川公蓮慶、仏所照内房)
酉神 像内墨書(願主、安貞二年三月二十一日、大仏師僧蓮慶)

亥神 像内墨書(大仏師蓮慶三河公、嘉祿三年五月十二日始、像名、願趣、執筆僧)

二三 阿弥陀如来像 京都 極樂寺 嘉祿三年(一二二七)

檜、割矧ぎ造り、漆箔、玉眼 七九・五

納入品 現在過去帳(紙本墨書 紙背に「阿弥陀仏、法橋行快造之」、嘉祿三年法花三十講經名帳(紙本墨書 各品施主名(八月十二日分別功德品に「過去法眼快慶」、奉加金、講師、嘉祿三年七月二十四日始(最終の普賢經は八月二十四日)、過去訪名帳(紙本墨書 追善供養対象者名、奉加金、(異筆)「阿弥陀仏、三箇所に印仏」、阿弥陀如来印仏(紙本墨摺、十一枚 一枚に六段百体前後の印仏、総数千七百十二体、その二に墨書)

二三 釈迦如来像 アメリカ キンベル美術館 嘉祿三年(一二二七) 以前

檜、割矧ぎ造り、金泥塗り・切金、玉眼 八二・〇

銘記 足柄墨書(巧匠法眼快慶)

二四 阿弥陀如来像 滋賀 圓常寺 嘉祿三年(一二二七) 以前

檜、割矧ぎ造り、漆箔、玉眼 九八・八

銘記 足柄墨書(巧匠法眼快慶)

二五 阿弥陀如来像 京都 大行寺 嘉祿三年(一二二七) 以前

檜、割矧ぎ造り、金泥塗り・切金、玉眼 八二・二

銘記 足柄墨書(巧匠法眼快慶)

二六 阿弥陀如来像 奈良 西方院 嘉祿三年(一二二七) 以前

檜、割矧ぎ造り、漆箔、玉眼 一〇〇・〇

銘記 足柄墨書(巧匠法眼快慶)

二七 阿弥陀如来及び両脇侍像 和歌山 光臺院 嘉祿三年(一二二七) 以前

阿弥陀如来 檜、寄木造り、金泥塗り・切金、玉眼 七九・三 光背 銅製、鍍金・鍍銀

金・鍍銀 台座 檜、漆箔・彩色、一部銅製、鍍金・鍍銀

両脇侍 各檜、寄木造り乃至割矧ぎ造り、金泥塗り・切金、玉眼、一部銅製、鍍金、一

部ガラス製 左脇侍 五八・二、右脇侍 五七・二 各光背 銅製、鍍金 各

台座 檜、漆箔・彩色、一部銅製、鍍金・鍍銀

銘記 阿弥陀如来・右脇侍 各足柄陰刻。墨書(巧匠法眼快慶)

二八 金剛薩菩薩像 京都 随心院 嘉祿三年(一二二七) 以前

檜、割矧ぎ造り、漆箔 一〇二・一

銘記 像内朱書(巧匠法眼快慶)

二九 釈迦如来像 京都 大報恩寺 嘉祿三年(一二二七) 以後

檜、寄木造り、金泥塗り・漆箔、玉眼 八九・三 光背 檜か、漆箔、一部銅板貼

り 台座 檜か、漆箔・彩色・一部切金

銘記 像内朱漆書(巧匠法眼行快)

三〇 阿弥陀如来像 大阪 北十万 嘉祿三年(一二二七) 以後

檜、割矧ぎ造りか、漆箔、玉眼 八二・二

銘記 足柄墨書(巧匠法眼□□(行快か))

三一 阿弥陀如来及び両脇侍像 千葉 道場寺 安貞元年(一二二七)

三軀

各檜、割矧ぎ造り、漆箔、玉眼 阿弥陀如来六八・〇、左脇侍七六・八、右脇侍七

六・五

銘記 阿弥陀如来 像内墨書(施主、安貞元年十一月二十七日始十二月晦造了)

三二 地藏菩薩像 奈良 伝香寺 安貞二年(一二二八)

檜、割矧ぎ造りか、彩色、玉眼 九八・二 台座 檜、彩色

納入品 舍利壺(青瑠璃製)、編袋、舍利(三粒)、種子紙片(墨書)、葉師如来像

(木造、素地)、般若心經(紙本墨書)、細字法華經(版本)、解深密經(紙本墨書

第十八紙末尾に安貞二年二月二十三日、卷末に安貞二年十月書了)、比丘尼妙法

願文(紙本墨書 像名・納入品名)、比丘尼唯心願文(紙本墨書 奥書に安貞二年

二月十五日)、仏子貞隆願文(紙本墨書)、結縁交名(紙本墨書)、十一面觀音菩薩

像(木造、素地)

二三 千手觀音菩薩像 奈良 興福寺 安貞二年(一二二八)

檜、寄木造り、漆箔、玉眼 五二〇・五 光背 檜、漆箔 台座 檜、漆箔

銘記 像内墨書（結縁交名、願文）

納入品 五輪塔（木製、彩色）、梵字千手観音菩薩小呪鏡（白銅製 千手観音小呪を線刻）、観音菩薩像（銅造 鍍金）、千手観音菩薩像（銅造 二軀）、大般若経卷第五百七十八及び千手千眼陀羅尼經（紙本墨書、冊子装、百五十二丁 大般若経分（奥書に梵文縁起法頌等、安貞二年四月十五日書写、願主）、千手千眼陀羅尼経分（奥書に梵文縁起法頌等、安貞二年四月十八日書写、願主）、包紙、納入用短冊形厚板（檜一材製）、般若心経（紙本墨書 三卷 第一卷に心経六十七回、各回奥に建保六年正月から貞応三年正月の年紀、間々執筆僧堯俊、(四)端裏に「自建保五年月始之／自建保六年始之／此内二十卷」とあり、第二卷に心経五十五回、各回奥に貞応三年二月二十八日から安貞二年五月二日の年紀、間々執筆僧堯俊、(五)に信空、第三卷に心経二十九回、(一)から(四)奥に六月八日から□□年三月□の年紀、第二卷・第三卷には「摩訶摩耶経」他経名及び経文の一部記載多し）、千手観音菩薩摺仏（六冊 一紙一摺写、各冊四百体前後、裏面に捨銭額及び結縁者名を墨書、第一冊中に安貞二年四月九日、第二冊中に□□年四月九日・安貞二年四月九日、第三冊中に安貞二年四月の年紀）、毘沙門天像（紙本墨書、淡彩・墨摺中央に毘沙門天像を墨描・着彩、周囲に毘沙門天像印仏多数を押印、上部余白に多聞天種子及び帝釈天種子、下段に「貞応二年正月三日已上一千六十六体」と墨書）、毘沙門天印仏（紙本墨摺、十一枚・九冊 一紙ごとに毘沙門天像一印を多数押印、第一冊分三十八点に承久二□三月―安貞二年四月の年紀）、版本千手千眼陀羅尼（紙本墨摺・墨書 四十六卷各巻に梵字千手千眼陀羅尼一卷分を一版にして数辺乃至七十数辺摺写、各巻首又は端裏に摺写返数・結縁者名、各返の前後に願文・年紀を墨書、紙背に間々消息、年紀は寛喜元年四月十日―四月二十三日）、奉加結縁交名（紙本墨書 捨物量・結縁者名）

三二 阿弥陀如来像

檜、割矧ぎ造り、漆箔、玉眼 七九・六

納入品 大無量寿経拔書（紺紙金字 四十八願を記し、奥書に願趣、安貞二年四月十日書、願主）

三三 阿弥陀如来及び両脇侍像

熊本 明導寺 寛喜元年（一二二九）

三軀

阿弥陀如来 檜乃至樅、寄木造り、金泥塗り・漆箔、玉眼 八八・二 光背 檜か、漆箔 台座 檜、蓮華彩色・一部漆箔

両脇侍 各檜乃至樅、寄木造り乃至割矧ぎ造り、金泥塗り・漆箔、玉眼 左脇侍一〇

三・六、右脇侍一〇六・一 各台座 檜、華盤彩色、上下框漆塗り、側面漆箔

銘記 左脇侍 台座心棒墨書（巧匠、日本国匠、寛喜元年卯月、僧実明）、同台座下框墨画（戯画）

三六 地藏菩薩像

檜、寄木造り、彩色 二五六・四

京都 寂光院 寛喜元年（一二二九）

納入品 造像願文（紙本墨書 願趣、寛喜元年五月十三日始十月造立、像名、納入品名、結縁交名、寛喜元年十一月五日、願主）、地藏菩薩像（檜、一材、彩色・切金）、法華経要品及び題号（紙本墨書、梵網・華嚴・占察・心地観経要文（紙本墨書）、理趣・般若心経及び般若・涅槃経要文（紙本墨書）、諸種真言（紙本墨書）、地藏十輪経卷第一（紙本墨書）、包紙（裏に結縁交名を墨書）、茶地平絹香袋（表面に願趣墨書、粉状物を封入。木製黒漆塗り箱入り）、珠類（木製黒漆塗り箱入り玉、ガラス環（百一顆）、ガラス露玉（座金付き）、刀子（柄・鞘付き鉄製鍛造）、萌黄地牡丹文綾裂、唐・宋銭（十一枚）、木実、獣皮、真綿、地藏菩薩像（三千四百十六軀 各木造、彩色）、地藏菩薩像（三軀 各木造、彩色 厨子入り）、横笛、蝙蝠扇残欠、願文等断片（紙本墨書 その三に十二月十□□）、その他

三七 立山神像

富山 富山県立山博物館 寛喜二年（一二三〇）

銅造 四九・〇

銘記 本体陰刻（像名、願趣、納入品名、寛喜二年三月十一日、勧進僧、願主）、台座框陰刻（結縁交名）

三八 地藏菩薩像

愛知 法蔵寺 寛喜二年（一二三〇）

鉄造、漆箔・素地 一六〇・〇

銘記 本体背部陽鑄（願趣、寛喜二年八月八日、願主）

三九 吉祥天像、持国天像、多聞天像

山梨 福光園寺 寛喜三年（一二三一）

吉祥天像 檜、寄木造り、彩色・漆箔・切金、玉眼 一一・八 光背 檜・漆

箔・黒漆塗り 台座 檜・漆箔

持国天像、多聞天像 各檜、寄木造り、彩色・漆箔・切金、玉眼 持国天像二一七・

〇、多聞天像一一九・八 各邪鬼 檜・彩色

銘記 吉祥天像 像内墨書(寺名、像名、大勧進、大檀越、大仏子蓮慶大徳、寛喜三年十月、願主)

二三 阿弥陀如来及び両脇侍像

宮崎 万福寺 寛喜四年(一二三三)

三軀

各軀、一木造り、素地 阿弥陀如来七八・六、左脇侍九九・二、右脇侍九九・一

銘記 阿弥陀如来 像内墨書(大勧進、大仏師僧聖賢大徳、寛喜四年二月、願趣)

二三 不動明王像台座

奈良 天ヶ瀬組 寛喜四年(一二三三)

銅製 一七・六

銘記 框陰刻(像名、願主、願趣、寛喜四年三月、勧進僧)

二三 阿弥陀如来像

愛知 宝勝院 貞永元年(一二三三)

檜、寄木造り、金泥塗り・漆箔、玉眼 九七・八

銘記 像内朱書(梵字阿弥陀大呪、胎藏界種子曼荼羅、願趣、梵字宝篋印陀羅尼、阿弥陀三尊種子)

納入品 熱田本地仏曼荼羅(紙本墨摺、二種、百三十一枚 本地仏曼荼羅に梵字真

言・種子を加える)、胎藏界種子曼荼羅(紙本墨書)、法華經(紙本墨書・墨摺、五

十五枚 紙背に熱田本地仏曼荼羅(-)を摺写、無量義經・觀普賢經(九枚 第九紙に

阿弥陀名号六十九遍墨書)、法華經(四十六枚 奥書に貞永元年六月十四日始七月

二十九書写畢、願趣、願主、紙背に各種真言・種子を墨書)、浄土三部經(紙本墨

書・墨摺、十七枚 熱田本地仏曼荼羅(-)を摺写、觀無量壽經(五枚 紙背に第一・

第二紙背に阿弥陀名号を墨書)、無量壽經・阿弥陀經(十二枚)、藥師本願功德經

(紙本墨書・墨摺、二枚 紙背に熱田本地仏曼荼羅(-)を摺写)、過去仏名經(紙本

墨書・墨摺、三枚 紙背に熱田本地仏曼荼羅(-)を摺写)、宝篋印陀羅尼經(紙本墨

書・墨摺、二枚 奥書に願主、紙背に熱田本地仏曼荼羅(-)を摺写)、般若心經(紙

本墨書)、略大般若經(紙本墨書・墨摺 紙背に熱田本地仏曼荼羅(-)を摺写)、仏頂

尊勝陀羅尼紙本墨書・墨摺 奥書に貞永元年九月二十六日、願主、紙背に熱田本地

仏曼荼羅(-)を摺写)、版本梵字宝篋印陀羅尼(紙本墨摺、五枚)、大乘布薩序(紙本

墨書・墨摺、六枚 奥書に貞永元年九月、願主、本文余白及び紙背に阿弥陀名号墨

書あり、紙背に熱田本地仏曼荼羅(-)を摺写)、往生礼讃偈(紙本墨書・墨摺、四枚

奥書に貞永元年九月二十一日、願主、紙背に熱田本地仏曼荼羅(-)を摺写)

二三 阿弥陀如来及び両脇侍像

奈良 法隆寺／フランス ギメ東洋美術館 貞永元年(一二三三)

三軀

阿弥陀如来 銅造、鍍金 六四・六 光背 銅製 台座 檜、錆漆下地・彩色

両脇侍 各銅造、鍍金 左脇侍五五・四、右脇侍五五・二

銘記 阿弥陀如来 光背裏面陰刻(像名、造像経緯、寛喜三年三月八日始、貞永元年

八月五日供養、願趣、貞永元年八月、大勧進、大仏師法橋康勝、銅工平国友)

納入品 阿弥陀如来 万坏供養札(紙本墨摺・墨書、約百五十五枚 短冊状紙片に阿

弥陀如来印仏一体、その下に二行の文字を墨摺、四種の版、裏面に結縁者名等墨書、阿弥陀三尊印仏(紙本墨摺・墨書、約九十枚 紙片に阿弥陀三尊印仏を摺写、裏面に墨書)

第五卷 天福元年(一二三三)～仁治三年(一二四二)

二四 十一面観音菩薩像

京都 宝積寺 天福元年(一二三三)

檜、寄木造り、漆箔 一八二・二

納入品 十一面観音造営勧進現在帳(紙本墨書 奥書に天福元年六月九日始)、十一

面観音造立奉加帳(紙本墨書 奥書に天福元年六月九日始)、十一面観音造営法華

三十講現在帳(紙本墨書、二卷 その一卷首に七月十日始、奥書に天福元年七月十

日、その二巻首に天福元年七月十日始)、法華三十講結縁交名(紙本墨書、結縁交

名断簡(紙本墨書、念仏記 紙本墨書 阿弥陀名号)、十一面観音摺仏(紙本墨摺

大小型共四千八百四十枚 大型分三千九百三十八枚 小型分九百二枚 各十一面

観音菩薩を一体ずつ摺写、上方に「六万体内」とある、裏面に願意・人名等を墨

書、一部に天福元年七月三日・天福元年七月九日・天福元年七月二十五日・天福

元年八月二日・天福元年八月九日等の年紀)、木片(二片、檜 その一 表裏に墨書、大仏師法印院範、天福元年六月二十三日ハシ□□、その二 表裏に墨書、法橋院雲為造仏師、天福元年八月)、砥石(四片)

二三 十一面観音菩薩像

樟、寄木造り、素地

奈良 広瀬区 天福元年(一二三三)

納入品 十一面観音菩薩像(檀、一木造り、素地)、包紙(二紙 像名墨書)、錦袋(紅地団花文錦)、結縁交名(紙本墨書 頭書に寺名、像名、天福元年)、結縁交名(紙本墨書)、文書(紙本墨書 末尾に□□フクかん□□ん八月十八日)、十一面観音菩薩印仏(紙本墨捺 短冊形一紙に各一体を押印、図像に二種あり、裏面に結縁者名・願意等を墨書)、錢貨(三枚)

二三 俊乘上人像

檜、寄木造り、彩色 八一・六

兵庫 浄土寺 天福二年(一二三四)

銘記 像内墨書(天福二年二月十四日自南都、勸進、願趣)

二三 阿弥陀如来及び両脇侍像

三軀

奈良 金光寺 天福二年(一二三四)

阿弥陀如来 檜、寄木造り、金泥塗り・漆箔、玉眼 七九・一

両脇侍 各檜、寄木造り、金泥塗り・彩色・切金、玉眼 左脇侍五六・四、右脇侍五

七・一

銘記 阿弥陀如来像 足柄墨書(天福二年三月一日)

二三 阿弥陀如来像

檜、割矧ぎ造り、金泥塗り・漆箔、玉眼 七一・一

東京 清源寺 天福二年(一二三四)

銘記 像内墨書(てんふく二年五月十六日、朝賢。天福二年五月十六日、僧朝賢)

二三 十一面観音菩薩像

本体・台座 桂、一木造り、素地 総高七二・四

福島 八槻郡古別神社 天福二年(一二三四)

銘記 台座背面墨書(像名、造像経緯、天福二年七月十九日、願主、成弁作)

二四 阿弥陀如来像

檜、割矧ぎ造り、漆箔、玉眼 九八・八

滋賀 阿弥陀寺 文暦二年(一二三五)

銘記 足柄墨書(巧匠法眼行快)

納入品 願文(紙本墨書 願主、願趣、文暦二年五月八日、結縁交名)、結縁交名

(紙本墨書) 爪・毛(包紙の表裏に墨書)、髪・紙包み(頭髮と表に墨書のある紙包みを紙で包む、表に墨書)、絹裂(紙に包む)、灰・髪(紙に包む)、包紙(上記納入品をまとめて包む)、入道行蓮法眼行快等願文・結縁交名(紙本墨書 紙背消息に四月二十九日)、僧澄空書写結縁交名(紙本墨書、七紙)、書狀断簡(紙本墨書、灰・紙片・髪及び包紙、和歌等断簡(紙本墨書、三紙))

二四 阿弥陀如来像

針葉樹材(檜か)、寄木造り、金泥塗り・切金、玉眼 七九・〇

京都 清水寺 文暦二年(一二三五)

納入品 造像願文(紙本墨書 願主、像名、願趣、嘉禎元年十一月二十六日)、妙法蓮華経(紙本朱書、八卷 第一卷奥書に文暦二年六月三十日、願主・執筆僧、第二卷奥書に文暦二年潤六月四日、願主・執筆僧、第三卷奥書に文暦二年閏六月六日、願主・執筆僧、第四卷奥書に文暦二年閏六月八日、願主・執筆僧、第五卷奥書に文暦二年後六月十一日、願主・執筆僧、第六卷奥書に文暦二年後六月十四日、願主・執筆僧、第七卷奥書に文暦二年後六月十七日、願主・執筆僧、第八卷奥書に文暦二年後六月十九日、願主・執筆僧)、阿弥陀如来像(銅造、鍍金)

二四 地藏菩薩像

鉄鑄造、漆箔 一六〇・〇 台座 鉄鑄製

愛知 長光寺 文暦二年(一二三五)

銘記 台座框陽鑄(願主、像名、願趣、文暦二〇〇〇日)

二四 広智上人像

榧、割矧ぎ造り、彩色、玉眼 七五・七

茨城 東城寺 嘉禎三年(一二三七)

銘記 裳裾裏面墨書(寺名、嘉禎三年正月、願趣)

二四 伝薬師如来像

檜か、寄木造り、金泥塗り、後頭部頭髮練物 五一・八

兵庫 法恩寺 嘉禎三年(一二三七)

銘記 像内墨書(大日如来応身真言、同報身真言、同法身真言、願主、嘉禎三五月二十七日□伴、大宋嘉興元年六月十一日造始同十八日合、大宋明州雕仏沈一郎)

二五 地藏菩薩像、泰山府君像

地蔵菩薩像 檜、寄木造り、彩色・切金 二二・五 光背 木製、漆箔 台座

檜、彩色・漆箔

泰山府君像 檜、寄木造り、彩色、玉眼 一二四・〇

銘記 地藏菩薩像 像内墨書（大勸進、願趣、嘉禎第三天霜月下句造、大仏司法橋康清）、底板下面墨書（嘉禎第三〇四月八日始十一月二十七日造）

一四 藥師如來像 愛知 泉福寺 嘉禎三年（一二三七）

銅造、素地 二九・六

銘記 背部陰刻（勸進、嘉禎參年）

一四 聖觀音菩薩像 大分 個人藏 嘉禎四年（一二三八）

銅造、鍍金 一〇・三 厨子 銅製、鍍金

銘記 厨子背面陰刻（嘉禎四年八月十八日奉鑄、願主か）

一四 地藏菩薩像 奈良 新藥師寺 嘉禎四年（一二三八）

檜、寄木造り、彩色、玉眼 一八八・一

銘記 体部背面材墨書（僧名）、頸部材底板墨書、体部材頸部墨書

納入品 金剛壽命陀羅尼經・一切如來隨心真言・尊遍造像願文（紙本墨書 第一紙から第二紙に金剛壽命陀羅尼經、続けて梵字一切如來隨心真言、第三紙から同紙紙背にかけて尊遍造像願文、嘉禎四年十一月十九日、同紙背に尊□寄進状案、奥書に嘉禎二年二月十一日、第二紙・第一紙紙背に各仮名消息）、般若波羅蜜多心經殘欠（紙本墨書）、熙寧元宝（包紙の表裏に墨書、執筆僧、熙寧元宝・皇宋通宝（二枚包紙二枚を重ねて折り畳む、各包紙表裏に墨書）、不明文（紙本墨書）、願文（紙本墨書）、般若波羅蜜多心經（紙本墨書）

一四 十一面觀音菩薩像 福岡 清水寺 嘉禎四年（一二三八）

檜、寄木造り、彩色 一〇八・三

銘記 像内墨書（嘉禎四年十一月九日、大檀那）

一五 阿彌陀如來像 宮城 油井一夫 曆仁二年（一二三九）

針葉樹（榧か）、一木造り 九六・六

銘記 像内墨書（像名、願趣、曆仁二年）

一五 如意輪觀音菩薩像 兵庫 円教寺 延応元年（一二三九）

桜か、一木造り、彩色 一八・九

銘記 台座岩座底面墨書（願主、願趣、延応元年二月二十六日供養）

一五 阿彌陀如來像 兵庫 光行寺 延応元年（一二三九）

檜、寄木造り、金泥塗り・漆箔、玉眼 六四・五

納入品 願文（紙本墨書 願趣、執筆僧、延応元年二月十三日）、阿彌陀如來印仏（紙本墨捺、二十六紙 料紙は消息や日記、両面或いは片面に捺印、料紙の端に印仏数を墨書）、灰骨（十六個 三重の紙に包まれ第二紙に「死骨」の墨書）

一五 地藏菩薩像 奈良 鵜町自治会 延応元年（一二三九）

檜、割刳ぎ造り、金泥塗り・彩色・切金 六〇・四

納入品 願文（願趣、延応元年二月二十四日、願主）

一五 地藏菩薩像 奈良 大蔵寺 延応元年（一二三九）

檜、寄木造り、彩色・切金、玉眼 五〇・八

銘記 像内墨書（嘉禎三年八月二十四日造始、願主、仏師長信）

納入品 地藏菩薩摺仏（紙本墨摺 三百三十六紙 一版一紙、六十一紙の紙背に結縁者名等墨書、三紙に延応元年九月□□・延応元年九月□□・延応元年九月二十八日の年紀、一紙に仏師僧長信□所三条高倉）

一五 阿彌陀如來像 三重 専修寺 延応二年（一二四〇）

檜、寄木造り、彩色・切金、玉眼 九八・六

銘記 足柄墨書（運慶法印弟子但馬法橋慶俊作、延応二年三月十二日）

一五 地藏菩薩像 奈良 藥師寺 延応二年（一二四〇）

檜、寄木造り、素地・彩色・切金、玉眼 九七・三

納入品 願文（紙本墨書 地藏菩薩本願經下、地藏十輪經等の偈文、延応二年卯月二十六日造、大施主、木造大仏師善円、彩色仏師円慶、結縁者）

一五 地藏菩薩像 静岡 MOA美術館 仁治元年（一二四〇）

檜、割刳ぎ造り、彩色・切金、玉眼 七八・四

納入品 造像願文（紙本墨書 造像経緯、十二月十六日造立供養、同二年二月二十四日彩色、願趣、願主）

一五 馬頭觀音菩薩像 京都 浄瑠璃寺 仁治二年（一二四一）

檜、割刳ぎ造り、彩色・切金 一〇六・七 光背・台座 檜、彩色・漆箔

銘記 像内墨書（仁治二年三月晦日始、同四月二十九日造、南都巧匠善義房良賢、禪

林房増全、増良坊観慶、沙門禎舜、馬頭明王真言)

納入品 双身毘沙門天像(木造、彩色)、馬頭観音菩薩像(木造、素地・彩色)、馬頭
観音菩薩像断片(木造、素地・漆箔 十六個)

一五 色定法師像

檜 寄木造り、彩色 七九・一

福岡 興聖寺 仁治二年(一二四二)

銘記 体部背面墨書(像名、勧進僧、仁治二年十二月九日刻、次年十一月六日入滅)

一六 阿弥陀如来像

檜、割矧ぎ造り、漆箔、玉眼 七八・二

三重 善教寺 仁治二年(一二四二)

納入品 阿弥陀如来・十一面観音菩薩摺仏(紙本墨摺、四卷 阿弥陀如来立像と十

一面観音立像各一体を上下に墨摺、七百十七回摺写、紙背に墨書、卷一紙背卷首

に嘉禎四年さきの二月一日摺始、卷二紙背卷首に延応元年六月分、卷三表卷首に

延応延応二年二月分・三月分・四月分・五月分・六月分・七月分・八月分・九月

分・十月分、同卷末に仁治元年十月二十八日、願主、願趣、卷三紙に背延応元二年

正月分)、阿弥陀如来・十一面観音菩薩像摺仏断簡(紙本墨摺、三枚 各紙背に墨

書、(一)嘉禎四年二月一日摺始、(二)仁治元年十月二十九日奉籠、願主、般若心経・阿弥

陀経(紙本墨書 奥書に天福元年六月、願主)、仏頂尊勝陀羅尼断簡、藤原実重作

善日記(紙本墨書 元仁二年より、最後の日付は仁治元年正月十九日)、藤原実重

願文(紙本墨書 奥書に延応元年七月二十七日、願主、願文中に延応元年十一月及

び翌年五月等の追筆)

一七 金剛力士像

兵庫 石龜寺 仁治三年(一二四二)

二 軀

各檜か、寄木造り、古色塗り、玉眼 阿形三六九・一、吽形三七四・二

銘記 阿形 像内墨書(像名、大仏師南方派肥後法橋定慶生年五十九、小仏師甲斐校貞

校貞明・伊賀校朝慶・丹後別当定智・伊勢公春慶、木寄番匠僧鏡西、仁治三年三

月二十一日始、四月十三日木造畢、願主、勧進僧)

吽形 像内墨書(像名、大仏師南方派肥後法橋定慶生年五十九、小仏師甲斐校貞

明・伊賀校朝慶・丹後別当定智・伊勢公春慶、木寄番匠僧鏡西、仁治三年三月二

十一日始、卯月十一日木造畢、願主、勧進僧、行事僧)

一八 山王神像、僧形像

熊本 釈迦院 仁治三年(一二四二)

八 軀

各檜か、一木造り、彩色 一宮三六・八、二宮三八・〇、三宮三七・八、四宮三九・

八、五宮四四・〇、六宮三八・五、七宮三九・八、僧形像六〇・五

銘記 一宮 像底墨書(勧進僧、仁治三年七月十六日、仏師僧長実)、体部墨書(像

名)、二宮 像底墨書(願趣、仁治三年七月十六日、勧進僧、仏師僧長実)、体部

墨書(像名)、三宮 背面墨書(像名)、四宮 背面墨書(像名)、五宮 背面墨書

(像名)、六宮 背面墨書、七宮 背面墨書(像名)

一九 勢至菩薩像

熊本 光明寺跡阿弥陀堂 仁治三年(一二四二)前後

檜か、寄木造り、古色塗り 五五・二

銘記 像内墨書(大勧進、大仏師僧長実)

二〇 地藏菩薩像、閻魔王像、俱生神像

滋賀 浄信寺 仁治三年(一二四二)

地藏菩薩像 檜か、寄木造り、彩色 一二二・六

閻魔王像、俱生神像 各檜、寄木造り、彩色 閻魔王一〇六・六、俱生神一〇六・四

納入品 地藏菩薩 木札(墨書 結縁交名、像名、仁治三年八月二十四日造、十月十

八日彩色、仏師藪坂本住人越後□坊カイチム)

二一 阿弥陀如来像

福岡 万行寺 仁治三年(一二四二)

檜、割矧ぎ造り、金泥塗り・切金、玉眼 八一・四

銘記 像底裾裏墨書(仁治三年九月十五日、法橋快成)

二二 十一面観音菩薩像

福岡 観世音寺 仁治三年(一二四二)

檜・樟、寄木造り、漆箔・古色塗り 三〇三・〇

納入品 造像願文(紙本墨書 像名、造像経緯、願主、仁治三年四月十八日始、願趣、

仁治三年九月二十七日奉□)

第六卷 仁治四年(一二四三) 建長二年(一二五〇)

二〇 阿弥陀如来像

京都 大念寺 仁治四年(一二四三)

檜、割矧ぎ造りか、漆箔、玉眼 八〇・九

納入品 阿弥陀如来種子月輪（白檀一材製、素地、墨書 阿弥陀如来種子、種子筆者、願主）、未敷蓮華（木造、漆箔、朱書 裏面に仁治四年正月三十日、願主、包紙に朱書）、無量寿經（紙本墨書、二卷 上巻奥書に名号、執筆僧、下巻奥書に願文、執筆僧、仁治四年二月一日、下巻紙背に執筆僧）、阿弥陀經（紙本墨書 紙背に願主）、觀無量寿經（紙本墨書 紙背に執筆僧）、法華經寿量品（紙本墨書 紙背に執筆僧）、梵網經（紙本墨書 奥書に仁治四年二月一日書写、願主、紙背に願主、執筆僧）、觀經玄義分（紙本墨書 紙背に執筆僧）、受戒交名（紙本墨書、二枚）、戒文（紙本墨書 末尾に願主）、結縁者名簿（紙本墨書、百六枚 包紙二枚、墨書）

一六 阿弥陀如来像 群馬 善勝寺 仁治四年（一二四三）

銅造・鉄造、素地 八九・二

銘記 体部背面陽鑄（仁治四年二月、大勧進僧、願主）

一七 阿弥陀如来像 岩手 延妙寺 寛元元年（一二四三）

檜、寄木造り乃至割矧ぎ造り、漆箔、玉眼

銘記 像内墨書（梵字五行、像名、大仏師幸運、同子息幸賢、寛元元年十月二十五日造立、願主）

一八 千手觀音菩薩像 茨城 菊蓮寺 寛元二年（一二四四）

榧、寄木造り、素地 三六三・四

納入品 木札（檜製 片面に墨書 和歌、願主、寛元二年四月）

一九 阿弥陀如来像 長野 碩水寺 寛元二年（一二四四）

檜、割矧ぎ造り、金泥塗り・漆箔、玉眼 九一・三

銘記 像内墨書（仁治三年十月始、寛元二年卯月十二日造立、大勧進、大仏師僧永実）

二〇 阿弥陀如来像 愛知 熊野神社 寛元二年（一二四四）

檜、割矧ぎ造り、漆箔 八八・八 光背・台座 檜、漆箔

銘記 像内墨書（寛元二年卯月二十四日、勧進、巧匠僧行慶）

二一 釈迦如来及び両脇侍像 岐阜 願興寺 寛元二年（一二四四）

三軀

釈迦如来 檜、割矧ぎ造り、漆箔、玉眼 五九・〇 台座 檜、漆箔
両脇侍 各檜、割矧ぎ造り、漆箔、玉眼 左脇侍四五・五、右脇侍四三・九
台座 檜、蓮華座漆箔、象・獅子彩色

銘記 釈迦如来 像内墨書（寛元二年五月二十三日造立、勧進、大檀那、仏師僧寛俊、小仏師定仏）

二四 十二面觀音菩薩像 兵庫 中山寺 寛元二年（一二四四）

二軀

各軀もしくは檜、寄木造り、素地、玉眼 その一一八・二、その二一七・三
銘記 その一 足柄墨書（寛元二年十二月六日、仏師法橋快成）

納入品 その一 頭髮狀の束及び卷子

その二 頭髮狀の束

二五 金剛力士像 広島 福盛寺 寛元三年（一二四五）

二軀

各檜、一木造り、彩色 阿形二〇七・五、吽形二二一・七

銘記 吽形 像内墨書（結縁者、寛元三年十月八日始、十二月二十『備陽六郡志』に寛元三年十二月十五日、大仏師僧昌快と記載）

二六 救世觀音菩薩像 京都 三千院 寛元四年（一二四六）

杉及び檜、寄木造り、漆箔、玉眼 三九・〇

納入品 造像願文（紙本墨書 名号、願主、寛元四年十月二十日、願主）

二七 聖徳太子像 埼玉 天洲寺 寛元五年（一二四七）

檜、寄木造り、彩色、玉眼 一三九・一

銘記 像内墨書（造立地、像名、願主、寛元五年正月十三日、願主、大仏子法橋慶禪、結縁者名）

二八 金剛力士像 静岡 秋葉寺 寛元年間（一二四三～一二四七）

二軀

各檜か、寄木造り、彩色 阿形二六九・三、吽形二六七・一

銘記 吽形 像内墨書（寺名、像名、願主、寛元□年□月□日、願主）

一五 弥勒仏像

茨城 弥勒教会 宝治元年（一二四七）

檜、寄木造り、漆箔、玉眼 一七七・〇 光背・台座 檜 漆箔

銘記 像内墨書（宝治元年四月二十四日、像名、願主、願趣）、足柄墨書（願主、像名、八月五日）

一六 阿弥陀如来及び両脇侍像

山形 慈光明院／山形 本山慈恩寺 寛元五年（一二四七）

三軀

阿弥陀如来 桂または朴、寄木造り、漆箔、玉眼 八七・六

両脇侍 各桂または朴、割矧ぎ造り、漆箔及び金泥塗り、玉眼 左脇侍一一〇・四、右脇侍一〇九・六

銘記 阿弥陀如来 像内墨書（僧名）

納入品 阿弥陀如来 五輪塔（檜か、素地、三方に墨書 五大種子、寛元五年、底部穴に舍利三粒）

左脇侍 阿弥陀如来印仏（紙本墨捺 二種 約二百―三百枚）

一七 愛染明王像

奈良 西大寺 宝治元年（一二四七）

檜、割矧ぎ造り、漆箔・彩色・切金文様 玉眼 三一・八 光背 木製・漆箔・彩色

色 台座 木造、漆箔・漆塗り・彩色・鍍金 厨子 木製、朱漆塗り

納入品 経筒（木製、彩色・漆塗り・箔押し等）、舍利容器（二口 その一 金製、蓋付き、舍利一粒 その二 銀製、紺紙を蓋。二口を錦裂で包み紙捻で結ぶ）、瑜伽

瑜祇経（紙本墨書 奥書に宝治元年八月十八日記、漢字・梵字執筆僧、仏師善円、経師実有、大檀越、大願主敬尊、結縁衆）、梵文宝篋印陀羅尼（紙本墨書、範恩造

立願文（紙本墨書 像名、願趣、宝治元年八月十八日、願主）、散念誦（紙本墨書 末尾に自宝治元年八月十八日同二十五日畢）、錦包裂（経文及び願文を包む）、梵

字・花押紙片（三片）

一八 阿弥陀如来像

岩手 鈴木茂寿 宝治二年（一二四八）

桂、一木造り、漆箔、玉眼 六四・八

銘記 像内墨書（大檀主、女檀主、一切如来心中真言（仏心呪）、宝治二年二月二十一日、大仏師千阿弥陀仏）

一八 薬師如来像

福井 竜前区 宝治二年（一二四八）

銅造、鍍金、白毫（銀か） 五一・〇

銘記 体部背面陰刻（像名、宝治二年六月）

一九 阿弥陀如来像

岡山 真如院 宝治二年（一二四八）

檜、寄木造り、素地、玉眼 六四・九

銘記 像内墨書（宝治二年六月四日開眼、願主、仏師広慶、結縁衆）

二〇 薬師如来像

福岡 誓願寺 宝治二年（一二四八）

檜、寄木造り、素地 四六・八

銘記 像内墨書（宝治二年七月十五日始八月八日、大願主、大仏師僧宗慶、願趣、結縁者）

二一 阿弥陀如来及び両脇侍像

香川 法蓮寺 宝治二年（一二四八）

三軀 阿弥陀如来 檜、割矧ぎ造り、古色塗り、玉眼 九九・五

両脇侍 各檜、寄木造り、古色塗り、玉眼 左脇侍五七・五、右脇侍五八・二

銘記 阿弥陀如来 像内朱書（願主、大仏師法眼円□□、宝治二年□□）

二二 阿弥陀如来及び両脇侍像

埼玉 向徳寺 宝治三年（一二四九）

三軀 阿弥陀如来 銅造、鍍金 四七・一

両脇侍 各銅造、鍍金 左脇侍三三・四、右脇侍三三・四

銘記 阿弥陀如来 台座反花背面陰刻（願主、宝治三年二月八日）

両脇侍 各台座反花背面陰刻（願主）

二三 金剛力士像

岡山 仏教寺 建長元年（一二四九）

二軀

各檜か、寄木造り、彩色 阿形二七四・九、吽形二七四・二

銘記 阿形像 像内墨書（建長元年三月二十日）

二四 釈迦如来像

奈良 西大寺 建長元年（一二四九）

檜、寄木造り、素地・切金文様 一六七・〇 光背・台座 檜、素地・切金

銘記 台座框墨書（自建長元年三月十五日至四月三日清凉寺で木作、開眼、同五日

西大寺に迎え、自四月十五日至二十三日織金畢、五月四日四王堂に安置、大仏師法橋上人位善慶・増金・行西・盛舜・觀慶・弁夷・迎損・慶俊・尊慶・絵師定春・蓮□・幸夷・鏡辨、番匠行久・紀時末・真野末国・三国国満・紀時末

納入品 五輪塔（水晶製 舍利六粒、願文〈墨書〉、錦袈に包み絹紐で留める）、悲華經（墨書）、小卷、錦袋、法華經（紙本墨書、十卷）、心經・阿弥陀經、錦袋殘欠、（前記經卷を納入）、梵字真言曼荼羅・梵網經（紙本墨描・墨書 奥書に寛元年八月五日、願趣、執筆僧、包紙を付す）、願文・阿弥陀經（紙本墨書 末尾紙背に墨書）、沙弥總持發願記（紙本墨書 奥書に建長元年四月十九日願定畢）、沙弥祐信願文（紙本墨書 奥書に建長元年四月二十日）、比丘尼戒忍願文・結緣交名（紙本墨書 戒忍願文、結緣交名十種、包紙）、結緣交名等小卷（紙本墨書、九卷 包紙）、散華・五輪塔形紙等（散華 金銀砂子散し、五輪塔形紙 各輪に墨書、二十枚、摺仏殘欠 四片）、包紙（四枚 散華・五輪塔形紙を包む一枚に宝治三□□月二十二日の墨書）、賢任造像願文及び奉加帳（紙本墨書 願文五紙繼、奉加帳六紙繼 包紙と紙繼三本 願文奥書に宝治二年八月八日）、結緣交名（紙本墨書、八卷〈もとは四卷の軸・八双・巻物二卷ずつを一包〉）その一端裏に釈迦宝号結緣衆、本文中に宝治三年三月二十七日始、その二釈迦宝号結緣過去帳、その三 四十六点〈断片も含む、以下同〉、（4）・（7）・（4）の末尾に建長元年四月、（13）・（24）・（25）の末尾に建長元年五月三日、（15）の文中に建長元年五月三日、（22）の末尾に□長□年五月一日、（23）の末尾に□□□年五月一日、執筆僧、（26）の末尾に□□□年五月三日、（34）の末尾に□□□卯月二十八日、（37）の末尾に建長元年四月、（37）の末尾に宝治三年四月四日、（44）の末尾に五月四日、その四 四十三点、その五 三十四紙、（46）五月四日、□元年五月、その六 三十七点、その七 四十六点、その八 十三点、抹香包・漆蓋紙

二〇 薬師如来像 兵庫 正福寺 建長元年（一二四九）

檜か、一木造り、漆塗り 八五・五

銘記 大仏師進士上座善慶、建長元年仲秋九日始、同十一月九日□、願主

二一 地藏菩薩像 ドイツ ケルン東洋美術館 建長元年（一二四九）

檜、割矧ぎ造り、彩色 七六・六

納入品 錦袋、釈迦如来像（銅造、鍍金）、阿弥陀如来像（銅造、鍍金）、印仏（紙本墨捺 六千二百六十六枚〈阿弥陀如来像五千三百三十五枚、地藏菩薩像九百九十一枚、

切紙一紙一体 阿弥陀如来像は二種類、その紙背の一部に結緣交名、願趣、梵字名号の墨書）、地藏菩薩像（檜、彩色）、諸真言（紙本墨書 卷末に願文、建長初曆仲冬七日、願主）、法華經（版本墨摺 卷七末牌記に臨安府衆安橋南／買官人經書鋪印）、梵網經（紙本墨書 各二卷）、般若理趣經・金剛界礼懺・梵讚（紙本墨書 般若波羅蜜理趣品、金剛界礼懺文、四智讚、心略讚、金剛薩讚、不動讚、奥書に建長元年十一月十三日書写、執筆僧）、普賢行願品（紙本墨書、無量壽經（紙本墨書、二卷）、觀無量壽經（紙本墨書）、阿弥陀經（紙本墨書）、般若心經・地藏菩薩經（紙本墨書）、大般若理趣分（紙本墨書）、大般若經諸品經文（紙本墨書）、法華懺法（紙本墨書 奥書に建長元年十一月十三日、執筆僧）、願書（紙本墨書 像名、願趣、奥書に建長元年十月十五日造始、同十一月二十四日奉納、願主、大仏師法眼康円）、地藏菩薩宝号（紙本墨書）、地藏菩薩御身奉納仏經等目錄（紙本墨書 奥書に建長元年十一月二十四日、願主）

二二 千手觀音菩薩像 栃木 中禪寺 建長二年（一二五〇）

檜、一木造り、漆箔、玉眼 一〇七・三

銘記 足柄墨書（建長二年四月二日、勸進）、像底墨書（結緣者か）

二三 阿弥陀如来像 東京 八幡神社 建長二年（一二五〇）

銅造、素地・一部彩色 四〇・〇

銘記 本体背部陰刻（像名、願趣、建長二年孟夏七日、施主、願主）

二四 釈迦如来像 京都 竜源院 建長二年（一二五〇）

檜、寄木造り、漆箔、玉眼 五一・八

銘記 像内墨書（建長二年七月造、行心作、建長）

二五 觀音菩薩・勢至菩薩像 愛媛 円明寺 建長二年（一二五〇）

各檜、寄木造り、漆箔、玉眼 觀音菩薩六〇・二、勢至菩薩六〇・六

納入品 觀音菩薩 毛髮、包紙（表裏に墨書 像名、願趣、建長二年七月一日、願主、紙背に像名）

勢至菩薩 毛髮、包紙（墨書 像名、願趣、建長二年七月一日、願主）

一六 聖観音菩薩像

愛知 熊野神社 建長二年(一二五〇)

檜、寄木造り、素地 七九・〇

銘記 像内墨書(大仏子僧鏡慶、寺名、像名、建長二年十月十一日、大勧進、大檀越)

第七卷 建長三年(一二五二)～康元元年(一二五六)

一七 地藏菩薩像

千葉 応徳寺 建長三年(一二五二)

櫃、一木造り、漆塗り・彩色 八五・三

銘記 像内墨書(像名、願趣、建長三年六月二十五日、仏師定阿弥陀仏)

一八 初江王像

神奈川 円心寺 建長三年(一二五二)

檜、寄木造り、古色塗り、玉眼 一〇二・一

像内墨書(建長三年八月五日、□□幸有、願主、願趣、大檀那、阿弥陀乃至普賢菩薩種子、釈迦如来種子、金剛界大日如来種子、阿弥陀三尊種子)、像底墨書(雪山偈)

一九 玉依姫命像

奈良 吉野水分神社 建長三年(一二五二)

檜、寄木造り、彩色、玉眼 八二・四

銘記 像内墨書(結縁交名、建長三年十月十六日、大檀越、願趣)

二〇 千手観音菩薩像

茨城 楞嚴寺 建長四年(一二五二)

檜、寄木造り、漆箔、玉眼 二〇七・三 台座 檜、漆箔

銘記 本体背面裾部陰刻(建長四年七月、願主)

二一 悉達太子像

京都 仁和寺 建長四年(一二五二)

檜か、寄木造り、彩色・切金、玉眼 五三・六

納入品 釈迦如来種子月輪(木製、彩色・切金、墨書 裏面に梵字大日如来三身真言)、紙片その一(書状写し 墨書 奥書に建長四 十月二十九日種子奉、発給者)、紙片その二(墨書 承応二年二月四日修理記、仏師忠円、願主)、包紙(写し 墨書 裏面に大仏師法眼院智、□□印慶□)

二二 観音菩薩・勢至菩薩像

三重 遍照寺 建長四年(一二五二)

各檜、寄木造り、漆箔、玉眼 観音菩薩三〇・二、勢至菩薩四五・七

銘記 観音菩薩 像内墨書(阿弥陀如来種子、建長□十一月二十一、法橋院□、院□)

勢至菩薩 像内墨書(名号、阿弥陀如来種子、建長四年十一月十日、法眼院春、像名)

二三 阿弥陀如来及び右脇侍像

茨城 蔵福寺 建長四年(一二五二)

二軀

阿弥陀如来 檜、割矧ぎ造り、古色塗り・漆箔、玉眼 七八・五

右脇侍 檜、割矧ぎ造り、古色塗り、玉眼 五一・四

銘記 阿弥陀如来 像内墨書(阿弥陀如来・金胎大日如来種子、建長三年十二月十五日造立、仏師讃岐別当有慶、大施主、筆師)

納入品 阿弥陀如来 紙片(墨書 願趣、建長二年十二月、願主)、観無量寿経(紙本墨摺)、無量寿経(紙本墨摺、二卷)、阿弥陀経(紙本墨書)、包紙か(墨書)

二四 阿弥陀如来像

東京 善明寺 建長五年(一二五三)

鉄造、素地 一七二・二

銘記 衲衣左胸陽鐫(大勧進、大工藤原助近、願趣、建長五年二月十八日)、衲衣左

前膊陽鐫(願主)

二五 阿弥陀如来像

東京 東京芸術大学 建長五年(一二五三)

銅造、鍍金 五〇・二

銘記 体部背面陰刻(寺名、願主、檀越、建長五年二月二十一日)

二六 弥勒菩薩像

奈良 興福寺 建長五年(一二五三)

檜、割矧ぎ造り、金泥塗り・彩色・切金、玉眼 八七・〇 台座 檜、漆箔・彩色・切金

納入品 造像願文(紙本墨書 建長二年四月七日始、同五年三月上旬了、像名、大仏師快円、大施主、願趣、結縁衆)、結縁交名(紙本墨書 末尾に建長五年三月十八日)

二七 薬師如来像

茨城 岩谷寺 建長五年(一二五三)

檜、寄木造り、漆箔、玉眼 一八六・三 光背 檜、漆箔

銘記 本体背面陰刻（建長五年七月、願主）

三六 阿弥陀如来及び両脇侍像

東京国立博物館 建長六年（一二五四）

三軀

阿弥陀如来 銅造、鍍金・一部彩色 四七・三

両脇侍 各銅造、鍍金・一部彩色 左脇侍三三・〇、右脇侍三三・〇

銘記 阿弥陀如来 体部背面陰刻（像名、建長六年正月二十日、勸進、造像動機）

両脇侍 各体部背面陰刻（建長六年正月二十日、勸進）

三〇 虚空藏菩薩像

山梨 智光寺 建長六年（一二五四）

檜 寄木造り、漆箔・漆塗り、玉眼 六二・五

銘記 像内墨書（虚空藏菩薩種子、虚空藏菩薩真言、求聞持虚空藏真言、像名、建長

六年四月）

三〇 地藏菩薩像

奈良 福智院 建仁三年（一一〇三）・建長六年（一二五四）

桂・檜 寄木造り、彩色・切金 二七・七 光背 檜、漆箔 台座 檜・杉、

漆箔

銘記 像内墨書（像名、名号、偈文三、建仁三年六月二十七日始、勸進僧、願主また

は結縁者、（以下異筆）願趣、結縁交名、建長六年六月二十一日供養）

三二 地藏菩薩像

滋賀 長命寺 建長六年（一二五四）

檜、割矧ぎ造り、彩色・金泥塗り・切金、玉眼 九六・六 光背・台座 各檜、彩

色・切金

銘記 台座下框裏面墨書（興福寺大仏師相承合東大寺大仏師薬師寺大仏師、法橋栄

快、少仏師、建長六年閏五月、定朝八代栄快法橋、像名）

納入品 舍利壺か、板製地藏菩薩像（X線による）

三三 釈迦如来像

福岡 安国寺 建長六年（一二五四）

檜・樺、寄木造り、漆箔・素地、玉眼 一一五・五

銘記 像内墨書（願趣、建長六年五〇〇〇始、同年七月十五日畢、願主、仏師六条坊門〇

箭越後法橋慶厳）

三三 薬師如来像

宮城 小針薬師堂 建長六年（一二五四）

檜、寄木造り、素地 一〇九・〇

銘記 像内墨書（像名、建長六年八月、大檀那、願趣、結縁者）

三四 大黒天像

奈良 西大寺 建長七年（一二五五）

檜、寄木造り、彩色 八二・七 台座 檜、黒漆塗り

納入品 版本法華経（紙本墨摺、四帖）、版本大般若経理趣分（紙本墨摺 刊記に建

長七年二月二十六日）、諸尊種子曼荼羅（紙本墨書 諸尊の種子曼荼羅の他諸尊の

種子・真言、五輪塔（檜、素地 各面に五大種子、二面に金剛界五仏種子、他の

二面に胎藏界五仏種子と裏）、大黒天像（檜、一木造り、拭漆）、弁財天懸仏（銅製、

鍍錫）

三五 阿弥陀如来像

島根 心覚院 建長七年（一二五五）

檜、一木造り、漆箔、玉眼 九八・七

銘記 像内墨書（願趣、建長七年六月十八日）

納入品 阿弥陀如来印仏（紙本墨捺）

三六 薬師如来像

山口 神上寺 建長七年（一二五五）

檜、一木造り、素地 八四・九

銘記 像底脚部墨書（建長七年十月二十七日始、大勸進）

三七 薬師如来像

神奈川 東光寺 建長八年（一二五六）

檜、寄木造り、素地 一二八・一

銘記 背面腰部墨書（建長八年三月八日）

三八 毘沙門天像、吉祥天像、善膩師童子像 高知 雪隠寺 建長八年（一二五六）以前

毘沙門天像 檜、寄木造り、彩色・漆箔、玉眼 一六八・〇 邪鬼 檜、彩色

吉祥天像 檜、寄木造り、彩色、玉眼 七九・七

善膩師童子像 檜、寄木造り、彩色、玉眼 七一・二

銘記 毘沙門天像 足柄墨書（像名、法印大和尚位湛慶）

三九 弘法大師像

京都 六波羅蜜寺 建長八年（一二五六）以前

檜、寄木造り、彩色、玉眼 六九・一

銘記 像内墨書（巧匠定阿弥陀仏長快）

三〇 愛染明王像

奈良国立博物館 建長八年（一二五六）

檜、割矧ぎ造り、彩色・切金、玉眼 二五・九 光背・台座 各檜、彩色・切金

銘記 台座下框裏黄土書(像名、大仏師刑部法橋快成、小仏師都維那快尊・因幡公快

弁、建長八年三月十二日始、四月一日首尾二十日造立、仏師三人、願主)

納入品 金剛峯樓閣一切瑜伽瑜祇經(紙本墨書 奥書に建長八年正月晦日、願文、願主)

三三 地藏菩薩像

檜、寄木造り、彩色・切金、玉眼 二五・九 光背・台座 各櫓、彩色・切金

銘記 台座上框裏墨書(転写、像名、康元元年三月十二日始、同四月二日造立、大仏師刑部法橋快成、小仏師快尊浄□都維那師□・快弁因□、造像經過、納入品名、厨子絵尊智法印嫡子快智大夫法眼墨書、採色朝命尊蓮房尊智弟子、願主)

納入品 亡失

三三 如意輪觀音菩薩像

檜、寄木造り、金泥塗り・漆箔、玉眼 九九・五

納入品 法華經(紙本朱書、二部(一部開結共) 十八卷、包紙一枚、無量義經(一部墨書、奥書に建長八年七月八日書写、願文、端裏書に執筆僧)、法華經卷一から卷八(二部、奥書に建長八年七月七日から十二日書写、願文、執筆僧、端裏書に執筆僧の記載)、觀普賢經(奥書に願趣、建長八年七月八日書写、願主、執筆僧)、般若心經(紙本朱書 奥書に願趣、建長八年七月九日書写、名号、執筆僧、端裏書に執筆僧)、経筒

三三 金剛力士像

二軀 岐阜 横蔵寺 建長八年(一二五六)

各櫓及び桂か、寄木造り、彩色、玉眼 阿形二七八・八、吽形二八三・九

銘記 阿形 像内墨書(建長八年七月十九日、坪坂住大仏師法眼和尚位定慶、小仏師越後法橋上人□□・讃岐法橋上人長慶・僧越中朝慶・僧讃岐□□、願主、結縁者、寺内衆徒等人数、堂宇等目録)

三四 阿弥陀如来及び両脇侍像

三軀 茨城 万福寺 建長八年(一二五六)

各櫓、一木造り、漆箔 阿弥陀如来五一・六、左脇侍三七・二、右脇侍三七・一
銘記 阿弥陀如来 像内墨書(建長八年九月十一日、大仏蓮上)

三五 聖觀音菩薩像 千葉 法泉寺 建長八年(一二五六)

桜、一木造り、漆箔 八〇・八

銘記 像底墨書(造立建長八年、像名) 千葉 天福寺 康元元年(一二五六)

三六 十一面觀音菩薩像 榎か、割矧ぎ造り、素地 二二二・五

銘記 像内墨書(丑、仏師賢光弁君、勸身心(勸進か)、建長八年十月二十一日、願趣)

三七 阿弥陀如来及び両脇侍像 滋賀 常善寺 康元元年(一二五六)

三軀

阿弥陀如来 針葉樹材、寄木造り、金泥塗り・切金、玉眼 八八・四 光背 針葉樹材、漆箔 台座 針葉樹材、漆箔・黒漆塗り

両脇侍 針葉樹材、寄木造り乃至割矧ぎ造り、金泥塗り・切金、玉眼 左脇侍一〇

七・九、右脇侍一〇八・六 台座 針葉樹材、漆箔・黒漆塗り

銘記 左脇侍 台座下框棧木墨書(建長五□□□)
阿弥陀如来 台座蓮弁裏面墨書(三箇所に康元元・康元元年、一箇所に名号、康元元年十二月三)

三八 地藏菩薩像 神奈川 正眼寺 康元元年(一二五六)

檜、寄木造り、彩色・切金、玉眼 一六三・一

納入品 願文(紙本墨書 願主、願趣、梵字光明真言)、修造記録(紙本墨書 大檀

那修造記録)、地藏菩薩印仏(紙本墨捺 紙背に仮名書状)、阿弥陀如来・觀音菩薩・地藏菩薩印仏及び康信願文(紙本墨捺・墨書 印仏下段の願文中に願趣、武

蔵法橋康信、康元元年十二月十日)、不動明王印仏(紙本墨捺 左半に墨書、願主、建長八年十二月十日)、地藏菩薩印仏(紙本墨捺 紙背に墨書)、地藏菩薩印仏(紙本墨捺 中央近くに墨書、建仁元年、願主)、地藏菩薩印仏(紙本墨捺 墨書あり)、阿弥陀如来印仏(紙本墨捺、三紙 第一紙紙背に墨書、願趣)、地藏菩薩印仏(紙本墨捺)、阿弥陀如来・觀音菩薩・地藏菩薩印仏(紙本墨捺)、阿弥陀如来・觀音菩薩・地藏菩薩印仏(紙本墨捺、二紙)、阿弥陀如来・觀音菩薩・地藏菩薩印仏(紙本墨捺 紙背に墨書)、阿弥陀如来・觀音菩薩・地藏菩薩印仏(紙本墨捺 別紙墨

書貼付、大檀那)

第八卷 建長六年(一二五四)及び補遺

三 千手觀音菩薩像 京都 妙法院 建長六年(一二五四)

中尊(千手觀音菩薩坐像) 檜、寄木造り、漆箔、玉眼 三四六・五

光背 檜、漆箔 台座 針葉樹材、漆箔、黒漆塗り 天蓋 檜、漆箔・彩色

銘記 像内仕切板朱書(像名、建長三、同六年)、台座心棒墨書(慶安四年修理時の
転写 寺名、像名、建長三年七月二十四日始、同六年正月二十三日奉送、大仏師法

印湛慶生年八十二、小仏師法眼康円・法眼康清)、頭上願怒面針書・朱書・墨書

千体千手觀音菩薩像 八百七十六軀 檜、寄木造り乃至割矧ぎ造り、漆箔、一部玉眼

一六三・七一・一六八・五

銘記 各像の内に仏師として、湛慶、康円、隆円、昌円、栄円、勢円、院繼、院審、
院遍、院承、院恵、定承、覚順、観明、院算、院瑠、院豪、院静、院信、院好、慶
運、円応、雲順、伊賀房、院快、院春、院賀、院有、院海、院祥、院玄、行快、春
慶、明俊、覚誉、院久、いつも法橋、朝順、性実、栄順、計信。造仏実検者として、
長快、公文景親、左衛門大江、從儀師、定仏。年紀として、建長三年七月二十四日
から文永三年七月五日。

納入品 昭和修理時、各像に千手觀音種子月輪(檜、彩色・墨書)、千手觀音菩薩及
び二十八部衆摺仏(紙本墨摺、各一紙 版は十七種)、漢字千手觀音陀羅尼(紙本
墨摺、各一紙)、九八七号像に阿弥陀如来印仏(紙本墨捺、各一紙)、三四号・六六
号像に阿弥陀如来摺仏(紙本墨摺、各一紙 延応元年)、三四号像に法華經方便品
断簡(紙本墨書)、平成十年度修理時、六一七号像に漢字千手觀音陀羅尼(紙本墨
摺、各一紙)、梵文千手觀音陀羅尼(紙本墨摺、各一紙)、千手觀音菩薩及び二十
八部衆摺仏(紙本墨摺、各一紙 版は三種)、阿弥陀如来摺仏(紙本墨摺、各一紙
延応元年)、毎日毎夜所作善根日記(紙本墨書)

補遺一 釈迦如来像台座

檜、素地 一四・六

三重 飯泉寺 建久九年(一一九八)

銘記 反花底面墨書(像名、建久九年正月二十日始、願主)、蓮華蓮肉上面墨書(像
名、建久九年正月二十九日供養、願主)

補遺一 大威德明王像 神奈川 光明院 建保四年(一二二六)

檜、割矧ぎ造り、彩色・切金、玉眼 二一・二

納入品 包紙(正面に像名を墨書、舍利容器(蓮実)、大威德種子・梵字三身真言・

梵字愛染真言・梵字千手陀羅尼(紙本墨書 奥書に建保四年十一月二十三日、願
主、像名、巧造肥中法印運慶)、丁子(六粒)、抹香

補遺三 阿弥陀如来像 長野 天用寺 承久二年(一二三〇)

檜、一木造り、漆箔・金粉蒔き、玉眼 九六・九

銘記 像内墨書(像名、檀主、巧匠阿念、承久二年五月六日、執筆僧)

納入品 仏頭(木造、素地)

補遺四 聖觀音菩薩像 千葉 某寺 貞応三年(一二三四)

檜、割矧ぎ造り、漆箔、玉眼 一〇五・八

納入品 觀音菩薩種子(紙本墨書 觀音菩薩種子三千三百三十三体、奥書に貞応三年

□月、願主、願趣)、錦袋

補遺五 阿弥陀如来像 長野 長念寺 貞応二年(一二三三) 〽元仁元年(一二三四)

檜か、割矧ぎ造り、漆箔、玉眼 五九・七

納入品 奉籠記・梵字名号(紙本墨書 卷頭に貞応二年二月十四日奉籠、阿弥陀三尊
種子、梵字名号、一字金輪種子、胎藏大日種子、四弘誓願)、金剛峯楼閣一切瑜伽
瑜祇經真言(紙本墨書、四紙継ぎ 各紙背に墨書書状)、阿弥陀經(紙本墨書、十
七紙 書状あるいは文書の字面上に阿弥陀經の經文を記す、紙背にも梵字名号、文
書等、第一紙の漢字書状末尾に貞応二年四月三日、第三紙紙背の書状案末尾に貞応
三年八月二十五日、第十六紙紙背の文書に貞応二年七月三日)、法華經如来寿量品
(紙本墨書、六紙 書状の字面上に經文を記す、第五紙及び第六紙紙背に梵字名号
等)、諸真言(紙本墨書 漢字文書の上に梵字の諸真言を記す)、南無阿弥陀仏名号
(紙本墨書 紙背に元仁元年十二月二十三日、願文)

補遺六 不動明王像 新潟 安禪寺 天福元年(一二三三)

桜材か、割矧ぎ造り、古色塗り、玉眼 九三・八

銘記 像内墨書（天福元年六月二十九日、大檀那、願趣）

補遺七 阿弥陀如来像

京都 宝寿院（一二三五）

檜、寄木造り、金泥塗り・漆箔、玉眼 七七・八

銘記 像内墨書（像名、願趣、文暦二年二月三十日始之、願主、泉州別当定慶）

補遺八 阿弥陀如来像

福島 極楽寺 建長四年（一二五二）

檜か、寄木造り、金泥塗り・漆箔、玉眼 六六・〇

銘記 像内墨書（仏師光蓮房、建長四年三月十六日、仏主）

補遺九 釈迦如来像

茨城 西蓮寺 建長五年（一二五三）

檜、割矧ぎ造り、漆箔・漆塗り、玉眼 八五・七

銘記 像内墨書（建長五年十二月十六日、願主、像名）

補遺一〇 阿弥陀如来像

東京 個人蔵 建長六年（一二五四）

檜か、寄木造り、金泥塗り・漆箔、玉眼 六六・七

銘記 像内墨書（体部前面・背面の全面にわたり法蔵菩薩四十八願、背面末尾に結縁交名、建長六年五月八日、仏師憲永）

補遺二 十一面観音菩薩像

三重 パラミタミュージアム 建長八年（一二五六）以前

檜、割矧ぎ造り、漆箔、玉眼 一一・六 光背 木製、漆箔

銘記 足柄墨書（巧匠定阿弥陀仏長快）

補遺三 泰澄大師像

岐阜 大師講 建長八年（一二五六）

檜、寄木造り、彩色、玉眼 九一・二

銘記 像内墨書（願主、像名、建長八年七月十三日、大仏師幸賢、少仏師覺尊）

第九卷 正嘉元年（一二五七）～文永元年（一二六四）

三三 不動明王像

千葉 長徳寺 正嘉元年（一二五七）

桂か、寄木造り、彩色 一四八・五

銘記 胸腹部墨書（願趣、像名、正嘉元年六月二十日、願主、仏師僧賢光）、腹部下方から両脚部墨書（結縁者）

三三 十二神将像

愛知 浄土寺 正嘉元年（一二五七）

十二軀

各檜、割矧ぎ造り、彩色・漆箔、玉眼 子神八〇・四、丑神八三・三、寅神八三・〇、卯神八三・二、辰神八四・五、巳神八五・一、午神八二・九、未神七九・三、申神八六・六、酉神八〇・七、戌神七四・三、亥神八一・六

銘記 卯神 像内背部墨書（少勸進、大勸進、正嘉元年七月六日、像名、仏師法橋上佐賢定、少仏師聖賢、衆僧、三州三河国額田郡、寺名）

三三 薬師如来像台座

奈良 法楽寺 正嘉元年（一二五七）

檜・桂、漆箔 四八・七

銘記 蓮華蓮肉底板裏面 墨書（僧名、願主、人名、仏師法橋慶尊〔花押〕、正嘉元年十二月十九日、小仏師廻賢〔花押〕、願趣）

三三 十一面観音菩薩像

京都国立博物館 正嘉元年（一二五七）

檜、一木造り、素地、玉眼 一三八・〇

銘記 像内体部背面墨書（正嘉元年十二月二十三日造立、仏師定円、結縁者、高山村、勸進僧）

三三 地藏菩薩像

京都 安楽寺 正嘉二年（一二五八）

檜、寄木造り、彩色・切金、玉眼 七六・六

銘記 像内背面墨書（「ふし」尊慶〔花押〕、正嘉二年五月二日）

三三 金剛力士像

兵庫 今滝寺 正嘉二年（一二五八）

二軀 各檜、一木造りか、彩色 阿形二四五・〇 吽形二四一・六

銘記 阿形 像内背部墨書（常光寺、像名、正嘉元年五月八日始、願主、願趣、仏師澄玄）

吽形 像内背部墨書（正嘉元年五月八日始、同二年三月二十四作了、仏師淡路公、願主）

三三 釈迦如来像

奈良 唐招提寺 正嘉二年（一二五八）

檜、寄木造り、素地・切金 一六八・〇

納入品 釈迦宝号交名・結縁願文等（紙本墨書〔一部血書〕、百三十六点 一の端裏に正嘉二年六月三十日、本文に僧観慶、僧迎接、僧善慶、善春、二・四・五に正嘉

二年四月二十六日、三の本文に正嘉二年四月九日、六に正嘉二年卯月二十七日、七の別紙3に正嘉二年四月二十七日、八の裏に正嘉二年卯月二十九日、九に正嘉二年卯月、一〇に僧弁夷、正嘉二年四月日、一一に正嘉二年四月日、善慶、一六に善慶、一七に僧善慶、四二・四三・四五に尊慶、四七に「かてい二年かのへうまとしそ／うつき廿九日」〈正嘉二年の誤記か〉、九一に善慶、九三に盛舜、一三二に観慶

三三 阿弥陀如来像 京都 報土寺 正嘉二年（二二五八）

檜、寄木造り乃至割矧ぎ造り、金泥塗り・漆箔、玉眼 七九・二二

銘記 左足柄陰刻（朱を入れる）（正嘉二年七月十二日）、右足柄外側陰刻（朱を入れる）（人名）

三二 地藏菩薩像 奈良 西興寺 正嘉二年（二二五八）以前

檜、寄木造り、素地・彩色・切金 一二八・八 台座 檜、漆箔

銘記 頭部前面材下端当て木裏面墨書（修補大仏師法橋上人位善慶、□補願主□大寺比丘□）

三三 阿弥陀如来像 東京国立博物館 正嘉三年（二二五九）

檜、割矧ぎ造り、金泥塗り・彩色・切金、玉眼 九六・九

銘記 像内後頭部墨書（施主、願趣、正嘉参年二月三十日始、同三月二十四日木造畢、工匠永仙）

三四 閻魔王像、太山王像、司命・司録像 奈良 白毫寺 正元元年（二二五九）

閻魔王像、太山王像、司命像 各檜、寄木造り、彩色、玉眼 閻魔王像二九・一、太山王像二九・四、司命像九五・八

司録像 檜、寄木造り、彩色 九五・八

銘記 太山王像 像内体部側面から背面にかけて 墨書（般若心経経文、大施主、大仏師法眼康円（「幸縁」を消して「康円」と記す）、相模法橋、正元元年四月日、名号、五大種子、僧名）

三二 天神像 奈良 興喜天満神社 正元元年（二二五九）

檜、寄木造り、彩色・黒漆塗り、玉眼 九四・九

銘記 像内体部背面墨書（神名、勧人、正元元年五月八日）

三三 神像 群馬 十二所神社 正元元年（二二五九）

五 軀

各針葉樹（檜か）、一木造り、彩色 四号二六・八、五号二七・八、六号二七・一、十一号二六・九、十六号三〇・八

銘記 四号体部背面陰刻（神名、本地仏名、願趣、女大主、正元元年十月六日）

五号体部背面陰刻（願趣、神名、本地仏名、大施主、正元元年九月十八日）

六号体部背面陰刻（本地仏名、正元元年十月、神名、願趣）

十一号体部背面陰刻（神名、願趣、願主、正元元年十月五日）

十六号体部背面陰刻（神名、本地仏名、正元元年）

三三 釈迦如来像 熊本 如来寺 正元二年（二二六〇）

桜か、寄木造り、漆箔 七六・九

納入品 舍利容器（檜、金銀箔押し 球形合子 内部の円形受皿の上に、粃、水晶珠、諸尊陀羅尼を置く。舍利容器を綿、緞子裂、錦裂、輪宝を墨書した絹裂で包み、さらにそれを紙で包む）、粃（十九粒 数粒ずつを裂などで包む）、水晶珠（一顆）、諸尊陀羅尼（紙本朱書、舍利容器収納部蓋板（木製、内側黒漆塗り、外側素地 蓋板表裏朱漆書 如来院、像名、正元二年正月十日建立、同二年九日収、開山、開山尼）

三四 釈迦如来像 岐阜 即心院 文応元年（二二六〇）

檜、寄木造り、金泥塗り・彩色・切金、玉眼 五二・二二

納入品 願文（紙本墨書、楮紙 文応元年五月十四日、大和国菩提山寺、施主、願趣、覚円仏子造）

三五 十一面観音菩薩像 熊本 報恩寺 正元二年（二二六〇）

檜、寄木造り、漆箔 一五二・五

銘記 像内体部正面朱書（正元二年五月三日、同十八日焼香、同二十三日入、如来院、比丘、比丘尼）

納入品 舍利外容器（檜、黒漆塗りの内部に朱書 比丘尼、比丘、十一面観音・胎藏大日如来・金剛界大日如来・阿弥陀如来種子 外側面墨書 「元二年」日造畢、十一面観音種子）、十一面観音菩薩像（絹本着色、一幅 画像を納入する木箱（檜）の内部割り面に、画像建立十一面観音、比丘名、建長六〇秋比造立の墨書、及び胎

蔵界大日如来・十一面観音・金剛界大日如来種子

三〇 阿弥陀如来像

奈良 弘願寺 文応元年（一二六〇）

檀、寄木造り、金泥塗り・切金、玉眼 八一・四

納入品 文応元年重深造立願文（紙本墨書、楮紙 像名、願趣、願主、正元二年三月六日造始、同年〈文応元年〉六月晦日住房奉迎、造立仏師弁貫）

三二 阿弥陀如来像

埼玉 個人蔵 文応元年（一二六〇）

銅造、鍍金 一五・五

銘記 体部背面陰刻（文応元年十月五日、御忌日）

三三 阿弥陀如来像、薬師如来像

滋賀 圓福寺 文応二年（一二六一）

各檀、割矧ぎ造り、素地 阿弥陀如来像八七・八、薬師如来像九一・四

銘記 阿弥陀如来像 像内胸腹部墨書（結縁者、文応二年二月八日等神之阿弥陀仏造立誓体、野尻常福寺）

薬師如来像 像内胸腹部墨書（結縁者）

三六 天神像

神奈川 荏柄天神社 弘長元年（一二六一）

檀、割矧ぎ造り、彩色、玉眼 八三・五

銘記 像内背部墨書（脊椎骨・肋骨・腰骨を朱描した上に記す 神名、願趣、弘長元年五月八日、願主）、像内前面朱書（脊椎骨・肋骨・陽物・陰毛を朱描した上に記す 金剛夜叉明王・馬頭観音菩薩・普賢菩薩・愛染明王・金剛界大日如来などの種子）、頭部後半材上部矧面中央朱書（十一面観音菩薩種子）、頭部内鼻孔中間墨書・朱書、左右大腿部内朱書（金剛夜叉明王種子）

納入品 宋銭二枚（大観通宝、宣和通宝 頭部前半材内側額辺の上下二箇所の丸い窪みに嵌め込まれる）、宋銭十枚（大観通宝一、宣和通宝九 像内から発見）、火炎乃至脇雲状のもの（木製素地 像内咽喉頭部打付）

三五 阿弥陀如来像

茨城 浄真寺 弘長元年（一二六一）

銅造、鍍金 四九・三

銘記 体部背面陰刻（大檀越、巧匠大江末清、弘長元年七月日）

三三 阿弥陀如来像

東京 上染屋八幡神社 弘長元年（一二六一）

銅造、鍍金 四六・七 台座 銅製

銘記 本体背面陰刻（上州八幡庄、壇主、弘長元年十二月日）

三五 千手観音菩薩像

栃木 西明寺 弘長元年（一二六一）

針葉樹（檀か）、割矧ぎ造り、素地 一七六・九

納入品 木札（二枚、桐 墨書 その一に大勧進、大檀那、像名、弘長元年十月十三日手斧始、同年十二月七日造立了 その二に大勧進、大檀那、弘長二年十二月二十五日）

三五 薬師如来及び両脇侍像

千葉 橘禪寺 弘長二年（一二六二）

三三 三軀

各檀、寄木造り、素地 薬師如来八一・〇 左脇侍一〇八・五 右脇侍一〇八・八

銘記 薬師如来 像内背部墨書（願趣、『法華経』『化城喻品』第七の偈、上総国佐是郡橘寺、像名、弘長二年六月、大仏師常陸公蓮上、小仏師信濃公新蓮、大檀、勧進僧、弘長元年二月七日為灰燼畢仍新造）

三六 十二神将像

山梨 東光寺 弘長二年（一二六一）

三六 六軀

各檀、割矧ぎ造り、漆箔・彩色・切金、玉眼 子神八七・一 丑神八七・四 寅神八四・四 卯神八三・九 巳神八〇・八 未神八一・〇

銘記 子神 像内前頭部右側墨書（弘長二年七月三日）

丑神 像内後頭部から首柄にかけて 墨書（□二年□八日）

三五 十二面観音菩薩像

千葉 観明寺 弘長三年（一二六三）

檀、寄木造り、金泥塗り・漆箔、玉眼 一五一・〇

銘記 像内背部墨書（弘長三年四月十八日、「カツサノクニ二宮山」、大仏師蓮上、人名）、像内腰背部（上記銘の下方）墨書

三五 阿弥陀如来像

愛知 常楽寺 弘長三年（一二六三）

檀、寄木造り、金泥塗り・漆箔、玉眼 七八・九

銘記 像内前頭部墨書（作法橋田覚、弘長三年七月日）

三五 金剛力士像

千葉 橘禪寺 弘長三年（一二六三）

二軀

各檀、寄木造り、彩色 阿形二三九・三、吽形二三六・五

銘記 阿形 像内後頭部墨書(橘山寺、奉造立□□一丈五寸像、□常陸坊、小仏

師尾張坊、大檀那、願趣、弘長三年八月十七日)

咩形 像内頸部墨書(結縁者、橘寺聖僧、文永□五月三日)

三六 大日如来像 山形 本山慈恩寺 弘長三年(二二六三)

檜、寄木造り、金泥塗り・漆箔、玉眼 七三・〇

納入品 大毘盧遮那成仏神變加持經第一(紙本墨書、一卷、斐紙 奥書に弘長三年十月二十日、常陸国笠間郡小山寺、大壇那、執筆僧)、筒(蓋桐材製身竹製 上記経巻を納める)

三六 阿弥陀如来像 茨城 中染町 弘長四年(二二六四)

鉄造 一六三・一

銘記 像背部上方陽鑄(法然寺、像名、大檀那、大大工権守入道西念、大勧進、大仏師日向房良覚、弘長四年四月二十六日)

三六 十一面観音菩薩像 千葉 長栄寺 文永元年(二二六四)

針葉樹製、割矧ぎ造り、彩色・素地、玉眼 一五八・八

銘記 背部中央墨書(始文永元年七月二十八日、同八月十一日功了、大勧進、大仏師僧賢光、願趣、造立長谷十一面観音像)、後頸部墨書(大勧進、像名、賢光〈花押〉、上総国佐是郡内田□、文永元□七月二十八日始、同九月十一日功了)、背部下方墨書(師賢光〈花押〉、上総国佐是郡内田郷大口村天氣寺)

三六 阿弥陀如来像 福島 恵日寺 文永元年(二二六四)

檜、割矧ぎ造り、金泥塗り・漆箔、玉眼 五二・三

銘記 像内背面衲衣裾部墨書(文永元年八月十五日、願主、像内正面裾裾部墨書(花押)

三六 阿弥陀如来像 三重 個人蔵 文永元年(二二六四)

銅造 三九・〇

銘記 体部背面陰刻(結縁者、鑄師江平助友、願趣、文永元年中冬)、足裏陰刻(人名か)

三六 千手観音菩薩像 東京 観音寺 文永元年(二二六四)

檜、寄木造り、金泥塗り・漆箔、玉眼 一四四・〇 光背 檜、彩色 台座 檜、

漆箔

銘記 像内面部(押さえ木の上下) 墨書(金剛界大日種子)、後頭部墨書(金剛界大日種子、胎藏界大日種子、千手観音種子)、体部正面から背部左端にかけて 墨書(千手観音真言、寺名、像名、大檀那、大仏師法眼快勢、法橋快賢、覚位、願趣、文永元年十二月二十一日始)、体部背面中央墨書(胎藏界大日報身真言)

納入品 布袋(表白綾、裏地白平織絹、面部内下方の割り面に位置、内部に舍利容器(香木製 内部に舍利一粒及び香木断片数十片を納入)、摺仏(紙本墨摺 菩薩立像と毘沙門天立像)、木片・小石・土砂(包紙あり)を納入)、納入品支持棒(木製 上記布袋の緒を結ぶ、角柱状の各面に墨書(正面胎藏界大日種子、背面金剛界大日種子、左右側面千手観音種子)、頭髮(一束 包紙あり)、人間の白歯(二個 包紙あり)、千手観音菩薩像摺仏(紙本墨摺 右上隅に「清水寺」)

第一〇巻 文永二年(二二六五)〜文永五年(二二六八)

三六 千手観音菩薩像 栃木 清水寺 文永二年(二二六五)

檜、割矧ぎ造り、素地 一四八・八

銘記 像内体部背面墨書(仏師観阿陀仏、文永二年二月九日奉造立、千手観音講衆、結縁衆、大旦那、大勧進、『観世音菩薩往生浄土本縁経』讃偈)

三六 閻魔王像、太山王像、冥官像 兵庫 石峯寺 文永二年(二二六五)

閻魔王像 針葉樹(檜)、割矧ぎ造り、彩色 九五・五(現状)

太山王像、冥官像 各針葉樹、寄木造り、彩色 太山王像五五・五(現状)、冥官像八〇・六(現状)

銘記 閻魔王像 像内背部貼紙墨書(寺名、炎魔王、願主、願趣、文永二年二月始、四月□□)

四月□□

太山王像 像内背部貼紙墨書(寺名、像名、勧進、文永二年)

三六 阿弥陀如来像 埼玉 個人蔵 文永二年(二二六五)

銅造、鍍金 四七・五

銘記 体部背面陰刻(下野国那須郡中金丸郷造之、文永二年四月十三日、大工僧教忍、

仏師光高、大勧進)

三三 阿弥陀如来像

東京国立博物館 文永二年(一二六五)

銅造、鍍金 四一・九 台座 銅製、鍍金

銘記 体部背面墨書(文永二年八月十五日、泉知寺)

三六 聖観音菩薩像

埼玉 円福寺 文永二年(一二六五)

頭部銅造、体部鉄造 九〇・一 台座 鉄鑄製

銘記 後頭部陰刻(文永二年九月十五日、像名、栗林(地名)、僧名)

三六 慈恵大師像

滋賀 延暦寺 文永二年(一二六五)

檜か、割矧ぎ造り、彩色、玉眼 八四・八

銘記 像内背部墨書(奉摺写葉師如来・阿弥陀如来・観音・毘沙門・慈恵大師、奉書
写法花経一部観音品諸陀羅尼、願主)、両脚部墨書(願趣、願主、文永二年十二月
十八日造立供養畢)

三七 四天王像

滋賀 長命寺 文永三年(一二六六)

四驅

各檜、寄木造り、彩色 持国天七六・九、增長天八〇・五、広目天八〇・九、多聞天

八〇・六 台座 各木製、彩色

銘記 広目天 台座邪鬼底面墨書(文永三年六□二十七)

三七 釈迦如来像

山梨 本遠寺 文永三年(一二六六)

檜、寄木造り、漆箔、玉眼 九八・〇 台座 檜、漆箔・彩色

銘記 像内前頭部墨書(法橋寛慶、法橋円覚カシソク、文永三年五月日)

三七 阿弥陀如来像

神奈川 寿徳寺 文永三年(一二六六)

檜か、割矧ぎ造り乃至寄木造り、漆箔・古色塗り、玉眼 七〇・五

銘記 像内頸部から胸部にかけて 墨書(南無無量寿如来、——年七月十一日、法

橋円覚作、執筆僧)

三三 阿弥陀如来及び左脇侍像

神奈川 千手院/千葉 清澄寺 文永三年(一二六六)

二軀

各銅造、鍍金 阿弥陀如来四九・一、左脇侍三三・五

銘記 阿弥陀如来 体部背面陰刻(奉鑄移善光寺本師一光三尊如来像、大願主勧進聖

人、文永三年九月十五日、安置出羽国最上郡府中庄外郷石仏)

左脇侍 体部背面陰刻(庄外郷、文永三年九月十五日、石仏)

三四 弁才天像

神奈川 鶴岡八幡宮 文永三年(一二六六)

針葉樹材、寄木造り、彩色、玉眼 九五・八

銘記 像底右脚部陰刻(文永三年九月二十九日始造立、安置舞樂院、願主)

三五 阿弥陀如来像

宮城 大光院 文永三年(一二六六)

四驅

各鉄造 その一 一七八・八、その二 二七九・六、その三 七八・六、その四 七七・五

銘記 その一 左胸部陽鑄(山□法師)、右胸部陽鑄(文永三年十月三日)

その四 左胸部陽鑄(行阿弥陀仏)

三六 愛染明王像

三重 世義寺 文永三年(一二六六)

檜、寄木造り、彩色・切金、玉眼 一〇三・七

銘記 像内頭部墨書(文永三年十一月日造、愛染明王種子、法印院□)

三七 仏眼仏母像

京都 仁和寺 文永四年(一二六七)

体部樟か、寄木造り、古色塗り 七九・八

銘記 像内体部背面墨書(仏眼仏母曼荼羅、仏眼、文永四年、於高□寺、願趣、願

主)

三六 阿弥陀如来及び右脇侍像

栃木 専称寺 文永四年(一二六七)

二軀

各銅造、鍍金 阿弥陀如来四七・六、右脇侍三四・二

銘記 阿弥陀如来 体部背面陰刻(文永四年五月日、下野国北条郡那須庄伊王野郷、願主、仏師藤原光高)

願主、仏師藤原光高)

右脇侍 体部背面陰刻(文永四年五月日、下野国北条郡那須庄伊王野、願主、仏師藤

原光高)

三六 慈恵大師像

滋賀 求法寺 文永四年(一二六七)

檜か、寄木造り、彩色・金泥塗り・切金、玉眼 七九・三

銘記 像底蓋板朱漆書(結縁者、願主、文永四年九月手斧始、十一月一日造進畢、仏

師院農(法橋位)、絵師快円(法橋、導師)

納入品 聖観音菩薩像(銅造、鍍金 総高約一八 像高約一〇、像内頸部の棚板に鉄芯により固定)

三六 阿弥陀如来像

福岡 宝典寺 文永四年(一二六七)

檜、寄木造り、古色塗り、玉眼 七七・二

銘記 頭部墨書(ゑふしさんかうはう、もくふしてうしの□□□□、もくふししやうす

□、すふしくわいしゆ□□)、ふんゑい四ねん十一月三日)、頸部正面墨書(なもあみたふつ(三行)、後頭部下半から頸後ろにかけて 墨書(南無阿弥陀仏)

三六 四天王眷属像

東京国立博物館/東京 静嘉堂文庫美術館/静岡 MOA美術館

文永四年(一二六七)

四軀

各檜、割矧ぎ造り、彩色、玉眼 持国天眷属三一・九、增長天眷属三一・一、広目天

眷属三一・五、多聞天眷属三一・三 台座 各檜、彩色

銘記 持国天眷属 台座底面墨書(東方天眷属、四天王四眷属、大仏師康円作)

増長天眷属 台座底面墨書(南方天眷属、四天王四眷属、康円作)

広目天眷属 台座底面墨書(西方天眷属、四天王四眷属、大仏師康円作、文永四年十

二月晦日、安置真言堂、願主)

多聞天眷属 台座底面墨書(北方天眷属、四天王四眷属、大仏師康円作、文永四年十

二月晦日、安置真言堂、願主)

三六 釈迦如来像

愛媛 宝蔵寺 文永五年(一二六八)

梅檀か、寄木造り、漆塗り 一六三・二 台座 木製、漆塗り

銘記 像内胸腹部墨書(奉造立遷嵯峨釈迦像一体、目連像一体、阿難像一体、願趣、

文永五年二月四日、願主、大仏師薩摩法橋興慶)

三六 聖徳太子像

奈良 元興寺 文永五年(一二六八)

檜、寄木造り、彩色、玉眼 一二〇・〇

銘記 像内頭部前面墨書(僧名)、像内頭部背面墨書(僧名、金剛界五仏種子、金剛

界・胎藏界大日如来種子、大日報身真言、*ワカヲカミ*、*ホノミヤ*、像内玉眼押え木

墨書(僧名)

納入品 五輪塔(檜か、素地、二基 地水火風空の五大種子を各輪の四面に墨書、そ

の二は舍利一粒を、その二は舍利十一粒を納入)、木仏所画所等列名(紙本墨書、一

枚 木仏所九人、善春、春王房、現教房、伊与房、土佐房、蓮宗房、定俊房、慶賢

房、太郎大夫、四郎大夫、画所十一人、文永五年三月十一日木造、同二十五日色

取)、道忍消息(紙本墨書、一枚 太子さいしき、三月二十四日、僧名)、眼清願文

(紙本墨書、一枚 表に如意輪観音根本真言及び大小陀羅尼、紙背に文永五年卯月

六日、僧名)、太子結縁人名帳(紙本墨書、一冊(袋綴二十二紙) 表紙に文永五年

二月ヨリ、於元興寺極楽坊勧之、各頁及び各貼紙に結縁交名、二十二頁に三月二十

九日の日付、二十七頁に文永五年三月二十五日の日付)、聖徳太子結縁交名(紙本

墨書、一卷七紙 結縁交名)、聖徳太子千坏供養札(紙本墨摺、六百五十一枚 各

表に卯月八日の日付、各裏に寄進者の墨書)、聖徳太子摺仏(紙本墨摺 聖徳太子

立像各一体を墨摺、十四枚のうち一枚に結縁交名、文永五年二月二十六日の墨書、

尼信阿弥陀仏等結縁交名(紙本墨書 結縁交名)、延寿等結縁交名(紙本墨書、一

枚 結縁交名)、結縁人名交名等(その一 一卷 過去こおんぼう等結縁交名(紙本

墨書)、カケノフ等結縁交名(紙本墨書)、道忍房等結縁交名(紙本墨書、三紙)、過

去者僧静慶等結縁交名(紙本墨書、一紙折紙)、道印等結縁交名(紙本墨書、弥増

女等結縁交名(紙本墨書)、ライカウ等結縁交名(紙本墨書、専阿弥陀仏等万坏供

養奉加結縁交名(紙本墨書)、やくし等結縁交名(紙本墨書、さふらう等結縁交名

(紙本墨書)、観林房等結縁交名(紙本墨書)、守王女等結縁交名(紙本墨書、一紙

折紙)、らいせんほうし等結縁交名(紙本墨書、一紙折紙)、阿日等結縁交名(紙本

墨書、一紙折紙)、証賢等結縁交名(紙本墨書)、過去いわうによ等結縁交名(紙

本墨書)、覚現等結縁交名(紙本墨書)、一トノ等結縁交名(紙本墨書、一紙折紙)、

しやうふつ等結縁交名(紙本墨書、一卷 文ねい五ねん四月五日)、しやうれんは

う等結縁交名(紙本墨書、一紙折紙)、せむあみた仏等結縁交名(紙本墨書、キク

マハウ等結縁交名(紙本墨書)、経遍等結縁交名(紙本墨書)、結縁人名交名(その

二 一卷 太子供養御仏供敬白文(紙本墨書 願趣)、落書(紙本墨書)、足石等結

縁交名(紙本墨書)、尼願阿ミタ仏等結縁交名(紙本墨書、一紙折紙 文永五年三

月二十五日勧進)、結縁交名断簡 その一(紙本墨書)、結縁交名断簡 その二(紙

本墨書、書簡断簡（紙本墨書）、その他（紙本墨書）

六四 二十八部衆像

東京 観音寺 文永五年（一二六八）

二十三軀

一号・四号・五号・一四号・一八号・二一号・二二号・二四号・二七号・二八号
各檜、割矧ぎ造り、素地 一号二〇二・〇、四号九四・〇、五号九〇・六、一四
号八七・二、一八号九五・〇、二一号九六・六、二二号一〇〇・八、二四号九〇・
八、二七号九〇・四、二八号八四・四

二号・六号・一〇号・一一号・一二号・一三号・一七号・一九号・二〇号・二五
号・二六号 各檜、割矧ぎ造り、素地・漆箔 二号九二・三、六号九七・三、一
〇号九六・七、一一号九二・八、一二号九五・九、一三号九六・四、一七号九九・
〇、一九号九八・二、二〇号九三・〇、二五号九一・一、二六号九〇・二

一六号・二三号 各檜、割矧ぎ造り、古色塗り 一六号九〇・五、二三号九三・五
銘記 一号 体部正面向下墨書（建治式年六月十七日、仏師常陸房定快生年三十戈）
五号 面部から頸部にかけて 墨書、体部背面墨書（万善沙（像名）、弘安十一年卯
月二十七日、定快作（花押））

一一号 面部墨書（文永五年七月二十一日、僧名、像名、寺名）、体部背面墨書（六
字名号）

一七号 面部墨書（文永五年十一月十五日、定快之作（花押））、胸腹部内墨書（文永
五年十二月三日、定快之作（花押）、願趣、こふさうこてん（像名）、体部背面墨
書（文永五年十二月三日、定快之作（花押）、像名）

一八号 後頭部墨書（弘安十一年二月二十六日、定快作）、面部墨書（生肆拾式定快
（花押））

一九号 後頭部墨書（毘沙門天小呪）、胸腹部墨書（大仏師定快（花押）、生年二十
三、金剛界・胎藏界大日種子、毘沙門天種子、多門天（像名）、文永五年十二月六
日、大施主）、体部背面墨書（千手観音小呪）

二二号 体部背面墨書（ひしゃく（像名）、文永六年五月二十六日、定快（花押））
二三号 腰背部墨書（僧形立像を墨描）

二五号 面部から頸部にかけて 墨書（弘安十一年四月十六日作之）、後頸部墨書

（定快作）、腹部及び腰背部墨書（各一体の合掌する僧形立像を墨描）

納入品 一号 舍利容器（榧 茎付きの未開敷蓮華形、表面に「金王丸ざり」の墨
書）、頭髮（三束）、木綿綿（約一〇g）、絹糸、顯文紗（牡丹唐草文）

三五 釈迦如来像、阿弥陀如来像

山口 二尊院 文永五年（一二六八）

釈迦如来像 檜か、寄木造りか、彩色・切金、玉眼 九七・七

阿弥陀如来像 檜か、寄木造りか、金泥塗り・漆箔、玉眼 九八・五

銘記 釈迦如来像 像内体部背面墨書（釈迦如来種子、宝生如来あるいは虚空蔵菩薩
種子、**すまたはふ**、**またはふ**（後者の場合は金剛夜叉明王種子））

阿弥陀如来像 像内右耳部墨書（文永五年八月□）、像内左耳部墨書（法橋院□）、像

内脚部正面墨書（文永三年九月）

三六 慈恵大師像

京都 曼殊院 文永五年（一二六八）

檜か、割矧ぎ造り、彩色、玉眼 八四・二

銘記 像内両脚部墨書（願趣、願主、文永五年十月三日）

三七 十大弟子像

神奈川 極楽寺 文永五年（一二六八）

十軀

その一・その二・その四・その五・その六・その八・その一〇 各檜、割矧ぎ造り
か、古色塗り、玉眼 其の一 八七・四、その二 八六・四、その四 八五・一、そ
の五 八五・四、その六 八五・一、その八 八六・五、その一〇 八六・八

その三 檜、割矧ぎ造り、古色塗り、玉眼 八六・八

その七 檜、寄木造りか、古色塗り、玉眼 八三・五

その九 檜、寄木造り、古色塗り、玉眼 八五・四

銘記 その三 像内頭部背面墨書（文永五年）、像内胸部墨書（建長興国禪（寺名）
その六 像内頭部正面墨書（文永五）

第二一卷 文永六年（一二六九）～文永十年（一二七三）

三八 十一面観音菩薩像

大阪 摩尼院 文永六年（一二六九）

檜、割矧ぎ造り、漆箔、玉眼 五七・六

銘記 像内頭部正面墨書(円榮、文永六年四月三日)

三六 不動明王像

奈良国立博物館 文永六年(一二六九)

銅造 四三・〇 台座 銅製

銘記 下半身背面陰刻(文永六年四月十六日、願主)

三〇 阿弥陀如来像

アメリカ クリーブランド美術館 文永六年(一二六九)

檜、寄木造り、金泥塗り・切金、玉眼 八八・六 台座 檜、現状素地

納入品 仏説阿弥陀経及び名号(紙本墨書、一紙 奥書に文永六年五月十五日奉書写)、結縁交名(紙本墨書、一紙 像名、結縁交名のうちに仏師法橋幸舜、勝順房長舜、春聖房幸心、文永六年五月十五日、願主)、消息(紙本墨書、一紙 僧名、大仏真幸舜、小仏真幸真、貞舜、「四月十五日ノ天王シノヤクシムノテラニテハシノメ」、「五月ノ十八日ニシタノテ、キツクリヲアムチ」、「ヤヲキノノサト」、「三人ノフムシノコレヲツクル」、「文永六年五月十八日コレヲシノルス」)

三二 阿弥陀如来及び両脇侍像

滋賀 来迎寺 文永六年(一二六九)

三三 三驅

各檜、寄木造り、漆箔、玉眼 阿弥陀如来七七・七、左脇侍四七・〇、右脇侍四七・二

二

銘記 阿弥陀如来 像内背部墨書(月輪内に阿弥陀如来種子(蓮台墨描)、南無阿弥陀仏、觀世音菩薩、大勢至菩薩、文永六年六月十五日造之了、院快法眼、願趣、願主)、像内後頭部墨書(文永六年六月十五日、法眼院快作、法眼院静、法橋院禪)、左足柄外側朱書(法眼院快)

三三 文殊菩薩像

奈良 中宮寺 文永六年(一二六九)

紙造、彩色・切金、玉眼 五二・五

納入品 金剛界略次第(紙本墨書、一卷、楮紙)、法華經冊子(紙本墨書、二冊、粘帖装 一冊は如来寿量品(末尾に仮名書きの願文、片仮名書きの真言の墨書など)、一冊は藥王菩薩本事品)、不空羂索法次第(紙本墨書、一冊、枳形の粘帖装)、施餓鬼法(紙本墨書、一卷、楮紙)、大般若經斷簡(紙本墨摺、一卷、版本、黄檗染めの楮紙 素紙の第四紙に「中宮寺本經也」の墨書)、具中曆斷簡(紙本墨書・朱書 一卷、楮紙)、消息二通(紙本墨書 像の頭部に納められていた消息のうち保存状

態の良い二通を一巻に仕立てたもの その一文末に卯月二十五日の日付、宛名に「中宮□□」、僧名、その二 寺名)、消息斷片(紙本墨書 頭部内の消息類三十三葉を一巻に仕立てたもの)、經卷等斷片(紙本墨書 頭部内に納められていた經文その他三葉を一巻に仕立てたもの)、舍利包紙(紙本墨書、二枚、厚手の楮紙像の胸部両側にあつた舍利を包んだ紙二枚のうち、その一の表に「もんすほさつ」、同裏に「ふんえいノ六ねんノ七月十二日」及び願主、その二の表に「御しやりノ一まんりうとしころたノもちまいらせたりつるをノ文すほさつの御身にをノさめてまつりをはりぬ」、同裏に「ふんえいノ六ねん七月ノ十二日」、包紙内の舍利は現在付属しない)、その他、像の構造材の一部とみられる紙製斷片六点が保管される

三三 阿弥陀如来及び両脇侍像

愛媛 了月院 文永六年(一二六九)

三三 三驅

各檜、寄木造り、金泥塗り・漆箔、玉眼 阿弥陀如来七九・一、左脇侍五四・一、右脇侍五五・一

銘記 左脇侍 左足柄外側墨書(文永六年八月一日、願主)、右足柄外側墨書(大仏師興阿弥陀仏)

右脇侍 左足柄外側墨書(文永六年八月一日、願主)、右足柄外側墨書(大仏師興阿弥陀仏)

四天王像

三三 四天王像

奈良 新藥師寺 文永六年(一二六九)

四驅

各檜、寄木造り、彩色・切金・漆箔 持国天一七二・一、增長天一七二・九、広目天一七〇・九、多聞天一七二・二

納入品 持国天 經卷(妙法蓮華經卷一(紙本墨摺、一卷、楮紙)、金光明最勝王經卷一(紙本墨摺、一卷、楮紙)、金光明最勝王經卷六(紙本墨摺、一卷、楮紙 表紙裏に施入者を墨書)、金光明最勝王經卷七(紙本墨摺、一卷、楮紙)、未開卷(一巻)、未開卷(極小梵字經卷)、供養札・摺仏等 四十二束及びそれに属さない札数枚(新藥師寺万坏供養札(紙本墨摺、千百七十九枚、楮紙 短冊形の枠内に藥師如来坐像、野の右側に寺名、同左側に十一月八日の日付を墨摺、裏面に墨書のあるもののうち、東一及び東二十三に文永六年十一月八日の年紀)、毘沙門天摺仏(紙

本墨摺、二百枚、楮紙 各一紙に毘沙門天立像一体を墨摺、裏に寄進者を記した墨

書があるものあり、岩淵寺万坏供養札（紙本墨摺、七枚、楮紙 短冊形の野内に

毘沙門天立像、野の右側に「岩淵寺」、同左側に十一月三日の日付を墨摺、毘沙

門天勸進札（紙本墨摺、三枚、楮紙 短冊形の二重の野内に毘沙門天立像、毘沙

門天摺仏断片（紙本墨摺、一枚、楮紙）、梵福寺万坏供養札（紙本墨摺、二枚、楮

紙 上半に地藏菩薩坐像、下半に為禿福寺地藏堂修造、十月二十四日の日付を墨

摺、招提寺寺金堂供養札（紙本墨摺、一枚、楮紙）、賀茂坂万坏供養札（紙本墨

摺、一枚 上半分に如来坐像、下半に十一月十五日の日付を墨摺、五輪塔摺仏断

片（紙本墨摺、一枚、楮紙 種子入りの五輪塔を上下左右に並列、未開一束（紙

本墨摺、二百三十枚、楮紙）、紙片（各紙本墨書、六枚、楮紙 (5)に文永六年の

年紀）、この他に経巻の表紙三点（うち一点の裏面に奉籠願文と思われる五行にわ

たる墨痕、その第五行に「文永^{六カ}年」、表紙残欠二、表紙竹（完品二、折損品二、

紙紐五、植物性繊維紐一

増長天 経巻（三十一巻、未開）

広目天 妙法蓮華経（各紙本墨摺、八巻、楮紙 巻一（その一、その二の二巻）、巻

二、巻三、巻四（その一、その二の二巻）、巻六、巻八（未開）、金光明最勝王経

（各各紙本墨摺、十三巻、楮紙 巻一、巻二、巻三（その一、その二の二巻、その

一の表紙裏に施入者を墨書）、巻四（その一、その二の二巻、その二の表紙裏に施

入者を墨書）、巻五（その一、その二の二巻、その一の表紙裏に施入者を墨書）、巻

六、巻七、巻八、巻九、巻十）、観音賢経（紙本墨摺、一巻、楮紙、表紙に願主名

を墨書）、無量義経（紙本墨摺、一巻、楮紙）、無量義経（紙本墨摺、一巻、楮紙

表紙裏に願主名を墨書）、摩訶般若波羅蜜陀心経・仏説阿弥陀経（紙本墨摺、一巻、

楮紙）、摩訶般若波羅蜜陀心経（紙本墨摺、一巻、楮紙）、他に経巻表紙五点、表紙

竹（完品三、折損品三）、紙紐二、用途不明木片三、用途不明紙片三

多聞天 経巻八巻、供養札類二百から三百枚を納入していたが、未開。

三二 聖観音菩薩像

アメリカ ポストン美術館 文永六年（一二六九）

銅造、鍍金 五〇・三 光背 銅製、鍍金 台座 銅製、鍍金

銘記 台座框下段上面陰刻（奉鑄聖観音像一体并不動毘沙門、近江国依智郡之内松尾

寺本堂安置、願主、願趣、文永六年十二月七日、仏師西智）

三六 阿弥陀如来像

島根 清泰寺 文永七年（一二七〇）

檜、寄木造り、金泥塗り・切金、玉眼 九〇・二

銘記 像内体部背面墨書（月輪内に阿弥陀如来種子（蓮台墨描）、施主、願趣、文永

七年二月九日記、法眼院豪弟子院快、院静、院禅等造）

三七 阿弥陀如来像

文化庁 文永七年（一二七〇）

檜、寄木造り、金泥塗り・漆箔、玉眼 七九・六 台座 檜、漆箔・彩色・切金

納入品 観無量寿経（紙本墨書、一巻、楮紙 奥書に文永七年五月二十八日書写畢、

願趣、執筆僧）、未敷蓮華（各木製、黒漆塗り、四個 その四の内部に火葬骨（錦、

薄絹で包む）、如来立像（檜、素地、包紙添）、舍利（三顆、包紙添）、舍利（二顆、

包紙添）

三九 聖僧像

奈良 円成寺 文永七年（一二七〇）

檜、寄木造り、彩色、玉眼 八〇・一

銘記 像内体部背面墨書（忍辱山食堂安置像、文永七年六月十四日始新造、勸進、巧

匠克慶、僧名）

納入品 僧形像（檜か、一木造り、彩色）

三九 阿弥陀如来像

神奈川 個人蔵 文永七年（一二七〇）

檜、寄木造り、金泥塗り・漆箔、玉眼 七九・一

納入品 造像願文（紙本墨書、楮紙 像内に納入していたと伝える 表に願趣、文永

七年七月三日、願主、裏に願主）

三〇 十一面観音菩薩像

群馬 三光院 文永七年（一二七〇）

檜、寄木造り、漆箔、玉眼 一八五・六 光背 木製

銘記 像内頸部正面墨書（奉始十一面観音新立日、文永七年九月十六日、大仏師法橋

快寛、大勸進、願趣）

三一 阿弥陀如来像

滋賀 宗安寺 文永七年（一二七〇）

檜、割刳ぎ造り、漆箔、玉眼 八〇・三

納入品 阿弥陀経ほか（紙本墨書、一巻、楮紙 上三分の二に阿弥陀経、その下方の

余白に釈迦如来真言、仏眼仏母真言等、続けて略法華経、漢字仏頂尊勝陀羅尼、漢

字千手千眼陀羅尼、梵字光明真言、梵字阿弥陀陀羅尼、胎藏界五仏種子、金剛界五

三〇五 阿弥陀如来及び両脇侍像 兵庫 蓮花寺 文永八年（一二七二）

三〇三 阿弥陀如来像 香川 清立寺 文永七年（一二七〇）

檜、寄木造り、素地・黒漆塗り・古色塗り、玉眼 一〇〇・九

銘記 像内胸部墨書（願趣、文永七年九月七日、願主）

三〇二 聖徳太子像 東京 上宮会 文永七年（一二七〇）

檜か、寄木造り、彩色、玉眼（昭和十二年の修理前まで） 九四・一

銘記 像内頸部背面墨書（大日如来応身真言、五大種子）、像内胸部及び上背部墨書

（金剛界四仏種子）、腹部以下及び背部下方以下に墨書（腹部以下に願趣、奉造立上宮

太子十六歳御影、造立形像図写真影、背部下方以下に文永七年潤九月十二日、大仏

師堯慶、番匠、不退寺本尊、大勸進、執筆、如意輪観音根本真言、心真言、心中心

真言、金剛界及び胎藏界大日如来種子、胎藏界中台八葉院大日如来・四仏・四菩薩

の種子、光明真言）

納入品 願文（紙本墨書か 像内に納められていたとされ写真が残される（現在所在

不明）

三〇四 毘沙門天像 静岡 応賀寺 文永七年（一二七〇）

針葉樹（檜か）、寄木造り、彩色・金泥塗り、玉眼 四一・〇

納入品 妙相夢相記及び観音経毘沙門経陀羅尼等（紙本墨書・墨捺、一卷、楮紙 毘

沙門天功德経、毘沙門天像印仏、毘沙門天種子及び毘沙門天真言（五遍）、毘沙門

天像印仏、毘沙門天種子（五字）、毘沙門天印仏、毘沙門天種子（百字）、毘沙門天

種子及び毘沙門天真言、毘沙門天種子（百三十三字）、梵字（一行、毘沙門天種子

三字、金剛薩埵種子か、不動明王種子）、漢字偈等、大精進如意宝珠真言、漢字真

言等、法華経観世音菩薩普門品第二十五、諸尊種子（阿弥陀三尊種子、金剛界五仏

種子、不動明王種子、聖観音種子、虚空蔵菩薩種子（ここでは如意輪観音種子の意

か）、千手観音種子、馬頭観音種子、十一面観音種子、准胝観音種子、不空絹索観

音種子、毘沙門天種子、不動明王種子）、毘沙門天像印仏（八体）、金剛界五仏種子、

観音菩薩種子（二十九行）、妙相夢相記（遠江国淵郡黍庄等子郷橋本之宿長者、願

主、願趣、像名、文永七年潤九月二十五日）

三〇六

各檜、一木造り、金泥塗り・彩色・金箔押し・切金、玉眼 阿弥陀如来四三・〇、左

脇侍三二・〇、右脇侍二六・九

銘記 阿弥陀如来 像内胸腹部墨書（文永八年二月日）

三〇七 毘沙門天像 東京国立博物館 文永八年（一二七二）

檜、寄木造り、彩色、玉眼 一〇一・五

銘記 像内胸腹部墨書（文永八年四月^{廿四カ}日、僧名）、像内右大腿部墨書、像内左大

腿部墨書（俗名）、像内体部背面墨書（仏師^{〇〇}慶算作、像名、俗名など）

三〇八 阿弥陀如来像 福島 安穩寺 文永八年（一二七二）

銅造 四八・九

銘記 体部背面陰刻（文永八年八月十一日、願主）

三〇九 阿弥陀如来及び両脇侍像 神奈川 円覚寺 文永八年（一二七二）

三〇八

各銅造、鍍金 阿弥陀如来五六・四、左脇侍三九・五、右脇侍四〇・四 大光背

銅製、鍍金 阿弥陀如来 台座 蓮肉を反花に挿す柄の側面部陰刻（文永八年十月十九

銘記 阿弥陀如来 台座 蓮肉を反花に挿す柄の側面部陰刻（文永八年十月十九

日四十八日鑄奉、鑄物師賀茂延時）

三〇九 日光菩薩・月光菩薩像 兵庫 斑鳩寺 文永八年（一二七二）

二〇八

各檜、寄木造り、漆箔、玉眼 日光菩薩 一二二・九、月光菩薩 一二二・〇

銘記 月光菩薩 左足柄外側墨書（僧名、文永八年）

三〇 薬師如来像 千葉 東光院 文永九年（一二七二）

檜、寄木造り、素地 一六四・四

銘記 像内背面左腰部墨書（鎌倉自赤御堂、像名、奉修理為安置、勸進、檀那、文永

九年四月十六日）

三二 十二神将像 滋賀 善水寺 文永九年（一二七二）

十二軀

子神・丑神・卯神・辰神・巳神・午神・未神・申神・戌神・亥神 各櫓か、寄木造り、彩色・漆箔、玉眼 子神九六・六、丑神一〇九・一、卯神一〇一・四、辰神九一・一、巳神一〇四・〇、午神一〇六・五、未神一〇六・四、申神一〇四・九、戌神九五・五、亥神一〇八・一

寅神 櫓か、一木造り、彩色・漆箔、玉眼 九七・八

酉神 櫓か、寄木造り、彩色、玉眼 九四・四

銘記 寅神 像内面部墨書（□永九年七月十四日、とらの時）

三三 不動明王及び八大童子像

九軀 不動明王 櫓、寄木造り、彩色・切金、玉眼 一〇九・六 光背 櫓、漆箔・彩色

台座 木製、古色塗り・彩色

恵光童子・恵喜童子・清浄比丘・指徳童子・矜羯羅童子・制吒迦童子 各櫓、寄木造り、彩色・切金、玉眼 恵光童子五五・四、恵喜童子二八・八、清浄比丘五六・四、指徳童子五八・七、矜羯羅童子五四・二、制吒迦童子三〇・六 台座 恵光

童子・清浄比丘・指徳童子・矜羯羅童子 木製、古色塗り・彩色、恵喜童子・制吒迦童子 木製、古色塗り

烏俱婆伽童子・阿耨達童子 各櫓、寄木造り、金泥・彩色・切金、玉眼 烏俱婆伽童子五五・一、阿耨達童子 三四・二 台座 烏俱婆伽童子 木製、古色塗り・彩色、阿耨達童子 木製

銘記 清浄比丘 像内体部背面（上背部裏）墨書（不動明王種子）
納入品 清浄比丘 造立願文（紙本墨書、一紙、楮紙 奉造立大聖不動明王形像一併并八大童子各一軀、願趣、像功既畢、謹安置当寺伽藍、文永九年十一月二十一日、勸進沙門、大仏師法眼和尚位康門、絵仏師法橋上人位重命）

三三 釈迦如来像 奈良国立博物館 文永十年（一二七三）
櫓、一木造り、漆塗り、玉眼 七七・九 台座 櫓、漆塗り

銘記 台座上框上面墨書（南無釈迦牟尼如来五体造立、「此御本者南都元興寺之古橋寺金堂□」、「文永十西ノ二月ヨリ四月八日ニ五仏造作畢」、同十五日開眼供養了、開眼師、仏工作者玄海、僧名、於小塔院東室）

納入品 X線透過撮影により、頭部の内割り部に存在することが知られる 容器には、舍利と思われる鉱物質の粒状のものを数個入れた水晶製らしい球状の容器を、上下から金属製の蓋及び底板状のもので挟み、蓋の上には円環が付く

三四 釈迦如来像 千葉 永興寺 文永十年（一二七三）

三 櫓、寄木造り、素地・切金、玉眼 一六四・六

納入品 般若心経（紙本墨書、美濃紙 奥書に願趣、文永十年六月十八日、於上総国三ヶ谷□、寺名）、略法華経（紙本墨書、五通 一）楮紙、二紙（二紙一枚が今分離、各表裏に記す）、第一紙の表から第二紙の表、同裏、第一紙裏にかけて略法華経、跋、第一紙裏に胎蔵界大日真言、薬師小呪、観音真言、光明真言、浄三業真言、第一紙裏末尾に文永十年六月十八日略法華経一部書了、願趣、釈迦浄三業真言、第一紙裏末尾に文永十年六月十八日略法華経一部書了、願趣、釈迦仏御身之中奉入、願主、二）美濃紙、三紙（当初三紙一枚が、今第一紙と第二・三紙に分離、その間一紙を欠くか）、略法華経、跋、第三紙に胎蔵界大日真言、薬師小呪、観音真言、光明真言、浄三業真言、首題に願主、奥書に願趣、文□十年六月十八日、願主、三）美濃紙、二紙（第一紙と第二紙の間一紙欠くか）、略法華経、跋、第二紙に胎蔵界大日真言、薬師小呪、観音真言、不動真言、光明真言、浄三業真言、奥書に□永十年六月十八日、四）美濃紙、四紙 略法華経、奥書に文永□年癸酉七月十三日、願主、五）楮紙、二紙（今二紙は分離、当初は三乃至四紙継ぎか）、略法華経、跋、自我偈（紙本墨書 二通 一）美濃紙、三紙 奥書に願趣、文永十年六月十八日、願主、二）美濃紙、二紙 奥書に癸酉六月十八日、願主、偈頌及び結縁願文 四通、紙本 一）楮紙 法華経方便品、華嚴経の偈、文永十年六月十八日書了、願趣、願主、二）美濃紙 願趣、□月十八日、願主、三）美濃紙 法華経譬喻品の偈、文永十年□月□日、願主、四）美濃紙 法華経方便品の偈、願趣、文永十年六月□、釈迦牟尼仏名号（紙本墨書、四通 一）美濃紙、三紙 ふんゑい十ねん六月十八日、二）美濃紙 願趣、文永十年七月十四日、願主、三）美濃紙 願趣、ふえい十ねん七月十四日、願主、四）美濃紙、二紙 端裏書に願主、結縁交名等・仮名書願文残欠（紙本墨書、四通 一）結縁交名等 美濃紙、二紙、二）三）結縁交名等 各美濃紙、四）仮名書願文 美濃紙

三五 二十八部衆像 静岡 霊山寺 文永十年（一二七三）

二軀

伝神母天 櫃・杉、一木造り、古色塗り 八八・四 台座 櫃・杉、彩色・黒漆塗り

伝散脂大將 楠、体幹部一材製（頭部後補）、古色塗り 八二・五 台座 楠、彩色・黒漆塗り

銘記 伝神母天 像内体部背面墨書（文永十年八月七日、大仏子島津御庄東霧島住人、僧名）、台座底面墨書（文永十年九月日、仏師常^{（降力）}法橋^{（良力）}）
伝散脂大將 台座底面墨書（造立千手二十八仏、文永十年十一月十五日、仏師常^{（降力）}法橋^{（良力）}）

三六 金剛力士像面部

檜、彩色 高八六・〇

銘記 内部（裏面）上部中央墨書（願趣、願主、文永十年八月十三日記之）、内部（裏面）上部左寄り墨書、内部（裏面）下部右寄り墨書（願趣、文^{（永力）}十年八月十七日、大^{（永力）}寺、願主）、内部（裏面）下部中央墨書（仏師法橋寛円〈花押〉）、内部（裏面）下部左寄り墨書

三七 文殊菩薩及び侍者像

五軀 東京国立博物館／大東急記念文庫 文永十年（一二七三）

文殊菩薩 針葉樹（櫃か）、寄木造り、金泥塗り・彩色・切金、玉眼 四八・九
光背 檜、彩色・金泥塗り 台座 檜、彩色・切金

侍者 四軀 各檜、割矧ぎ造り、彩色、玉眼 善財童子四六・二、于闐王七〇・五、大聖老人七〇・〇、仏陀波利三蔵六六・六 台座 檜、彩色

銘記 文殊菩薩 台座獅子頸部矧ぎ面墨書（法眼康円作、大施主大法師経玄）

納入品 文殊菩薩 願文（紙本墨書 大法師経玄、夢想之告図絵一体童子三人神人、工匠大仏師法眼康円〈花押〉、造像経緯、造始文殊之形像、招提寺仏舍利寄進者、文永十年十一月二十五日招提寺仏舍利感得、文永十年十一月晦日記了、裏書に解脱聖人所持の仏舍利寄進者、十二月二十五日奉籠）、金剛般若波羅蜜経（紙本墨書、見返し絵着色、一卷 見返し絵は童子及び三人の神人と一僧形を描く、奥書に文永十年八月六日始、同七日終功畢、大法師経玄、軸中に唐招提寺の仏舍利一粒安置、願

趣、奉籠文殊像、解脱聖人所持の仏舍利を十二月二十五日に奉籠）、夢想記（紙本墨書 文永十年十二月八日、執筆者）、書付（紙本墨書 現在所在不明 半折上段にこうあん八年うつき十六日、僧名）、般若心経（紙本墨書 奥書に願趣、弘安八年卯月十九日、於大安寺北僧坊書寫了、執筆僧）、般若心経及び梵字真言（紙本墨書 般若心経、文殊五尊種子、金剛界五仏種子、執筆僧）、般若心経及び梵字真言（紙本墨書 奥書に弘安八年四月十九日、於大安寺北室書寫了、執筆僧、文殊五尊種子、金剛界五仏種子）、般若心経（紙本墨書 奥書に弘安八年四月十九日、執筆僧）、梵字真言（紙本墨書 梵字文殊真言、金剛界五仏種子、弘安八年四月十九日、執筆僧）、仏頂尊勝陀羅尼等（紙本墨書 阿羅波捨曩、仏頂尊勝陀羅尼、阿弥陀大呪、般若心経、末尾に大日如来以下諸仏諸菩薩の名号、奥書に願趣、願主〈執筆僧〉、弘安八年卯月二十一日、「於大安寺北僧」）、結縁記（紙本墨書 「願依採色功爲結縁」、弘安八年五月二日）、仮名名号（紙本墨書 仏菩薩名号、末に「コウアン八年五月七日」、僧名）、名号（紙本墨書 釈迦牟尼仏等の名号、奥書に願主、五月二十九日の日付）、般若心経及び梵字真言（紙本墨書 現在所在不明 奥書に弘安八年七月二十二日） 以上の納入品は、台座獅子内に納入されていたもので、現在所在不明と記したものを除き大東急記念文庫蔵

第二二卷 文永十一年（一二七四）（建治三年（一二七七））

三八 十二神将像 高知 雪蹊寺／高知 竹林寺 文永十一年（一二七四）

十一軀

雪蹊寺像一 号・二 号・三 号・四 号・五 号・六 号・七 号・八 号・九 号 各檜、寄木造りか、彩色、玉眼 雪蹊寺像一 号八六・九、二 号八四・七、三 号八六・三、四 号八八・八、五 号九〇・〇、六 号八四・一、七 号八三・六、八 号八六・七、九 号八七・九

雪蹊寺像一〇 号 檜、寄木造り、彩色、玉眼 八三・〇

竹林寺像 檜、寄木造り、彩色 八八・八

銘記 雪蹊寺像一 号 像内体部正面（胸部）墨書（土佐国吾河郡高福寺ニテ造之、奉

造立十二神将 波夷□、願趣、文永十一年卯月二十日、願主、仏師筑後公海寛

雪隠寺像二号 像内体部背面墨書（高福寺、願主、願趣、文永十一年六□、仏師□）

雪隠寺像三号 像内体部正面（腹部）墨書（大願主、高福寺造立、十二神将内因達羅大将、願趣、文永十一年六月二十四日、願主）

雪隠寺像四号 像内（部位不明）墨書（大施主僧、願趣、建治二年四月八日）

雪隠寺像五号 像内体部正面（腹部）墨書（土佐国高福寺造立、奉造立十二神将内毘羯羅大将、願趣、文永十二年五月三日、大願主）

雪隠寺像六号 像内体部正面（腹部）墨書（仏師筑後公海寛、土左国吾河郡於高福寺造之、願主、奉造立十二神将内珊底羅大将、願趣、文永十一年正月二十二日）

雪隠寺像七号 像内体部正面（腹部）墨書（漆師、高福寺、奉造立十二神将、願趣、大願主、建治貳年八月三日、願主）

雪隠寺像九号 像内体部正面（腹部）墨書（大願主、大仏師、高福寺、奉造立十二神将、願趣、願主、建治貳年八月日）

竹林寺像 像内体部正面墨書（高□□、奉造立頼備羅大将、願主、願趣、^{（福寺カ）}年正月十六日）^{（文永十二カ）}

三九 阿弥陀如来及び両脇侍像

広島 安国寺 文永十一年（一二七四）

三編

各檜、寄木造り、漆箔、玉眼 阿弥陀如来一七一・一、左脇侍一三一・一、右脇侍一三一・六 台座 阿弥陀如来 木製、漆箔、左脇侍・右脇侍 各檜、漆箔 大光

背 檜、漆箔
銘記 阿弥陀如来 像内体部正面墨書（金剛界五仏種子、不動明王種子、愛染明王種子、無量寿如来種子、觀音菩薩種子、勢至菩薩種子、地藏菩薩種子、虚空藏菩薩種子、阿弥陀三尊種子、釈迦三尊種子、阿字）、像内体部背面墨書（胎藏界五仏種子、不動明王種子、愛染明王種子、阿弥陀三尊種子、大勧進、小勧進、大檀那、文永十一年貳月九日始、大仏師覚尊、無量寿如来種子、觀音菩薩種子、勢至菩薩種子、金

宝寺之尊像）
納入品 阿弥陀如来 阿弥陀經（六卷〈六部〉）その一 紙本墨書（一部血書）、楮紙 第一紙見返しに文永十一年三月六日、願主、願趣、善光寺如来心中奉納、その

二 紙本血書（一部墨書）、楮紙 奥書に文永十一年正月二十九日供養、願趣、その三・その四・その五・その六 紙本墨書、包紙 楮紙、表裏に墨書 僧名、善光寺如来造立勧進帳（一通、表紙白紙、本紙楮紙 寄進者名、念仏帳（紙本墨書、一冊、粘葉装、楮紙「南無阿弥陀仏」の番号、蓮華、蓮弁の墨描等、包紙の始末に墨書）、念仏記（三通 其の一 紙本血書、楮紙「南無阿弥陀仏」「南无アミタ

仏」の番号、その二 紙本墨書、楮紙 表に「南無阿ミタ仏」の番号、その三 紙本墨書、楮紙、美濃版（この二紙に毛髪を封じ込める）「なもあミたふつ」の番号、文永十一年三月八日、願主）、願文（紙本墨書、楮紙）、毘沙門天摺仏（紙本墨摺、一枚、袈裟（麻製、墨染め 紙縫りに墨書、横笛（竹製、短刀（柄付、平造り、内反り、現在白鞘を装す）、鈴（銅製鍍金、頸部内面に渡した竹棒に吊り下げ）、紙胎漆塗り箱（紙胎漆塗り 内に毛髪を納める）、以上のうち經典類は一卷にまとめ、横笛・短刀と共に像内に架した棚板の三つの穴に挿していた、その他人骨及び毛髪二十六包

左脇侍 仁王般若經（各紙本墨書、二冊、折本 卷上 三十三頁第四行目段落に弘長貳年六月七日、卷下 二十四・二十五頁に執筆僧、文永七年八月日）、その他人骨

右脇侍 数珠、人骨及び爪七包

三〇 地藏菩薩像

千葉 高福寺 文永十一年（一二七四）前後

檜、寄木造り、漆箔・彩色、玉眼 八七・九

銘記 像内左側頭部墨書（□□辰□月十九日、檀主）、像内右側頭部墨書（大仏師覚尊）

三二 阿弥陀如来及び両脇侍像 千葉 満光院／千葉 善福寺 文永十一年（一二七四）

三編

各銅造、鍍金 阿弥陀如来四五・八、左脇侍三三・三、右脇侍三三・五

銘記 阿弥陀如来 体部背面陰刻（善光寺如来治鑄、願趣、文永十一年三月十七日、願主（相模国鎌倉新大仏住侶）

左脇侍 体部背面下方陰刻（文永十一年三月十七日）

右脇侍 体部背面下方陰刻（文永十一年三月十七日）

三三 四天王像

奈良 薬師寺 文永十一年（一二七四）

四軀

持国天 檜、寄木造り、彩色・漆箔、玉眼 一七〇・五 光背 檜、彩色

増長天・広目天 各檜、寄木造り、彩色・漆箔 増長天一七三・五、広目天一七二・

〇 光背 各檜、彩色（大半新補）

多聞天 檜、寄木造り、彩色・漆箔・切金、玉眼 一七四・二 光背 檜、彩色

（大半新補）

銘記 増長天 像内頭部左側面墨書（「文永十□／□五□」）、首柄背面墨書、左足柄

正面墨書（西院四□□）、右足柄正面墨書（四天王、□永十一年四月二十五日□□）

広目天 邪鬼前方材地付面墨書（薬師寺西院）

多聞天 像内首柄正面墨書（像名）

三三 聖徳太子及び二童子像

奈良 金峯山寺 文永十一年（一二七四）

三軀

聖徳太子 檜、割矧ぎ造り、彩色、玉眼 一五九・一

伝普成童子・伝普建童子 各檜、寄木造り、彩色、玉眼 伝普成童子一〇九・七、伝

普建童子一一・八

納入品 聖徳太子 無量寿経（紙本墨書、三巻 仏説無量寿経卷上〈奥書に文永十

一年六月五日、願主〉、仏説無量寿経〈奥書に文永十一年六月十日、願主〉、仏説

無量寿経上〈奥書に文永十一年六月十一日、於北京東山清水寺辺書写、願主、願

趣〉、仏説阿弥陀経（紙本墨書、一巻 奥書に文永十一年七月十日、願主）、経筒

（竹製、本経筒に上記四巻を納入）、直刀（木製、舍利塔（銅板鍛造製、鍍金 塔

中に舍利（一粒）一包みを納める、舍利包紙の表に金剛藏王真言の一部と思われる

梵字（「*じぎき*」を墨摺）、摺仏印仏残欠（文殊菩薩坐像摺仏〈紙本墨摺、一枚、

楮紙 一紙に一体墨摺、五髻の文殊、他に同種の断簡一〇八片あり〉、地藏菩薩坐

像摺仏〈紙本墨摺、二枚、楮紙 一紙に一体墨摺〉、地藏菩薩立像印仏〈紙本墨摺、

九十七枚、楮紙 一紙に一体から六体を押捺、他に同種の断簡三十七片あり〉、大

黒天立像摺仏〈紙本墨摺、三百十二枚、楮紙 一紙に一体墨摺、他に同種の断簡二

百十七片あり〉、法華経・摺仏・散華等残欠（版本法華経巻第四法師品断簡二片、

斐紙か）、摺仏等断片（一括 上記摺仏印仏残欠の一部とみられる小断片多数、及
び台座等を墨摺するもの一片、これら摺仏印仏に挟まっていた紙縫り三本及び紙
片四紙）、散華（紙製彩色、三枚、一枚は残欠）

三四 十一面観音菩薩像、地藏菩薩像、不動明王像

福島 弘安寺 文永十一年（一二七四）

各銅造、漆箔 十一面観音菩薩一九四・六、地藏菩薩九四・〇、不動明王九五・〇

光背 十一面観音菩薩 銅製、漆箔 台座 各銅製

銘記 十一面観音菩薩 光背裏陰刻（此菩薩像、寺領寄進、法用寺、文永十一年八月

八日、僧名）

三五 地藏菩薩像

群馬 円性寺 文永十一年（一二七四）

銅造、鍍金 三一・二

銘記 体部背面陰刻（像名、願主〈信州小方郡白鳥宿住人〉、願趣、文永十一年九月

二十三日）

三六 慈恵大師像

愛知 真福寺 文永十一年（一二七四）

檜か、割矧ぎ造り、彩色、玉眼 八四・九

銘記 像内両脚部から幹部材蓋板にかけて 墨書（願趣、願主、文永十一年十二月

日）、像内両脚部右端墨書（水平面に文永十一年分三体内、願主、三州真福寺慈恵

堂本尊、立ち上がり面に仏師法橋育快〈花押〉）、像内首柄部墨書（育快〈花押〉）

三七 大日如来像

茨城 大日如来奉賛会 文永十二年（一二七五）

檜か、割矧ぎ造り、漆箔、玉眼 三八・一

銘記 像底脚部墨書（奉造立新善光寺僧□□、願趣、大檀那、女大施主、願主、文永

十二年二月、大仏師金剛仏子□□）

三八 愛染明王像

京都 神護寺 文永十二年（一二七五）

檜、寄木造りか、彩色・切金、玉眼 四二・六 光背 木製、彩色・漆箔 台座

木製、彩色・漆箔

銘記 台座上框底面墨書（文永十二年三月十一日始造之、同二十一日終功畢、巧匠法

眼康円行年六十九〈花押〉）

三九 十一面観音菩薩像

島根 浄音寺 文永十二年（一二七五）以前

針葉樹（榧か）、割矧ぎ造り、素地、もと玉眼か 一四一・一 台座 檜、素地

銘記 像内墨書（院豪、十一面観音種子〈蓮台付きの月輪を描いた中に書く〉）

『八束郡誌』本篇（大正十五年）記載（「頭部を取り外す時は、文永〇〇正月〇〇の銘はおぼろげに読むを得べし」）

三 大日如来像 愛媛 仏木寺 建治元年（一二七五）

檜、寄木造り、彩色 一一八・八

銘記 像内背部墨書（願主、建治元年七月二十五日作始、仏師東大寺流行□）、像内
体部背面下方墨書（大願主、興法大師作仏之桶少、此中作入、建治元年七月二十五
日、大日如来本尊始作、大仏師東大寺流）

三 如意輪観音菩薩像 奈良国立博物館 建治元年（一二七五）

檜、寄木造り、素地・切金、玉眼 三二・七

銘記 像内額部墨書（如意輪観音菩薩種子）

納入品 摩訶般若波羅蜜多心經（紙本墨書、一紙、楮紙 奥付〈表裏にかけて記す〉
表に如意輪観自在尊、願趣、藏華藏院、建治元年九月七日、願主、同裏に願主、表
の経文及び奥書の上に上下二段に梵字を列記）、宝篋印陀羅尼（表・北斗総呪
（裏）（紙本墨書、一紙、楮紙 北斗総呪へ七星各真言各一行、九曜星各真言各一行、
十二宮真言四行、二十八宿真言二行、破宿曜障真言二行、尊星真言四行）、八角形
小紙（紙本墨書、一紙、楮紙 表に^{（表）}、裏に^{（裏）}、骨片（表に^{（表）}、裏に^{（裏）}を墨書）

三 金剛力士像 大阪 竜泉寺 建治元年（一二七五）

二軀

各頭部檜、体部広葉樹材、寄木造り、古色塗り、玉眼 阿形三五・七、吽形三五

九・八

銘記 阿形 像内背面腰部墨書（仏師法橋寛慶、建治元年□月八日、施主）^{（表）}

吽形 像内背面腰部墨書（檀那、仏師土佐法橋寛慶、建治元年九月八日）

三 阿弥陀如来像 京都 寿徳院 建治元年（一二七五）

檜、割矧ぎ造り、金泥塗り・漆箔、玉眼 七九・七

納入品 「行清剃除首髮成灰」（二包）、印仏（各紙本墨捺、十四枚、楮紙 阿弥陀如
来立像を各表裏に押捺（一併一判）（一）裏面に六字名号、印仏数の墨書、料紙表は

筑前国守序宣写（建治元年十月二十六日）、（二）表に印仏数の墨書、料紙表に『新古
今和歌集』巻一春上収載の和歌など、法印^{（行清カ）}□□、料紙裏に消息案、（三）裏に印仏数の
墨書、料紙表裏共に消息案、（四）表に印仏数、願文の短句の墨書、料紙表裏共に消
息案、（五）表に六字名号、願文の短文、裏に願文の短文、印仏数の墨書、料紙表は
夢記（□□三年正月一日寅刻夢、同正月七日寅刻夢）、（六）表に印仏数、裏に印仏数、
願文の短句の墨書、料紙表に消息案、（七）裏に印仏数、願文の短句の墨書、料紙表に
『新古今和歌集』巻三夏歌収載の西行の一歌、（八）表に印仏数の墨書、料紙表に『金
葉集』巻四冬収載の和歌、（九）表に印仏数の墨書、料紙表に和歌、（一〇）裏に印仏数の墨
書、料紙表に『新古今和歌集』巻十九神祇収載の慈円の一歌、（一一）表に印仏数、願文
の短文の墨書、料紙表に『新古今和歌集』巻一春上収載の一歌、（一二）表に印仏数の墨
書、料紙表に『西行法師家集』春収載の一歌、（一三）裏に六字名号、印仏数、願文の短
文の墨書、料紙表に『新古今和歌集』巻三夏収載の待賢門院安芸の一歌か、（一四）表に
印仏数の墨書、料紙表に和歌）

三 地藏菩薩像 和歌山 成蓮院 建治元年（一二七五）

檜、寄木造り、彩色、玉眼 一六一・四

納入品 願文・結縁交名等（紙本墨書、十六通、楮紙（一）結縁交名、（二）願文 建^{（治カ）}□□、

此菩薩、下野国カハサ^{（キカ）}□□、僧名、上野国、（三）捨銭注文、（四）捨銭注文 願趣、（五）種
子・真言・定智願文 三帰依真言、五大種子、願趣、建治元年十一月二十九日、願
主、（六）種子・真言・名号・鶴若丸願文 金剛界五仏種子、阿弥陀三尊種子、六字
名号、光明真言か、願趣、建治元年十一月二十九日、願主、（七）墨書紙片 念珠加
持真言か、（八）不動呪・火界呪・光明真言 地藏菩薩種子、梵字慈救呪、梵字火界
呪、梵字光明真言、（九）文書断簡 二月二十一日、僧名（宛名）、（一〇）結縁交名、（一一）結
縁交名 表面折返し面に建治元年十一月□□、裏面に上野国、円福寺、勧進、光明真
言、阿弥陀真言、（一二）文書断簡 文永九年九月二十三日、由良地頭殿（宛名）、（一三）墨
書断片 胎藏界大日真言、建治元年十一月二十九日、僧名、（一四）結縁交名、（一五）結縁交
名 表面に「地藏菩薩御身中奉込／人々名姓事」、同折返し面に建治元年十一月二
十七日、（一六）墨書紙片「あしかゝの／けしくもん」、天聖元宝（銅鑄製、一枚）、骨
片・毛髪・爪（二）括 骨片のうち、一箇に金剛界五仏種子、一個に六字名号などの

名号を墨書)

三三 阿弥陀如来像

鉄造 四六・八

長野 八木常会 建治元年(一二七五)

銘記 体部背面陽鑄(願趣、建治元年十二月日、願主)

三三 法燈国師像

檜、寄木造り、古色塗り、玉眼 八五・八

広島 安国寺 建治元年(一二七五)

納入品 水晶五輪塔(地輪は後補、檜製の小箱に納める)、梵字真言及び仏眼禪師偈

文(紙本墨書、一通、楮紙 仏眼真言、金剛界大日如来真言、胎藏界大日如来真言、

愛染明王根本真言・一字心明・根本一字心明、五大明王種子、歡喜天種子、文殊菩

薩種子、胎藏界大日如来種子、金剛界大日如来種子、金剛薩埵菩薩種子、偈文、吉

祥天種子、^ネ「仏眼仏母・一字金輪等種子」、建治元年十二月十八日、願主)

三三 薬師如来像

榧か、寄木造り、素地・彩色、玉眼 九六・三

兵庫 寿福寺 建治元年(一二七五)

銘記 像内体部背面墨書(法三尺、像名、建治元年十一月日造立)

納入品 如来立像(一木造り、素地 総高五・二)、仏舍利(二個、鈎物質(水晶か)、

包紙(楮紙)付き)

三三 不動明王像

銅造、鍍金 五二・五

京都市 建治二年(一二七六)

銘記 体部背面陰刻(奉治鑄不動明王二童子、願趣、建治二年二月二十八日、大願主

「大和国□□阿闍梨」、大工)

三三 僧形像

針葉樹(檜か)、一木造り、古色塗り 八一・〇

京都 興聖寺 建治二年(一二七六)

銘記 両脚部像底墨書(建治貳年三月九日造立、供養唱導僧、愛宕護山地蔵講衆十四

人)

三四 阿弥陀如来及び両脇侍像

三軀

福島 法幢寺 建治二年(一二七六)

各銅造、鍍金 阿弥陀如来四七・七、左脇侍三四・九、右脇侍三五・三

銘記 阿弥陀如来 体部背面陰刻(奉鑄金銅善光寺阿弥陀如来、願趣、建治貳年二

月)

三四 五智如来像

四軀

新潟 蓮華峰寺 建治二年(一二七六)

阿閼如来・阿弥陀如来・不空成就如来 各榧、割矧ぎ造り、漆箔 阿閼如来四一・二

阿弥陀如来四二・九 不空成就如来四三・〇

宝生如来 榧、割矧ぎ造り、漆箔、玉眼 四三・二

台座 その一・その二・その三・その四 各榧、漆箔

銘記 阿弥陀如来 像内体部正面墨書(建治二年八月十六日、大檀那、大仏師尾張公

是心、僧名)

三四 地藏菩薩像

檜、一木造り、彩色 一六三・一

愛媛 如法寺 建治二年(一二七六)

銘記 左足柄墨書(外側に絵師僧尊実、筆師、内側に大願主、大仏師法橋興慶)、右

足柄墨書(内側に建治二年)

三四 天台大師像、弘法大師像

香川 大興寺 建治二年(一二七六)

天台大師像 檜、寄木造り、彩色 七八・二

弘法大師像 檜、寄木造り、彩色、玉眼 七四・〇

銘記 天台大師像 像内背部下方墨書(建治二年、大願主、大檀那、大仏師法橋佑

慶)

弘法大師像 像内背部下方墨書(建治貳年八月、大願主、大檀那、大仏師法橋佑慶、

東大寺末流、寺名)、像内背部墨書(建治貳年八月二日、大願主、大檀那(讃岐国

多度郡住人)、五輪塔東方発心門の各輪種子(墨描五輪塔の各輪に入れる)、^ネ、^ネ、

胎藏界大日如来真言)、像内体部正面墨書(丹慶法印弟子、大仏師佑慶、東大寺流、

寺名)

三四 薬師如来像

銅造 三九・四 光背 銅板切抜き

山形 慈光明院 建治三年(一二七七)

銘記 体部背面陰刻(奉鑄寺尾薬師如来、建治三年三月八日、勸進)

三五 十二神将像

四軀

静岡 かなみ仏の里美術館 建治三年(一二七七)

各檀、割矧ぎ造り、素地、玉眼 伝卯神九六・六、伝辰神九二・三、伝申神九六・四、
伝亥神九六・二

銘記 伝亥神 像内胸腹部墨書（建治三年四月日、願主、くわはら、仏師土佐法橋誠
□）

三〇 聖徳太子像 奈良 達磨寺 建治三年（一二七七）

檀、寄木造り、彩色、玉眼 九三・七

銘記 像内脚部朱書（大仏師法印院恵、作者法橋院道、建治三年十一月日）

三一 薬師如来像 栃木 薬師堂 建治三年（一二七七）

鉄造、素地 九〇・〇

銘記 体部背面陽鑄（大勸進、大檀那、建治三年十二月^{（十カ）}□八日）

第一三卷 建治四年（一二七八）（弘安八年（一二八五））

三二 阿弥陀如来像 兵庫 寿福寺 建治四年（一二七八）

檀、寄木造り、素地・彩色・切金 七八・三

銘記 像内体部背面墨書（奉造立周三尺、像名、建治四年二月日）

三三 地藏菩薩像 神奈川 慶覚院 建治四年（一二七八）

檀、寄木造り、古色塗り、玉眼 一四七・〇

銘記 像内前頭部墨書（真言か、建治四年三月十一日）、像内面部下半墨書（僧名）

三四 薬師如来像 福島 薬師寺 建治四年（一二七八）

檀、寄木造り、素地 一五八・二 台座 桂、素地

銘記 像内体部背面墨書（像名、大檀那、願主、仏師橘定光、建治四年三月二十六日、
筆師）

三五 薬師如来像 奈良 西方寺 弘安元年（一二七八）

檀、寄木造り、素地 一六七・二

納入品 結縁交名 卷子その一（紙本墨書、楮紙（一）・（四）に一日薬師仏、（二）像名、（四）
に弘安元年六月十七日、（三）・（七）に弘安元年六月十八日、（二）・（六）に六月十八日、（四）に
□元年六月十八日、（三）に弘安元年六月十□の墨書）、卷子その二（紙本墨書、楮紙

（一）に一日薬師仏、（四）に一日造立供養薬師仏、（三）に□造立薬師仏、（五）に□日薬師仏造
立養供□、（一）に弘安元年六月十七日、十八日、（七）に六月十八日薬師如来供養錢、（三）
に□ 年六月十八日、（三）に六月十八日、（三）に六月十□日の墨書、台紙貼（甲）

（結縁交名（一）（五）・（五）（七）に十八日、（六）（二）に弘安元年六月十八日、（六）（三）に□□年六
月十八日（八は七の上に重ね書き）、（七）（四）・（六）（五）に□月十八日、（三）（二）に六月十□、
（四）（四）に一日薬師仏、（三）（一）に□月十七日、（四）（三）に八日一日、（四）（八）に□七日、（四）（二）に薬
師仏用途、同（四）に薬師、（四）（三）に弘安□、（四）（九）に造立、台紙貼（乙）（結縁交名（六）
一（二）に□月十□、（六）（三）（八）に□□六□□、（六）（三）（九）に十八、（四）（一）に一日薬師）

三六 阿弥陀如来像 埼玉 蓮馨寺 弘安元年（一二七八）

木造、寄木造り、金泥塗り・漆箔、玉眼 七二・〇

納入品乃至銘記 『川越市の文化財』（昭和四十七年）記載（胎内に数体の木棟を蔵し、
そのうちもつとも古い天明六年（一七八六）の墨書銘によると、もとは「阿弥陀仏、
法橋寛慶作、弘安元丙寅（一二七八）七月十一日」と書き記した紙片がお首の内に
あつたが、何分にも虫喰いがひどいため、このように再写しておいたとある）

三七 十一面観音菩薩像 栃木 道坂観音堂 弘安元年（一二七八）

檀、一木造り、素地 一五四・二

銘記 像内体部正面墨書（像名、願主、仏子堯尊、弘安元年閏十月日）
師

三八 弥勒菩薩像 神奈川 称名寺 弘安元年（一二七八）

檀、寄木造り、金泥塗り・切金、玉眼 一九二・一 光背 檀、漆箔・黒漆塗り

台座 檀、彩色・漆箔 獅子に玉眼

銘記 像内面部墨書（僧名、円□、大ふし（大仏師か）、建治二年三月三十日）、像内
後頭部墨書（願文、けんち二ねん三月三十日）、その他、台座慈受座上面に人物頭
部二、同下面に人物頭部四を白土で描いた戯画

納入品 法華經（紙本墨摺、八巻）、三劫三千仏印仏（紙本墨捺、三巻（もと三包、
紙に包む）印仏は如来坐像、一体一版（一）過去巻、（二）現在巻 寺名、願趣、本紙
第三紙右端裏に大日如来法身真言、大日如来報身真言、金剛界五仏種子、胎藏界
五仏種子か、本紙第二十紙右端上に大日如来真言、大日如来報身真言、大日如来
応身真言、（三）未来巻 包紙に寺名、願主、弘安元年十一月二日奉籠）、平氏女ゑん

さい願文（紙本墨書、四紙、楮紙 「ミのくわんをみろくの御身の中に／こめた
たてまつる」、けんち三年四月十三日、願主）、ふちわらの女願文 その一（紙本
墨書、一紙、楮紙 こうあんくわん十一月一日、願主）、ふちわらの女願文 そ
の二（折紙、紙本墨書、一紙、楮紙 こうあんくわん十月十五日、願主）、ふち
わらの女願文 その三（紙本墨書、一紙、楮紙）、ふちわらの女願文 その四（紙
本墨書、一紙、楮紙）、しんくわん願文 その一（紙本墨書、二紙、楮紙 こうあ
んくわん十一月一日、願主）、しんくわん願文 その二（紙本墨書、一紙、楮
紙 こうあんくわん十一月一日、願主）、れん心願文（紙本墨書、二紙、楮紙
その二にこうあん元年十一月一日、願主）、源かたる願文（紙本墨書、一紙、楮紙
願主）、そうし房願文（紙本墨書、一紙、楮紙）、某願文 その一（紙本墨書、一紙
楮紙）、某願文 その二（紙本墨書、一紙、楮紙）、某願文 その三（紙本墨書、一
紙、楮紙）、某願文 その四（紙本墨書、一紙、楮紙 表に□ろくほさつ）、為結縁
三刀奉彫在家衆名（紙本墨書、一紙、楮紙 弥勒、寺名）、断簡（紙本墨書、八通、
楮紙（八）の裏に実時）、消息経（紙本墨書、一紙、楮紙 一切如来心秘密全身舍利
宝篋印陀羅尼（漢字）、九重守（紙本墨摺、一卷 仏・菩薩・明王・天部の図像、
種子曼荼羅・真言等を摺写）、舍利容器（木製、彩色）、筆（竹製）、ようじ（木製）、
筆（竹製、先端が篋状で、黒漆状のものが付着、八双残欠（竹製）、針（鉄製）

三五

十一面観音菩薩像

櫃乃至檜、割矧ぎ造り、彩色 八五・九

銘記 像内背部墨書（奉造立周三尺十一面観世音菩薩、弘安元年十一月日）

三六

持国天像、増長天像

各板（一部檜併用）、寄木造り、彩色・漆箔、玉眼 持国天像二七一・五、増長天像
二七一・九

銘記 持国天像 像内背面上部墨書（胎藏界大日如来種子・金剛界大日如来種子・
金剛薩埵種子・広目天種子か、僧名、真言、持国天種子、持国天真言）、像内背面
腰部墨書（大勧進、願趣、執筆僧、弘安二年三月九日、大仏師法橋正快、法橋祥賢、
法橋全承、法橋祐尊、僧定賢、僧定喜）

増長天像 像内背面上部墨書（増長天種子、三帰依の真言、増長天種子・胎藏界大日

如来種子・金剛薩埵種子・多聞天種子か、僧名、真言、増長天真言か）、像内背面
腰部墨書（願趣、弘安二年卯月一日、大仏師法橋正快、法橋祥賢、法橋全承、法橋
祐尊、僧定賢、僧定喜、大勧進、執筆僧）

三七

不動明王像

檜、一木造り、古色塗り、玉眼 六二・七

銘記 像内頭部正面（額辺）墨書（用途三貫文）、像内後頭部墨書（下方の一部は矧
ぎ面にかかる 弘安二年四月二十八日、不動明王種子、行者、「モス」〈百舌鳥か〉、
大仏師□□□□）

三八

不動明王像、毘沙門天像

各桂、一木造り、彩色・切金 不動明王像一三四・二、毘沙門天像一四三・三

銘記 不動明王像 像内背部墨書（不動明王慈救呪、火界呪）、像内腰部墨書（弘安
二年四月一日、奉造立不動明王并毘沙門天王形像、造立采絵用途、勧進、檀那、仏
師僧永慶）、像内胸腹部墨書（不動明王種子）、像内膝部墨書（僧名）
毘沙門天像 像内背部墨書（毘沙門天真言）、像内腰部墨書（奉造立不動毘沙門木造
采絵用途、弘安二年三月二十九日、勧進、檀那、僧名、仏師永慶）、像内胸腹部墨
書（毘沙門天種子）

三九

阿弥陀如来像

檜、寄木造り、金泥塗り・漆箔、玉眼 七九・一

納入品 仏説阿弥陀経（紙本墨書、一卷、楮紙 仮名書、奥書に願趣、文永四年二月
二十七日）、印仏切紙（巻紙、紙本墨捺、七巻、楮紙 仮名書、印仏は来迎形の阿
弥陀如来立像、一体一版 紙背は（一）5①かりうくるせにの事 文末にこうあん三
年六月二十二日、（二）6①かりうくるせにの事 文末に弘安三年四月二十五日、（三）
12①かりうくるせにの事 文末にこうあんにねん九月十六日、（四）13①弘安二年人
く銭借事 弘安元年九月、弘安二年十二月、同二年正月、同五月、同九月、同三
年正月、（五）13⑤かりうくる日吉上分物料銭事 文末及び端裏書に弘安元年七月二
十日）、印仏切紙（綴じ、紙本墨捺、七束、楮紙 上記印仏と同版の阿弥陀如来
立像の印仏一体を押捺、紙は印仏一体ずつに切断、紙背に「弘安三年」、三帰依文、
七仏通誠偈などの墨書）

三六 阿弥陀如来像

福島 光岩寺 弘安三年（二二八〇）

檜、寄木造り、漆箔、玉眼 七七・七

銘記 像内頭頂部墨書（仏眼真言小呪）、像内頸部前面墨書、像内後頭部上方墨書（一字金輪真言）、像内胸部上方墨書（阿弥陀三尊種子か）、像内胸部墨書（無量寿如来根本陀羅尼（阿弥陀大呪）、像内腹部墨書（願主（肥後国宇土郡内馬瀬住人）、阿弥陀小呪、弘安三年五月十四日、執筆僧）、像内背部上方墨書（梵字光明真言）

三六 観尊像

奈良 西大寺 弘安三年（二二八〇）

檜、寄木造り、彩色、玉眼 九一・〇

銘記 像内前頭部墨書（二字金輪種子、仏眼仏母種子、弁財天種子、胎藏界大日真言など）、像内後頭部墨書（二字金輪種子、五大種子、胎藏界五仏種子、金剛界五仏種子、大日如来心身真言、阿闍梨位大事真言、文殊八字呪、吉祥天種子など）、像内肩から胸部にかけて 墨書（金剛界曼荼羅成身の五仏・十六大菩薩・四波羅蜜菩薩・四摂菩薩・内・外の四供養菩薩、その周囲の四隅に四天王、四方に四大明王（か）を梵字で記す）、像内背部墨書（弘安三年八月二十六日、大仏師法橋上人位善春、春聖、善実、堯善、寺名、像名、胎藏界曼荼羅中台八葉院の大日如来・四仏・四菩薩、地藏、般若菩薩、四大明王を梵字で記す）、像内左肩背面墨書（西林寺僧大方広仏華嚴經、成唯識論の經文）、像内背面左肩下り墨書（僧名、願趣、弘安三年八月二十七日造立畢、西大寺宝塔院観尊大德真影）、像内背面右肩及び背面右肩下り墨書（勝鬘獅子吼一乘大方便方広經の經文）、両脚部墨書（梵網經、四分律比丘戒本（七仏略戒）、成唯識論の經文）

納入品 八角五重塔（銅製鍍金）、円筒形容器（銅製鍍金 円筒のまわりに銅線を巻き付け、身側を半月形木片に嵌め込み、額中央の裏に接するように像内頭頂に納める、円筒内部はX線CT撮影の所見によれば円筒形容器（鉢物製あるいは陶製か、内部に鉢物あるいは金属製の粒状物三十数顆を籠める）と蓮実形容器（内部に細粒状の物を籠める）を籠める）、錦枕、舍利安置状（紙本墨書、一通 奉安置西大寺、釈迦如来御齒舍利三粒納金銅五輪塔、奉納経緯、文永七年三月六日、願主）、種子両界曼荼羅（紙本墨書、一卷）、梵網經（紙本墨書、一帖、雁皮紙 表に上巻及び般若心經、法華經寿量品偈、唯識三十頌、文殊五字真言、裏に下巻を書写、上巻奥

書に建治二年十月十九日写之畢、願趣、執筆僧、表末尾奥書に弘安三年九月一日記、願主、裏末尾奥書に弘安元年十二月二十二日、願趣、願主）、大仏頂陀羅尼啓請法・五種陀羅尼真言等（紙本墨摺・墨書、一卷、本紙雁皮紙 梵字大仏頂陀羅尼・白傘蓋陀羅尼・法身偈・補闕真言を墨摺した後に、梵字大随求陀羅尼・一切如来心真言・一切如来心印真言・一切如来金剛被甲真言・一切如来灌頂真言・一切如来結果真言・一切如来心中心真言・一切如来随心真言・宝篋印陀羅尼・仏頂尊勝陀羅尼・千手陀羅尼を墨書、第八紙刊記に弘安二年二月八日、願主（河州西林寺比丘）、第九紙に弘安二年五月二十三日、願主、陀羅尼真言等奥書に、願趣、弘安三年九月六日、願主）、法華經（紙本朱書、十卷、薄手楮紙 卷第一の首に弘安二年十二月十二日書写畢、僧名、卷第三の奥書に僧名、弘安二年十一月十一日於弘正寺書写之了、卷第四の奥書に僧名、卷第五の奥書に弘正二年十二月十一日書写畢、願主、卷第六の奥書に此御經於南閭浮提大日本国伊勢国天照大神宮奉西時書写、弘安二年十一月十二日、執筆僧、卷第七及び卷第八の端裏に僧名、卷第八の奥書に弘安二年十一月十四日、願趣、願主）、無量義經（奥書に弘安二年十一月十一日書写、於伊勢国弘正寺書之、願趣）、觀普賢經（奥書に願趣、願主、弘安二年十一月十一日）、般若心經（紙本朱書、一卷 奥書に弘安二年十一月十三日書写畢、願主）、觀海願文（紙本墨書、一通 弘安三年九月十二日、願主）、木箱・包紙等（一括 外包紙、麻の撚り紙、内包紙、撚糸封、紐残片（墨書で僧名や朱書で般若寺などの記がある）など、朱書法華經及び心經に付屬）、般若理趣經（紙本墨書、一卷 奥書に願趣、弘安二年九月□、僧名）、般若心經（紙本墨書、一卷 奥書に弘安二年九月□、僧名）寺一室寫畢、願主）、悲華經（紙本墨書、二卷 卷第六の奥書に弘安三年九月四日於南都西大寺書写了、願主、卷第七の奥書に弘安三年九月三日書写畢、願趣、願主、同年同月日於西大寺僧坊一室持仏堂書写）、金光明最勝王經（紙本墨摺、十卷（奥書に願趣、奉納西大寺観尊大德真影之中、弘安三年九月十日、願主）、四分戒本（紙本墨摺、一卷）、梵字經（紙本墨摺、六冊、粘葉装）、瑜祇經諸真言（紙本墨書、一卷 奥書に弘安三年八月晦日校止了、願主）、墨書紙片（三通）、供養法日数（紙本墨書、一卷）、自誓受戒記等（紙本墨書、一卷 嘉禎二年九月観尊等自誓受戒記、寛元三年九月観尊願文、宝治元年五月観尊等願文、同年

七月覺盛等願文、同年七月貞俊願文、宝治元年八月嚴貞願文、宝治二年三月惣持願文、文永七年正月澄慧願文、文永九年三月澄慧願文のほか建長元年四月二十三日敬田寺禪心等三人、宝治二年三月道基、宝治二年七月法華寺住尼慈善等三人の名を記す、西大寺有恩過去帳（紙本墨書、一卷 奥書に、納西大寺衆首大徳真影之内、弘安三年九月十日、願主）、授菩薩戒弟子交名（紙本墨書、三卷 甲・乙・丙卷の各奥書に弘安三年九月十日、於西大寺西僧坊記之、納西大寺衆首和尚大徳真影中、願主、甲巻の別紙に自寛元二年至弘安元年）、父母遺骨（二包 内包み「父母西大」の墨書）、外包み「父母遺骨」の墨書、錦袋、麻袋から成る、願文（紙本墨書、三通）（一）文永三年九月願文 表に寺名、裏に三月十日、□□十一日、ふんゑい三ねん九月二日、願主、（二）弘安三年八月願文 表に寺名、裏にこうあん三年八月二十九日、（三）比丘尼尊^{（願カ）}願文 折紙 願主、この他に比丘尼願文の残欠と思われる二片あり、願文（紙本墨書、十五通）（一）宝治元年尼真妙分 折紙 願主、宝治元年六月八日、（二）建治二年僧実善分 建治二年五月二日、願主（於西大寺宝塔院受比丘戒）、（三）弘安三年尼^{（神カ）}を^{（廿七カ）}□みつ分 こあむ三年八月□□日、願主、（四）弘安三年尼忍^{（神カ）}□分 弘安三^{（廿七カ）}□九月二日、願主、（五）弘安三年尼了禪分 弘安三年九月三日、願主、（六）弘安三年僧行如分 弘安三年九月四日、願主、（七）弘安三年蓮基分 紙背に弘安三年九月六日、於西大寺西御坊書写之畢、願主、同年正月誓願、（八）弘安三年僧朝賢分 弘安二年七月九日、願主、同三年九月七日詮出之、（九）弘安三年僧専真分 弘安三年九月八日、願主、（三）弘安三年僧誓度分 願主、弘安三年九月八日、西大寺□四室□、（二）弘安三年尼妙源等分 弘長二年正月二十一日、正嘉二年十一月十五日、紙背に弘安二年二月十七日、弘安三年九月十一日、願主、（三）僧賢善分 文永九年四月十九日から弘安三年八月二十三日までの受戒の年紀、裏書に願主、（三）照聖分・（四）尼すんち分・（四）ゆうかい分 各願主、寛誓祈願文（紙本墨書、一卷 第一紙に文永十二年□□十二^{（日カ）}書写、文永十二年暮春十二日心経両三卷書写、第三紙に文永十二年暮春十二日心経両三卷書写）、同心祈願文（紙本墨書、一通 僧名、願文等残片（紙本墨書、一括）、木札（檜、一枚、表に「善心」の墨書、裏に膠接着痕）

三三 四天王像

奈良 東大寺 弘安四年（二二八）

四軀

持国天・增長天・多聞天 各檜 寄木造り、彩色・漆箔、玉眼 持国天八六・二、增長天八八・八、多聞天八九・五 光背 各銅製
広目天 桜、寄木造り、彩色・漆箔、玉眼 八八・九 光背 銅製
納入品 持国天 五輪塔（白檀材、舍利（長石）を納入）、金光明経四天王品第六（紙本墨書、一卷、楮紙 卷末に願文、弘安三年夏比造始、同四年三月二十三日納此願文、願主（東大寺新禅院）、持国天神呪・般若心経（紙本墨書、一卷、楮紙 端裏に「持国天」、巻首に持国天種子を墨書、その下に刀を墨描）

増長天 五輪塔（白檀材）、金光明経四天王品第六（紙本墨書、一卷、楮紙 卷末に願文、弘安四年三月二十三日、願主）、增長天神呪・般若心経（紙本墨書、一卷、楮紙 端裏に「増長天」、巻首に増長天種子を墨書）
紙 端裏に「増長天」、巻首に増長天種子を墨書

広目天 五輪塔（白檀材）、金光明経四天王品第六（紙本墨書、一卷、楮紙 卷末に願文、巻末裏に願主）、広目天神呪・般若心経（紙本墨書、一卷、楮紙 端裏に「広目天」、巻首に広目天種子を墨書）、包紙（楮紙、一枚、上記広目天納入品を包む 表に「広目天」の墨書、裏に願文、四天王）

多聞天 五輪塔（白檀材、楮紙に包んだ舍利（長石）を納入）、金光明経四天王品第六（紙本墨書、一卷、楮紙 卷末に願文、願主）、多聞天神呪・般若心経（紙本墨書、一卷、楮紙 端裏に人名、「多聞天」、巻首に願文、多聞天種子を墨書、願文（紙本墨書、一通、楮紙 四天造立、弘安四年三月二十八日、願主）、包紙（紙本墨書、一枚、楮紙、上記多聞天納入品を包む 表に「多聞天」の墨書、裏に願文）

三三 男神像、女神像頭部残欠

神奈川 高来神社 弘安五年（二二八）

男神像 檜、寄木造り、彩色、もと玉眼か 一三三・〇
女神像頭部残欠 檜、彩色、もと玉眼か 長二九・五

銘記 男神像 像内後頸部墨書（弘安五年二月四日、勧進）
女神像頭部残欠 内部（頸部前面）墨書（弘安五年二月四、勧進）

三三 僧形八幡神像

埼玉 峯ヶ岡八幡神社 弘安五年（二二八）
檜、寄木造り、彩色・金泥塗り・切金、玉眼 二三・五 光背 木製、彩色・切金
台座 木製、彩色

納入品 願文（紙本墨書、二十通、薄様紙（薄地の雁皮紙）（一）清原光兼願文・（三）重

直願文に弘安五年七月二十三日、(二)藤原宣盛願文・(四)藤原氏願文・(六)坂上氏願文・

(七)某願文の下段・(八)きやうしん願文の裏面に、こうあん五ねん七月二十三日、(五)藤

原女願文に、こ^{（うカ）}あん五ねん七月二十三日、(九)いねつる願文・(三)しやうくわん願

文・(三)藤原かうたい願文・(三)やさ願文に七月二十三日、(二)坂上せんしん願文に□

月二十三日の年紀、(四)よつのわう願文・(四)平王寿願文・(六)平のふかた願文・(七)藤

原女願文、(二)藤原をにやこ願文・(二)某願文は年紀なし、般若心経(二

通)(平宗泰書写般若心経 奥書に弘安五年七月二十三日、願主、(二)源氏書写般若

心経 奥書に弘安五月七月二十三日、願主、願文断簡(十二紙及び二片 (一)に□

□月二十三日、(九)に□ち月二十、包紙等(五枚、(一)・(三)に願主)

三六 地藏菩薩像 奈良 長谷寺 弘安六年(二二八三)

檜、寄木造り、彩色・切金、玉眼 八〇・七

銘記 像内背面裾部墨書(仏師専^{（恵カ）}□、弘安六年三月二十日)

三六 金剛力士像 大阪 法道寺 弘安六年(二二八三)

二軀

各櫓及び針葉樹(檜か)、寄木造り、彩色 阿形二六三・五 吽形二六八・七

納入品 吽形 木札(一枚、檜材 表に鉢峯寺二王、僧名、檀那、勸進、裏に弘安六

年四月二十八日造^{（立カ）}□大仏師出雲法橋円慶、大仏師大輔法橋定猷、但馬法橋慶晉

猷尊、願心)

三七 阿弥陀如来像 栃木 専念寺 弘安六年(二二八三)

鉄造、素地 三五・〇(現状) 台座 鉄造

銘記 体部背面陽鑄(奉誦誦阿弥陀經百卷、弘安六年十月二十五日)

三六 十一面觀音菩薩像 福島 泉觀音堂 弘安六年(二二八三)

檜、寄木造り、素地 一六〇・五

銘記 像内背部中央墨書(金剛界大日如来種子、大日如来法身真言、像内背面左腰

部墨書(弘安六年十二月二十日、胎藏界大日如来報身真言、金剛界大日如来種子)

三六 慈恵大師像 滋賀 高野神社 弘安六年(二二八三)

檜、寄木造り、彩色、玉眼 七六・七

銘記 『仏像彫刻』(昭和十一年)記載(「頭部内面に弘安六年十二月二十日法眼院信

の墨書銘がある」)

三七 無関普門像 京都 龍吟庵 弘安七年(二二八四)

檜、寄木造り、彩色、玉眼 八〇・四

納入品 五輪塔(木・水晶製、地輪紫檀製、水輪水晶製、火輪栴檀か、風輪黒檀か、

空輪堅木 内部に金製筒型舍利容器、舍利容器の内に舍利(白三、黒二、木片一

を納める)、緑瑠璃舍利壺、錦袋(二枚分 その一は青地錦、他に薄茶色の絹一枚

付属、その二は赤地錦で袋状、現状三片に分離)、諸尊圖像陀羅尼(九重守)(紙本

墨摺、一巻、淡黄色の雁皮紙 各種圖像、種子曼荼羅・真言・陀羅尼を摺る)、六

字種子(紙本墨書、一紙 六箇の円相内に、阿弥陀、薬師、普賢延命、地藏、愛染

王、烏芻沙摩の種子を、各右側に尊名を墨書、古写経断片(四片)、香木(伽羅と

伝える茶褐色の香木片)、水環(銅製)、銀箔(三枚)、小箱(檜材 上記に列記し

た納入品を納める)、五輪塔(木製彩色)

三七 大威徳明王像 大分 吉祥寺 弘安七年(二二八四)

針葉樹(榎か)、割矧ぎ造り、彩色 四九・九 台座 樟、彩色

銘記 像内胸上部墨書(胎藏界大日如来種子、^{（一）}、^{（二）}、逆出か)、像内体部背面墨書

(法橋覚昭、□年歳次甲申七月十一日、僧名)、台座 水身体部内右側面墨書(胎藏

界大日如来種子、金剛界大日如来種子、大威徳明王種子、奉造立豊後州三重郷広福

寺、願趣、弘安七年七月十一日、大檀那願主、小知識、大仏師三河法橋覚昭)

三七 阿弥陀如来像 京都 正法寺 弘安八年(二二八五)

針葉樹材、割矧ぎ造り(もしくは寄木造り)、金泥塗り・彩色・切金、玉眼 九六・

五

銘記 像内眼部玉眼当て木墨書(「なもあみた仏」)

納入品 玉眼当て紙(その二)(二紙、弘安八年正月二十七日、願主、願文)

三七 薬師如来像 千葉 来福寺 弘安八年(二二八五)

檜、寄木造り、素地 五六・二

銘記 像内胸腹部墨書(こうあん八年八月二十三日、仏師賢光(花押))

三六 金剛力士像 京都 勝持寺 弘安八年(二二八五)

二軀

各針葉樹（檜か）、寄木造り、彩色 阿形二九三・〇、昨形二九一・〇

銘記 阿形 左足柄内側陰刻（弘安八年十月、法眼慶秀、大勸進）

昨形 旧右足柄内側陰刻（弘安八年十〇、法眼湛康、勸進）

三三 阿弥陀如来及び兩脇侍像

広島 西郷寺 弘安八年（二二八五）

三軀

各檜、寄木造り、金泥塗り・切金、玉眼 阿弥陀如来九八・九、左脇侍六六・三、右脇侍六六・四

納入品 左脇侍 阿弥陀如来印仏（紙本墨捺、十五枚、楮紙 来迎形の阿弥陀如来立像、一体一版）

右脇侍 阿弥陀如来印仏（紙本墨捺、十二枚、楮紙 左脇侍分と同版 うち一枚に願趣、願主、弘安八年二月十八日の墨書、包紙一枚に「奉泥仏之御身中入」、大檀那の墨書）

第一四巻 弘安九年（二二八六）正応四年（二二九一）

三二 法燈国師像

和歌山 興国寺 弘安九年（二二八六）

檜、寄木造り、彩色、玉眼 八二・五

銘記 像内頭部正面両（頬辺）朱書（「心地房」「覚心」、僧名）、像内後頭部朱書（仏眼禪師）、像内頭部棚板墨書（僧名）、像内胸部正面（首柄部）墨書（僧名）、像内左裾部墨書（人名）

納入品 宝塔（銅製か、鍍金 塔内に金銅製の火焰宝珠とみられるものを納めるか）、諸尊種子・偈文（紙本墨書、一紙 頭部内の宝塔に巻き付ける 五大明王種子、六観音種子など）、骨蔵器（銅製、鍍金）、経筒（銅製、鍍金 表面に奉納（金地妙法蓮華経一部、金剛般若経一卷、梵網経一卷、仏遺教経一卷、阿弥陀経一卷、般若心経一卷）、弘安九年三月十五日、願主、入道場衆、結縁衆の墨書）

三七 不動明王像

香川 根香寺 弘安九年（二二八六）

針葉樹、割矧ぎ造り、古色塗り、玉眼 一六八・三

銘記 像内体部正面墨書（墨描円相中に金剛界五仏種子、不動明王真言火界呪）、像

内体部背面上部墨書（上部に「あ、ま」、墨描円相中の中央に胎蔵界大日如来種子、周圍に四仏・四菩薩の種子（中台八葉院種子、文殊菩薩種子を欠く）、像内体部背面中央部墨書（像名、弘安九年三月二十五日奉合御身）、像内体部背面下部墨書（不動明王真言慈救呪）

三六 聖徳太子像

大阪 道明寺 弘安九年（二二八六）

檜、割矧ぎ造り、錆漆下地・黒色漆塗り・彩色、玉眼 一〇五・七

銘記 像内頭部正面・背面墨書（各如意輪観音種子）、像内体部正面（胸部）墨書・針書（僧名、胎蔵界曼荼羅中台八葉院種子、下部に不動明王・降三世明王・軍荼利明王種子）、像内体部背面（肩部）墨書（金剛界五仏種子、外供養菩薩種子）、像内裾部正面墨書（仏眼仏母真言、聖観音真言、白衣観音真言）、像内裾部背面墨書（聖如意輪根本陀羅尼、同心呪、同心中心呪）

納入品 細字法華経（紺紙金字、一卷）、大般若経第五百七十八・般若心経（紙本墨書、一卷、楮紙 般若理趣分奥書に奉施入御寺経蔵、建長七年二月二十六日、願主、巻尾に願趣、弘安九年四月七日、願主）、勝鬘経（紙本墨書・血書、一卷、楮紙 巻尾に弘安八年三月十日^{（五カ）}日竟、以下血書で願趣、弘安九年三月十五日、願主）、十大受章・普賢十願・唯識三十頌・般若心経・略法華経（紙本墨書、一卷、楮紙 奥書に願主、結縁者、弘安九年四月八日）、仮名願文（紙本墨書、一通、楮紙）、善光寺如来・太子問答事（紙本墨書、二紙、斐紙）、錦袋（紅地緑青牡丹文錦）、輪切りの白檀木

三九 慈恵大師像

滋賀 金剛輪寺 弘安九年（二二八六）

檜、寄木造り、彩色、玉眼 八三・三

銘記 像内胸腹部墨書（弘安九年卯月十八日始、同五月造立、願趣、蓮妙作（花押）、丑（胎蔵界大日如来種子か）

四〇 金剛力士像

和歌山 長保寺 弘安九年（二二八六）

二軀

各針葉樹、寄木造り、彩色 阿形二六五・七、昨形二七四・三

納入品 文書断簡（四紙 その一 寺名、式天造宮、結縁者、その二 僧名、九 年三月二十〇、その三 紙片二を集めて一紙とする（一）に法橋幸憲、同幸実、そ

の四 紙片十を集めて一紙とする (三)に願趣、年内戌六月二〇、(五)に管仏師、(七)に
大仏師、(九)に月始□六月一日)

三二 役小角像

檜、割矧ぎ造り、古色塗り 七六・九

奈良国立博物館 弘安九年(二二八六)

銘記 像内腹部墨書(弘安九年六月十八日造立、大願主、大仏師慶俊伊与公、願趣)、

像内背部墨書(弘安九年六月十八日造立、大願主)

三三 慈恵大師像

檜か、寄木造り、彩色、玉眼 七七・五

滋賀 延暦寺 弘安九年(二二八六)

銘記 像内背面下方墨書(弘安九年七月□□、飯室谷)

三四 法道仙人像

檜、寄木造り、彩色、玉眼 一四八・五

兵庫 一乗寺 弘安九年(二二八六)

銘記 像内腹部墨書(播州法華山、巧匠賢清、宝道仙人御影、大勧進、願趣、弘安

九年九月二十四日)、像内背部墨書(千手観音菩薩真言乃至金剛法菩薩真言(「日

と「達」の間に「羅」を欠く)、胎藏界大日真言、金剛界大日真言)

三五 阿弥陀如来像

針葉樹(檜か)、寄木造り、漆箔、玉眼 五二・九

京都 某寺 弘安十年(二二八七)

銘記 右足柄外側墨書(弘安十年六月二十日)、左足柄外側墨書

三六 聖観音菩薩像

檜、寄木造り、漆箔・漆塗り・彩色、玉眼 一九三・五

福岡 下木屋聖観音保存会 弘安十年(二二八七)

銘記 像内胸部墨書(願趣、こう安十ねん十月□□、仏師、有実作)

三七 菅田別尊像

檜、寄木造り、彩色、玉眼 九八・六

長野 鳩ヶ嶺八幡宮 弘安十一年(二二八八)

銘記 像内背部墨書(「建治三年丁丑春 造始御頭十二年」弘安戊子五月中 勧進諸

壇造立已)、願主、像内両脚部墨書(願主か)

三八 日蓮聖人像

檜、寄木造り、彩色、玉眼 八四・四

東京 本門寺 正応元年(二二八八)

銘記 像内脚部墨書(大願主二人、正応元年六月八日)、像内首柄墨書(願主)

納入品 骨蔵器(銅製 身側面に陰刻銘(弘安五年十月十三日御遷化、大別当、大施

主)

三九 地藏菩薩像

檜、一木造り、彩色 一五六・〇 光背 木製、彩色 台座 木製、彩色

熊本 青蓮寺 正応元年(二二八八)

銘記 左足先裏面墨書(正応元年八月、僧名)、右足先裏面墨書(正応元年八月十三

日造畢又)

四〇 慈恵大師像

檜か、寄木造り、彩色、玉眼 八四・〇

滋賀 金剛輪寺 正応元年(二二八八)

銘記 像内面部墨書(弘安十年正月三始、正応元年六月十八日造立、蓮妙作)、像内

膝裏墨書(慈恵大師六十六体内、願趣、正応元年九月三日造立、蓮妙自作(花押))

四一 伝伎芸天像、伝梵天像、伝救脱菩薩像、伝帝釈天像

各檜、寄木造り、彩色 伝伎芸天像二〇五・三、伝梵天像二〇四・八、伝救脱菩薩像、

二四〇・三、伝帝釈天像二〇六・三 台座 各木製、彩色

奈良 秋篠寺 正応二年(二二八九)

銘記 伝梵天像 頭部心木墨書(願趣、正応二年七月二十五日、奉行)

伝救脱菩薩像 像内左腰部墨書(正応二年四月十八日、法眼院湛(花押))

納入品 伝帝釈天像 脱活乾漆像体部残欠(各脱活乾漆造り、彩色 背部残欠、条帛

残欠、上背部残欠、左胸部残欠、右胸部残欠、肉身部残欠二個)

四二 毘沙門天像、吉祥天像、善膩師童子像

各檜、寄木造り、彩色 毘沙門天像一五四・五、吉祥天像一〇一・一、善膩師童子像

九五・二 千葉 多聞院 正応二年(二二八九)

銘記 毘沙門天像 像内腹部墨書(奉造立四尺六寸多門王像、願趣、正応元年六月日、

大発起、助成者)

四三 藥師如来像

吉祥天像 像内背部墨書(仏師賢光(花押))

千葉 東福寺 正応二年(二二八九)

四四 不動明王像、毘沙門天像

檜、一木造り、古色塗り 五三・〇

千葉 西福寺 正応二年(二二八九)

銘記 像底墨書(願主、仏師賢光(花押))

四五 不動明王像、毘沙門天像

各檜、割矧ぎ造り、黒漆塗り、玉眼 不動明王像六二・六、毘沙門天像六五・四

銘記 不動明王像 像内背部墨書（仏師賢光〈花押〉）

毘沙門天像 像内胸腹部墨書（仏師賢光〈花押〉）

三六 十二神將像

千葉 瀧水寺 正応二年（一二八九）

十二軀

一号・二号・三号・四号・五号・六号・七号・八号・九号・十一号 各櫓、一木造り、彩色 一号八〇・六、二号七六・七、三号七六・一、四号七七・四、五号七七・五、六号七八・五、七号八七・五、八号六九・三、九号八一・三、十一号七二・〇

一〇号・一二号 各櫓、割矧ぎ造り、彩色 一〇号八〇・〇、一二号七八・三

銘記 二号 左足外側矧材内面墨書（仏師賢光〈花押〉）、左足外側体幹部材矧面墨書

三七 地藏菩薩像

三重 観音寺 正応二年（一二八九）

櫓、寄木造り、彩色、玉眼 七九・八

銘記 像内頸部背面墨書（□〈梵字様の文字〉）、像内両脚部墨書（正応二年庚寅十一月一日、法橋慶円〈花押〉）

月一日、法橋慶円〈花押〉

三八 四天王像

奈良 薬師寺 正応二年（一二八九）

四軀

各櫓、寄木造り、彩色・切金・漆箔、玉眼 持国天一五八・五、増長天一六〇・一、広目天一六二・五、多聞天一六三・五 台座 各木製、彩色・漆塗り

銘記 多聞天 台座方座内部墨書（薬師寺東禅院四天王像、正応二年秋比奉造立之早、仏師大工大夫法眼隆賢住洛陽五条坊門、小工駿賀法橋定秀、永仁四年六月日奉綵之、多聞持国者大仏師観舞房法橋慶允住興福寺、増長広目者絵師大工伊賀法橋有儼住興福寺、棧木下面に多門天、その他、左足柄正面に火焰文の墨描、左足柄内側面に白色の「夕門天」、植物文の墨描、右足柄正面に植物文かとみえる白描、右足柄内側面墨書（多門天）、右足柄外側面に白色の「吞」

持国天 左足柄外側面墨書（国々）、右足柄内側面墨書（持国天）、右足柄外側面に男の顔を墨描

増長天 左足柄正面墨書（天）、左足柄内側面・右足柄正面・右足柄内側面墨書（増長天）、右足柄内側面に白色の「増長天」、右足柄背面に四つ目入り七宝繋ぎの文様

を墨描

広目天 左足柄内側面・右足柄内側面墨書（広目天）

三七 阿弥陀如来及び両脇侍像

千葉 修徳院 正応三年（一二九〇）

三軀

各銅造、鍍金 阿弥陀如来四九・〇、左脇侍三〇・九、右脇侍三〇・一 台座 阿弥陀如来・左脇侍 銅製、鍍金、右脇侍 銅製

銘記 阿弥陀如来 背部陰刻（於下総国匝瑳北条大寺郷、施主、奉建立之、正応三年三月十五日）

左脇侍 背面腰部陰刻（願主）

右脇侍 背面腰部陰刻（願主）

三八 持国天像、多聞天像

福岡 大悲王院 正応四年（一二九二）

持国天像 櫓、寄木造り、古色塗り 一七一・三

多聞天像 櫓、古色塗り 一七二・五

銘記 多聞天像 像内腹部墨書（願趣、造立、正応四年二月十八日、勸進）

三九 金剛力士像

高知 禅師峰寺 正応四年（一二九二）

二軀

各櫓、寄木造り、古色塗り、玉眼 阿形一四二・五、吽形一四五・〇

銘記 吽形 像内首柄正面墨書（願主、仏師定明、正応四年卯月日）

四〇 十一面観音菩薩像

高知 飯積寺 正応四年（一二九二）

櫓、寄木造り、漆箔、玉眼 一七八・七

銘記 像内頭頂部墨書（𑖀𑖳𑖪𑖫〈三字〉）、像内体部背面墨書（𑖀𑖳𑖪𑖫〈三字〉、大願主、寺名、正応四年七月二十日、大仏師法橋円海）

四一 阿弥陀如来像

滋賀 妙応寺 正応四年（一二九二）

櫓、寄木造り、漆箔・古色塗り 一〇〇・七

銘記 像内背部墨書（奉安置近江国蒲生郡大森郷明王堂、願主、像名、仏所相模法橋快全〈花押〉、同宿伯耆円全〈花押〉、正応四年八月日）

四二 如意輪観音菩薩像

滋賀 吉祥寺（井上自治会） 正応四年（一二九二）

櫃乃至櫓、一木造り、素地・彩色 六・〇 光背 銅板製、鍍金 台座 櫃か、

素地（蓮弁・蕊・敷茄子・反花）・彩色（岩座・櫃）

銘記 台座反花裏面墨書（正応四年八月十八日造立、仏子定円、願主）

四〇三 地藏菩薩像

個人蔵 正応四年（二二九二）

檜、寄木造り、素地・彩色・切金、玉眼 九七・三

銘記 左足柄外側墨書（願趣）、左足柄内側墨書（大施主、造法眼院堪）、右足柄内側墨書（「施形」、正応四年九月二十四日造畢）

第一五卷 正応五年（二二九二）～永仁六年（二二九八）

四〇四 聖徳太子像

アメリカ ハーバード大学美術館 正応五年（二二九二）

木造（樹種不明）、割矧ぎ造り乃至寄木造り、彩色、玉眼 六八・〇

納入品 愛染明王像（木造、彩色・切金 像高六・三、全高一〇・三 鎌倉時代 三目六臂、赤色の日輪を負い、蓮華座上に結跏趺坐）、麻袋（二枚の紙で包み、紐で括って腹部内に納置、以下の納入品全てを納めていたもの）、妙法蓮華經（紙本墨摺、折本装、一冊、南宋時代 經意から三十一場面を選んで一続きの画面に描いた口絵と二十八品の經文を墨摺、四明陳高刀（彫師）、人名）、「下巻下之一 二衣篇」（内題）（紙本墨書、冊子装、袋綴）、「懺六聚法篇」（内題）（紙本墨書、冊子装、袋綴、二十一枚）、「三懺蘭中」（内題）（紙本墨書、冊子装、袋綴、二十一枚（内六枚白紙））、錦袋、仏説却温黄神呪經（紙本墨摺、一紙）、妙法蓮華經觀世音菩薩普門品（紙本墨書、一冊、粘葉装）、仏説地藏菩薩經（内題）（紙本墨書、一冊、粘葉装）、「如是我きく一時仏含るこくきすきことくおんにましゝて」に始まる經文（紙本墨書、一冊、粘葉装）、阿弥陀如来印仏（紙本墨捺、一紙 上半に覆肩衣・衲衣・裙を着け、来迎印を結び、頭光を負い蓮華座上に立つ阿弥陀如来像を印捺）、念仏札（紙本墨捺、一紙 「南無阿弥陀仏（決定往生六十万人）」を印捺）、經卷断簡（二枚、各紙本墨書 その二に『妙法蓮華經』授学無学人記品第九の經文）、「可々」字（紙本墨書、十一枚、各一紙）、祈禱・誓願文等（一）四弘誓願（紙本墨書、一紙）、（二）比丘尼正眼・比丘尼俊智・尼觀鏡誓願文（紙本墨書、一紙願主）、（三）仏子思戒他筆四弘誓願等（紙本墨書、一紙 正応五年五月九日、願主）

（四）繼才筆四弘誓願等（紙本墨書、一紙 願主）、（五）仏子寛淨願文（紙本墨書、一紙願趣、願主、正応五年五月九日）、（六）比丘尼理□筆四弘誓願（紙本墨書、一紙表に願主）、（七）ひんしん筆四弘誓願（紙本墨書、一紙 願主）、（八）尼觀鏡願文（紙本墨書、一紙 表に願主、人名、願趣）、（九）沙弥尼性弥等願文（紙本墨書、一紙 願主、本墨書、一紙 願趣、願主）、（一〇）某願文（紙本墨書、一紙）、（一一）明□願文（紙本墨書、一紙 願趣、願主の花押）、（一二）実近願文（紙本墨書、一紙 願主）、（一三）某筆六字名号（紙本墨書、一紙 裏に判読不能の人名、花押）、（一四）「金色ノ字」（紙本墨書、一紙）、紙片（四枚、四紙、各紙本墨書）、「真如」の説（題名を欠く）及び「空觀略作法」（紙本墨書、一卷 第二紙に僧名、卷末に弘安五年十月二十七日、この卷子中に以下の仏像等七点を巻き取っていた）、毘沙門天像（木造、素地 像高三・六、全高六・四 鎌倉時代 兜を被り着甲し、右手に宝棒を握り、右足を休めて岩座上に立つ）、十二面觀音像（木造、彩色 像高三・六、全高四・五 鎌倉時代 左手は屈臂して挙げ、右手垂下、蓮華座上に直立する）、地藏菩薩像（木造、彩色 像高五・四、全高六・〇 鎌倉時代 覆肩衣・袈裟・裙を着け、右手垂下、蓮華座上に直立する）、薬師如来像（木造、素地 像高四・五、全高五・三 鎌倉時代 覆肩衣を着け、衲衣を偏袒右肩にまとい、左手に薬壺を持ち、右手屈臂し、反花座上に直立する）、十二面觀音菩薩像（厨子入り）（木造、素地 像高三・一、全高三・五 鎌倉時代 厨子 木造、素地・彩色 高四・一、幅一・九 鎌倉時代 左手屈臂して華瓶を、右手垂下して数珠を把り、頭光を負い、蓮華座上に立つ）、愛染明王像（香盒仏）（木製、素地 径三・〇 鎌倉時代 身の内部に仰蓮上に坐す三目六臂の愛染明王像を浅肉に浮彫りする、蓋の内部に蓮華座上の宝瓶とその上に盛った宝珠を浅肉に浮彫りする）、舍利（二十粒 青・黄・茶・薄緑・白等の石と玉）

四〇五 四天王像

京都 岩船寺 正応六年（二二九三）

四〇六 各檜、寄木造り、彩色・切金・漆箔

持国天 一六三・二、増長天 一六六・〇、広目天 一六七・〇、多聞天 一六四・八 台座 持国天・増長天・多聞天 杉、彩色 多

聞天 杉・檜か、彩色

銘記 多聞天 台座框座裏面墨書（像名、願主、工匠法橋頼調、正応六年六月日）

四〇六 愛染明王像 アメリカ フリーア美術館 正応六年（二二九三）

針葉樹（檜か）、寄木造り、彩色・切金、玉眼 三〇・六 台座 針葉樹材（檜か）、

彩色

銘記 台座蓮弁葺軸底面墨書 第一段目（正応六年八月十三日、人名）、同 第二段目（三文字墨消（判読不能））、同 第四段目（正応六年八月十二日始）

納入品 五臓神形・梵字宝篋印陀羅尼・愛染明王真言等（紙本墨描・淡彩、朱書、朱

描、一幅 五臓神形（五臓の主な神を五つの絵図で墨描、淡彩）、^{〔正応カ〕}梵字宝篋印

陀羅尼、愛染明王根本真言、愛染明王五字呪、愛染明王一字心呪、奥書に^{〔正応カ〕}〇〇五年

十一月〇三日、僧名、第四・五紙に上から見た蓮華の図及び朱文字らしきもの（判

読不能）

四〇七 性信像 群馬 宝福寺 永仁元年（二二九三）前後

檜、寄木造り、彩色 八三・六

銘記 像内両脚部正面墨書（仏師大進、絵師善^{〔教カ〕}〇〇）、像内両脚部体幹部正面材墨書（僧

名、執筆僧）

四〇八 弥勒仏像、阿弥陀如来像 佐賀 安福寺／大分 千光寺 永仁二年（二二九四）

各針葉樹（檜か）、寄木造り、漆箔、玉眼 弥勒仏像四三・〇、阿弥陀如来像四二・

六

銘記 弥勒仏像 像内体部正面墨書（安福寺塔本尊、尊名、永仁二年八月五日、大^{〔教カ〕}〇、

小仏^{〔教カ〕}〇）

阿弥陀如来像 像内体部正面墨書（安福寺塔本尊、尊名、永仁二年八月六日、大勧進、

大檀那、大仏師播磨坊寛行、小仏師備後坊）、像内脚部墨書（尊名）、像内体部左側

面墨書（尊名）、像内体部右側面墨書（尊名）

四〇九 地藏菩薩像 和歌山 常喜院 永仁二年（二二九四）

檜、寄木造り、彩色・切金、玉眼 四〇・二 光背 木製、漆箔、周縁部・光脚正

面は銅製鍍金

銘記 像内両脚部朱書（大仏師法印院修、作者法眼院湛、法眼院唱、法橋院亮、永仁

二年九月二十四日）

四一〇 釈迦如来及び両脇侍像（焼失像）

三驅

各檜（右脇侍の後補の頭部・両腰脇部にヒメコマツ）、寄木造り、漆箔、玉眼 釈迦

如来八〇・五、左脇侍五一・五、右脇侍四九・一 光背 釈迦如来 檜、漆箔

台座 釈迦如来 檜、漆箔、左脇侍・右脇侍 各檜、彩色

銘記 釈迦如来 像内体部背面墨書（八月八日造^{〔始カ〕}〇〇）大仏師周防法橋長^{〔實カ〕}〇〇、奉納如法

經一部、尊名、永仁二年十月日造立、大勧進、奉納仏舍利十粒、十月十八日供養、

像内面部下墨書（人名）

納入品 釈迦如来 法華經（各紙本朱書、八巻 巻第八奥書に願趣、正応元年七月

二十二日、於信州諏方郡上宮御社壇書写畢、執筆僧）、包紙（紙本朱書、一紙 願

趣）

四一一 弘法大師像 和歌山 遍照寺 永仁二年（二二九四）

檜、寄木造り、彩色、玉眼 六七・九

銘記 像内体部背面墨書（熊野三御山大仏師良円、永仁二年十月三日造進）、像内両

脚部正面墨書（大伝法院御領小池村、僧名、人名）

納入品 版本種子両界曼荼羅（紙本墨摺、一枚、斐紙）、版本阿弥陀如来及び両脇侍

像（紙本墨摺、一枚、楮紙 画面中央に来迎印を結び、周縁火焰付き二重円光を負

い、蓮華座上に結跏趺坐する阿弥陀如来像、その上方に天蓋、向かって右下方に両

手で蓮華台を捧持する観音、左下方に合掌する勢至菩薩の各立像を配す、上部左右

に短冊形の区画を設け、向かって右方に無量寿經第十八願の冒頭を、左方に同

經重誓偈の冒頭及び種子円相^{〔教カ〕}を記す）、版本地藏菩薩立像（紙本墨摺、四枚、各

楮紙 画面中央に左手に宝珠、右手に錫杖を執り蓮華座上に立つ右斜め向きの地

蔵菩薩像、像の向かって右上方に種子円相^{〔教カ〕}をあらわす、像下方の区画に南都般若

寺、勧進僧、弘安二年正月二十四日の刊記 その一裏面に願趣、弘安十年六月五日

奉迎、人名、その四裏面に奉迎、人名、弘安十年六月五日の墨書、版本弘法大師

坐像（紙本墨摺、一枚、麻紙 画面中央に左手に数珠、右手に五鈷杵を執って牀座

上に坐る右斜め向きの弘法大師を、上方に蓮台つき月輪種子^{〔教カ〕}、^{〔教カ〕}及びそれぞれ

れの上方に飛雲をあらわす)、弘法大師像(紙本墨画、一枚、楮紙 画面一杯に左手に数珠、右手に五鈷杵を執つて椅子上に坐る右斜め向きの弘法大師像をあらわす、上記すべての版本の包紙として使用)

四三 地藏菩薩像 神奈川 光伝寺 永仁二年(二二九四)

檜、寄木造り、漆箔・彩色、玉眼 一六二・八

銘記 像内体部幹部後半二材墨書(願趣、正応五年三月十日、すほうのほうけんけうゆう、□□房康増、とさのほうけう増けい、いよのへんたうきやうほう、□□た房多いほう(花押)、□□たいふつ師康増(花押)、像内頭部墨書(人名、法眼増慶、法橋康定、□□備中康増(花押)、永仁二年十一月二十四日)

四三 持国天像、多聞天像 佐賀 円通寺 永仁二年(二二九四)

各檜、寄木造り、彩色・漆箔、玉眼 持国天像一七〇・六、多聞天像一六八・五
邪鬼 各檜、彩色

銘記 多聞天像 像内体部背面墨書(願趣、永仁貳年十二月日、大勧進、大仏師尾張法眼湛幸、小仏師上総法橋湛誓并美濃)、左足柄外側墨書(人名)

四四 聖徳太子像 兵庫 善福寺 永仁二年(二二九四)以後

檜、割矧ぎ造り、彩色、玉眼 六八・五

銘記 像内体部背面墨書(法印湛幸、湛賀)

四五 阿弥陀如来像 個人蔵 永仁三年(二二九五)

銅造、鍍金 三九・四

銘記 体部背面下半針書(永仁三二二十日、下州大内、人名)

四六 阿弥陀如来及び両脇侍像 茨城 万福寺 永仁三年(二二九五)

三軀

各銅造、鍍金 阿弥陀如来四九・一、左脇侍三三・四、右脇侍三三・六 台座 阿弥陀如来 銅製、鍍金

銘記 阿弥陀如来 像内心木正面陰刻(永仁三年三月十八日供養、大工権守友長(八条猪熊)、大檀那、大勧進)

四七 神像 東京 東京芸術大学 永仁三年(二二九五)

四軀

各広葉樹(散孔材)、一木造り、素地 男神 一四・四、童子神 一〇・七、女神 一

二・六、僧形神 一二・一 台座 僧形神 檜、素地

銘記 付属箱板(檜、素地) 墨書(檀那、若宮二王子、永仁三年卯月日、仏師静深、阿伴)

四八 阿弥陀如来像 埼玉 光明寺 永仁三年(二二九五)

銅造、金泥塗り 四八・二

銘記 体部背面陰刻(白入り)(武州児玉郡新里矢庭、寺名、永仁三八十五、僧名)

四九 聖徳太子像 東京国立博物館 永仁三年(二二九五)

針葉樹(檜か)、一木造り、彩色・切金、玉眼 一四・一 台座 広葉樹(桐か)、彩色

銘記 台座天板裏面朱漆書(永仁三年九月二十六日、於天王寺聖霊院奉造立、同十二月二十八日開眼、同晦日供養、願主、仏師忍性、採色欽成)

五〇 地藏菩薩像 京都市 永仁三年(二二九五)

檜、寄木造り、彩色、玉眼 一六四・八

銘記 像内後頭部墨書(永仁三年、法印院浄)

五二 阿弥陀如来及び両脇侍像 熊本 青蓮寺 永仁三年(二二九五)

三軀

阿弥陀如来 檜、寄木造り、金泥塗り・切金、玉眼 九八・九

両脇侍 各檜、割矧ぎ造り、金泥塗り・切金、玉眼 左脇侍六二・六、右脇侍六二・〇

銘記 左脇侍 右足柄朱漆書(外側に僧名、内側に奉行)、左足柄朱漆書(外側に永仁三、内側に院玄作)

仁三、内側に院玄作)

右脇侍 右足柄陰刻(外側に僧名、内側に奉行)、左足柄陰刻(外側に永仁三年、内側に法印院玄作)

四三 大日如来像 兵庫 宝満寺 永仁四年(二二九六)

檜、寄木造り、金泥塗り・彩色、玉眼 一〇一・七

銘記 像内頭部朱書(意、マ、金剛界大日如来・釈迦如来・薬師如来・阿弥陀如来・観音菩薩・勢至菩薩・金胎大日如来種子、金剛界大日真言など)、像内体部朱書

（正面に永仁四年九月九日、『金剛頂瑜伽最勝秘密成仏隨求即得神變加持成就陀羅尼儀軌』『念誦結護法普通諸部』『瑜祇經』『大日經解題』『大日經』の偈頌、五大種子修行門・発心門・菩提門・涅槃門、金剛界大日真言、背面に金剛宝寺、願趣、大壇那、大勧進、大仏師法眼定運（花押）、定弁法橋（花押）、康意（花押）、三河法橋定盛（花押）、五大虚空藏菩薩・愛染明王・不動明王種子）

納入品 大日如来坐像（木造、彩色、像高四・〇、総高四・六 五智宝冠を戴き、智拳印を結び、右足を上にして結跏趺坐する）、舍利（一包、三十二顆）、舍利注文（紙本墨書・朱書、一通、楮紙 人名、舎利の内訳、端裏書に光明福寺）、般若理趣經・金剛界礼懺（紙本墨書、一帖、楮紙、粘葉装 奥書に弘安三年六月十九日午時書了、人名）

四三 阿弥陀如来像

銅造、漆箔 二九・四

銘記 体部背面陰刻（嘉禎三年三月^{（十カ）}□日、二度永仁四年十一月十一日、願主）

四四 僧形文殊菩薩像

檜、寄木造り、彩色 九四・〇

銘記 像内胸部墨書（寺名、尊名（聖僧大聖文殊師利）、永仁三年十二月日、仏師光嚴、大勧進）、像内頸部右後方墨書（「もん」〈文殊菩薩の初め二文字を記したものである〉）

四五 阿弥陀如来像

銅造、鍍金 四〇・八

銘記 体部背面陰刻（高田国安、人名、^{（永カ）}□仁正月十五日）

四六 觀音菩薩像

銅造、鍍金 二四・四

銘記 体部背面陰刻（高田国安）

四七 十一面觀音菩薩像

銅造 五〇・五

銘記 体部背面下方陰刻（尊名、大空金剛造立、永仁五年三月十六日）

四八 普賢菩薩像

神奈川 興福院 永仁五年（二二九七）

針葉樹（檜）、割矧ぎ造り乃至寄木造り、彩色・切金、玉眼 五〇・三

銘記 像底朱書（奉造立能善本地普賢菩薩像、願趣、永仁五年十二月十五日、願主）

四九 聖觀音菩薩像

長野 長泉寺 永仁六年（二二九八）

檜、寄木造り、金泥塗り・漆箔、玉眼 九八・四

五〇 如意輪觀音菩薩像

京都 宗堅寺 永仁六年（二二九八）

銘記 背部上方中央陰刻（永仁六九月十、願主）、像内面部墨書（永仁六十五^{（清カ）}□）

檜、寄木造り、素地、玉眼 一〇〇・三

五一 台座

奈良 法隆寺 永仁六年（二二九八）

銘記 天板裏面墨書（額安寺、鎌倉極樂寺長老忍性上人、使者二人の僧名、当寺（額安寺）御塔本尊、永仁六年九月一日西大寺奉入、同十月三日当寺安置）

五二 彌勒菩薩像、釈迦如来像、地藏菩薩像、不動明王像、降三世明王像

山形 本山慈恩寺 永仁六年（二二九八）

各ヒメコマツ、寄木造り、素地 彌勒菩薩像九八・四、釈迦如来像五一・七、地藏菩薩像五一・〇、不動明王像九四・八、降三世明王像一〇二・〇

銘記 彌勒菩薩像 像内背部墨書（永仁六年九月十日慈恩寺本仏於如法堂造、同七月二十五日始、仏子侍従法橋寛慶）、像内胸腹部墨書（^{（清カ）}□^{（清カ）}□^{（清カ）}□^{（清カ）}が^{（清カ）}であれば金剛界五仏種子）、四摂真言、胎藏界五仏のうち大日如来を除く四仏種子、彌勒菩薩種子など、執筆僧）

五三 納入品

彌勒菩薩像 宝篋印陀羅尼經・般若心經・諸尊陀羅尼等（紙本墨書、一卷、楮紙 奥書に永仁六年九月十二日、願趣）、宝篋印陀羅尼經并般若心經（紙本墨書、一卷、楮紙 奥書に永仁六年九月十二日午時書写畢、執筆、願趣）、般若理趣經・宝篋印陀羅尼經・般若心經（紙本墨書、一卷、楮紙 奥書その一に願趣、大法主、奥書その二に永仁六年九月十七日書写畢、寺名、願趣、願主）、宝篋印陀羅尼經（二卷 各紙本墨書、楮紙 その一 奥書に願趣、^{（清カ）}□^{（清カ）}□^{（清カ）}□^{（清カ）}年十月四日、その二 奥書に願趣、願主、永仁六年九月十七日）、宝篋印陀羅尼經・諸尊陀羅尼等

蔵、天明八年（一七八八）以降）（十一面観音者法橋円慶之作、永仁六五月朔日）

第一六卷 永仁七年（二二九）正安二年（二三〇）及び補遺第二篇

四四 地藏菩薩像 兵庫 観音寺 永仁七年（二二九）

檜、割矧ぎ造り、彩色・切金、玉眼 七九・二cm

銘記 像内胸部墨書（僧名）

納入品 願文（紙本墨書、一通 願趣、願主、像名、永仁七年三月十五日、願主）

四五 阿弥陀如来及び右脇侍像 神奈川 蓮乗院 正安元年（二二九）

二軀

各檜、割矧ぎ造り、金泥塗り・漆箔、玉眼 阿弥陀如来八一・五、右脇侍六二・四

銘記 阿弥陀如来 像内体部背面墨書（『法華經』第七化城喻品の偈頌の冒頭部分、像名、大仏師播磨法橋宗円、願主、正安元年十月一日造進、願趣）

四六 阿弥陀如来及び両脇侍像 神奈川 浄光明寺 正安元年（二二九）

三軀

阿弥陀如来 檜、寄木造り、金泥塗り・切金・土紋、玉眼 一四一・四

両脇侍 各檜、寄木造り、金泥塗り・切金、玉眼 左脇侍一〇六・五、右脇侍一〇

六・五

納入品 五輪塔（水晶製、一基）、包裂残欠（各錦裂、二枚 水晶製五輪塔を包む）、

造像願文・結縁札等（紙本墨書・朱書、十七点 四に□安元年十一、五に□元年十

一〇八日、五に十一月十日、六に正安元□十一月八日、七に正 元年十一月八日

四七 阿弥陀如来像 香川 個人蔵 正安元年（二二九）

檜、寄木造り、漆箔・彩色、玉眼 八一・三

銘記 左袖内部墨書（大法師遍生）、左足柄部墨書（正安年己亥）、右足柄部墨書（入名か）

四八 大黒天像 滋賀 延暦寺 正安二年（二三〇）

檜、寄木造り、彩色 七六・三

銘記 像内頭部前面材頭頂部墨書（梵字か）、像内頭部前面材右側面墨書（不明）、像

（紙本墨書、一卷、楮紙、包紙添 奥書に永仁六年九月二十三日、願趣、願主 包

紙（紙本墨書、一紙、楮紙）の端裏に永仁六年九月二十三日、奉慈恩寺本仏御身二

入宝篋印陀羅尼經一卷、願主）、宝篋印陀羅尼經・般若心經・諸尊陀羅尼等（紙本

墨書、一卷、楮紙 奥書に永仁六年十月一日）、宝篋印陀羅尼・般若心經・諸尊陀

羅尼等（紙本墨書、一卷、楮紙）、經卷斷簡等 一括（その一と四 紙本墨書、

楮紙）、弥勒菩薩印仏等（1）弥勒菩薩印仏 紙本墨書、一通、楮紙 一体一版の弥

勒菩薩坐像を縦に三、横に六列、計十八体を押捺、各印仏の右上に金額及び人名

の墨書、（2）弥勒菩薩印仏 紙本墨書、二十四枚、楮紙 （1）と同じ弥勒菩薩像を縦に

三、横に六列または七列押捺、各印仏の右上に金額及び人名（僧名・俗人名）を

墨書、（3）弥勒菩薩印仏断片（紙本墨書、二十三片と小片一括、楮紙 僧名の墨書、

（4）包紙（一紙、楮紙）、（5）包紙（四片、もと一紙か）

地藏菩薩像 弥勒菩薩印仏その一（紙本墨書、一枚、楮紙 弥勒菩薩像納入の弥勒菩

薩印仏その一と同様）、弥勒菩薩印仏その二（紙本墨書、三枚、各楮紙 弥勒菩薩印

仏その一に準じる（ただし三枚目は横に七列）、一枚目に僧名、同奥書に願主、同端

裏に「ちそうほさつ」、二枚目に僧名、三枚目に願主、願文（紙本墨書、一通、楮

紙、弥勒菩薩印仏その二の三枚と共に筒状に巻き像内に納入 僧名、

六日、願主）

不動明王像 弥勒菩薩印仏（紙本墨書、二枚、各楮紙 地藏菩薩像納入の弥勒菩薩印

仏その一に準じる、二枚目表に永仁六年十二月□三日、人名）

降三世明王像 弥勒菩薩印仏（紙本墨書、二枚、各楮紙 地藏菩薩像納入の弥勒菩薩

印仏その一に準じる（ただし二枚目は金額・人名は記さない）、一枚目に人名、二

枚目裏に願文、人名）

四九 十一面観音菩薩像 佐賀 福泉寺 永仁六年（二二八）

針葉樹（榧か）、寄木造り、素地・切金、玉眼 二一・二

銘記 像内体部正面前・背面下方墨書（数行を墨で塗り潰す）、像内体部正面上方

陰刻（針書）（「知倫矩」）

関連史料 『開山鉄牛和尚略行状記録』（福泉寺蔵、元禄七年（一六九四））（当山本尊

十一面観世音、尊像ノ内書載アリ、永仁六年五月朔日）、『当山由来伝記』（福泉寺

内首部墨書（梵字）、像内頭部首柄小口墨書（不明）、像内後頭部材正面（正安二年二月十日、同三年採色、僧名）

三〇 十一面觀音菩薩像

大阪 金禪寺 正安二年（二三〇〇）

檜、寄木造り、素地、玉眼 一四五・八

銘記 像内頭部墨書（梵字、五輪種子、觀音種子）、像内頸部正面墨書（梵字）、像内脚部正面から左側面墨書（願趣、正安二年閏七月十一日、人名）、像内脚部背面墨書（願主、願趣、人名）、像内胸腹部正面墨書（上段に『摩訶般若波羅蜜多心經』の主題と本文、下段に日本撰述の偽經『仏説生安王藥師三願經』の主題と本文）、像内体部背面墨書（『觀音經』偈文と末尾の文）

四〇 円鑑禪師像

佐賀 高城寺 正安二年（二三〇〇）

檜、寄木造り、彩色、玉眼 八五・八cm

納入品 般若心經（紙本墨摺、五十三枚、楮紙 包紙表墨書に正安二年九月、宝篋印陀羅尼（紙本墨摺、一卷、楮紙 奥書墨書に願趣、正安年次八月十七日、執筆僧）、包紙（楮紙）、錫箔

四一 阿弥陀如来及び両脇侍像

千葉 清光寺 正安二年（二三〇〇）

三 軀

各銅造、金箔押し 阿弥陀如来四八・〇、左脇侍三四・八、右脇侍三五・〇

銘記 阿弥陀如来 体部背面陰刻（僧名・人名、正安二年九月日）、左脇侍 体部背面陰刻（僧名・人名）

四二 毘沙門天像

奈良 唐招提寺 正安二年（二三〇〇）

針葉樹（檜）、寄木造り、彩色、玉眼 六三・〇 台座 木製

銘記 台座 框底面墨書（正安二年十二月二十八日、供養導師）

補遺三 阿弥陀如来像

滋賀 西願寺 文治四年（二一八八）

檜、割矧ぎ造り、金泥塗り・漆箔 七〇・四

銘記 像内左腰部墨書（文治四年二月七日造立畢、願主）、頭部を除く像内ほぼ全面に（阿弥陀如来種子）を墨書

補遺四 地藏菩薩像

奈良 金屋区 文治四年（二一八八）

檜、割矧ぎ造り、古色塗り、玉眼 三三・六

銘記 像内背部墨書（文治四年三月日）、像内右脇腹部墨書（花押）、像内脚部墨書（井関里造立（花押）、像内脚部陰刻（四月二十一日、人名）

補遺五 阿弥陀如来像

長野 相沢政寿 建久二年（二一九二）

銅造 六・九 台座 銅造

銘記 台座蓮華底面陰刻（建久二年八月□、人名か）

補遺六 地藏菩薩像

愛知 西光寺 建久四年（二一九三）

檜、寄木造り、彩色・切金、玉眼 一五九・六

納入品 諸国勸進地藏菩薩印仏（各紙本墨捺・墨書、七冊・二十綴・十二卷・二十六枚、楮紙 各紙に結縁交名、(一)の表紙に文治三年二月二十二日、(二)の表紙に六月十七□、(五)の表紙に五月五日、第六紙に五月九日、第十二紙に五月十日、第十八紙に五月十九日・五月二十三日、第二十三紙裏に五月二十四日、第二十四紙に五月二十六日、第二十九紙に六月五日、(六)の第十四紙に十二月十四日、第二十紙に十二月十一日、第二十五紙に十二月七日、第三十紙に十二月十日、第三十一紙に七月九日、第三十六紙に七月二十二日、第四十一紙に十一月二十九日、第四十二紙に七月五日、(七)の表紙に十月二十七日、第五紙に十月二十五日、第十紙に十一月一日、第十二紙に十月五日、第十七紙に十月八日、第二十二紙に十一月七日、第二十八紙に十一月二日、(八)の外題に二月十日）、印仏残欠、勸進国名注文、地藏十輪經卷第五・六（紙本墨書、一卷）、地藏十輪經（紙本墨書、四卷）、地藏菩薩本願經（紙本墨書、一卷）、地藏菩薩本願經卷下（紙本墨書、一枚）、大般若經要文等（紙本墨書、一卷）、般若理趣經（紙本墨書、一卷）、無量義經・觀音賢經（紙本墨書、二卷）(一)(二)ともに各行末の野下に人名、華嚴經等（紙本墨書、一卷）、漢字宝篋印陀羅尼（紙本墨書、一卷、雁皮紙か）、仏頂尊勝陀羅尼（紙本墨書、一枚、雁皮紙か）、真言陀羅尼（紙本墨書、一卷 奥書に建久四年正月十八日、裏書状その二に正月七日、裏書状その三に正月八日）、真言陀羅尼（紙本墨書、一枚）、真言陀羅尼（紙本墨書、一卷）、梵字真言陀羅尼（紙本墨書、一卷 裏書状その二に十月二日）、種子熾盛光曼茶羅（紙本墨書、一枚、雁皮紙か）、種子熾盛光曼茶羅・焰摩天曼茶羅（紙本墨書、一卷、雁皮紙か）、種子（紙本墨書、一枚）、墨書紙片、植物の種子（二個）、竹製品、毛髪、焼骨、瑪瑙等（九包）、裂断片（一枚）

補遺七 執金剛神像、深沙大將像 和歌山 金剛峯寺 建久八年（一一九七）

執金剛神像 檜、割矧ぎ造り、彩色 一三六・〇

深沙大將像 檜、寄木造り、彩色 一三六・九

銘記 執金剛神像 像内頸部正面墨書（オ阿弥陀仏）

納入品 執金剛神像 宝篋印陀羅尼（紙本墨書、八通、楮紙（二）・（三）の奥書に建久三年三月二十九日書了、（四）の奥書に建久八年三月二十八日）

深沙大將像 宝篋印陀羅尼（紙本墨書、七通、楮紙、（二）の奥書に□□八三三、（三）の奥書に□□八年三月二十九日、（四）の奥書に建久八年三月二十九日、（六）の奥書に□年三月二十九日）

補遺八 阿弥陀如来像 京都 悲田院 建仁三年（一一〇三）以前

檜か、割矧ぎ造り、漆箔、玉眼 七二・一

銘記 像内頭部墨書（オアミタ仏、その他の阿弥陀仏号、人名）

補遺九 地藏菩薩像 静岡 岩水寺 建保五年（一二二七）

檜、寄木造り、彩色、玉眼 一六六・〇

銘記 左足柄内側面墨書（願主）、右足柄内側面墨書

納入品 五輪塔形木柱（一本、杉材製 塔各輪に五大種子、支柱右側面に五大虚空蔵種子、胎蔵界大日真言、金剛界大日真言、地藏種子、胎蔵界五仏種子を墨書）、蓮台付き月輪（一基、金属製及び木製彩色 正面にオを表す、月輪が胸高にくるようにして五輪塔形木柱の下部に正面より貫通させ末端を下方に曲げる）、建保五年慈含願文・建保三年慈含願文・地藏宝号結縁名帳（紙本墨書、一卷（一）建保五年慈含願文（紙本墨書、楮紙）に像名、願主、建保五年四月二十日始、七月比造立供養、建保五年七月七日、（二）建保三年慈含願文（紙本墨書、楮紙）に像名、願主、建保三年四月八日）、法華経要品等（五巻）、般若心経（紙本金銀字、一紙、紺紙 奥書に建保五年六月十三日）、包紙（楮紙、一紙）、茶地平絹香袋、念珠（木または木実製、一三七顆、包紙添）、刀子（柄・鞘付）、白綾地裂、宋銭（十枚）、木実、獸皮、真綿、浅葱糸、漆塗箱（二口）、横笛（竹製）、蝙蝠扇、運覚造像記（紙本墨書、一紙、楮紙 仏子法橋聖人位運覚、北京於六波羅蜜寺造立之、建保五年七月七日）、結縁交名（紙本墨書、三枚、楮紙）、布断片

補遺三 葉師如来像 千葉 福秀寺 承久元年（一二二九）

針葉樹（榧か）、一木造り、漆箔 一六二・二

銘記 像内背部墨書（勸進、檀主、承久元年八月八日）

納入品 経巻（紙本墨書、一卷 未開巻）

補遺三 男神像 石川 伊夜比咩神社 承久二年（一二三〇）

檜、一木造り、素地 二四・一

銘記 体部背面墨書（像名、承久二年十二月日）

補遺三 阿弥陀如来像 佐賀 弥福寺 承久四年（一二三二）

檜、一木造り、金泥塗り・切金、玉眼 七七・七

納入品 浄土三部経（紙本、未開封 包紙に承久四年正月九日、經典名、大檀那、仏師琳賢）

補遺三 阿弥陀如来像 三重 安樂寺 嘉祿三年（一二三二）以前

檜、割矧ぎ造り、金泥塗り・漆箔、玉眼 七八・五

銘記 左足柄外側墨書（巧匠法眼快慶）

納入品 X線CTスキャン調査により判明、詳細不明（何か丸めたような物体、紙を細く畳んで折り曲げたと見られる品、その上に木片）

補遺四 阿弥陀如来及び両脇侍像 京都 聞名寺 嘉祿三年（一二三二）以後

三軀

各針葉樹（檜か）、割矧ぎ造り、金泥塗り・切金、玉眼 阿弥陀如来八三・〇、左脇侍五九・〇、右脇侍五八・二

銘記 左脇侍 左足柄左側面墨書（法眼行快）、右脇侍 左足柄左側面墨書（巧匠法眼行快）

補遺五 十二神将像 東京 静嘉堂美術館／東京国立博物館 安貞二年（一二二八）

十二軀

子神・寅神・辰神・酉神・亥神 各檜、割矧ぎ造り、彩色・漆箔・切金、玉眼 子神七七・四、寅神八一・〇、辰神七七・三、酉神七一・五、亥神七三・一

丑神・卯神・巳神・午神・未神・申神・戌神 各檜、寄木造り、彩色・漆箔・切金、玉眼 丑神七五・二、卯神七六・七、巳神六九・二、午神七〇・三、未神七〇・一、

申神七〇・九、戌神七五・〇

台座 各檜、彩色

銘記 亥神 像内後頭部墨書（あんてい二ね八月、あんてい二ね九月十七日）

補遺三 不動明王像、降三世明王像 大阪 天野山金剛寺 天福二年（二三三）

不動明王像 櫃（一部朴）、寄木造り、彩色 二〇一・七 光背・台座 木製

降三世明王像 櫃及び朴、寄木造り、彩色 二三〇・一 光背・台座 木製

銘記 不動明王像 像内体部正面上部・正面下部・左側面・右側面墨書（梵字不動

火界呪、梵字不動慈救呪、梵字不動一字呪など）、像内体部背面墨書（像名、願主、

大勧進、造立大仏師法眼行快、小仏師字肥後公、字丹後公、綵色大仏師澄円、願趣、

天福二年三月二十一日、執筆僧）

補遺三 阿弥陀如来及び左脇侍像 滋賀 西教寺 天福二年（二三三）以前

二軀

阿弥陀如来 針葉樹材（檜か）、割矧ぎ造りか、漆箔・彩色、玉眼 八二・一

左脇侍 針葉樹材（檜か）、寄木造りか、漆箔・彩色・切金、玉眼 五八・五

銘記 左脇侍 左足柄外側墨書（巧匠法橋行快）

補遺三 阿弥陀如来像 滋賀 淨信寺 天福二年（二三三）以前

檜、割矧ぎ造り、金泥塗り・漆箔、玉眼 八一・三

銘記 左足柄外側墨書（巧匠法橋行快）、頭部前面材内剖面墨書（阿弥陀

如来種子か）

納入品 念仏結縁名帳（紙本墨書、二巻）

補遺三 阿弥陀如来像 富山 辻徳法寺 文暦二年（二三三）

鉄造 四〇・八

銘記 体部背面右下方陽鑄（文暦二年八月日）、体部背面左腕部陽鑄（大工弘）

補遺三 阿弥陀如来像 愛知 個人蔵 嘉禎三年（二三三）

銅造、鍍金 三〇・五

銘記 背部陰刻（勸進、泉福寺、嘉禎三年十月二十五日）

補遺三 阿弥陀如来及び両脇侍像 神奈川 蓮台寺 延応元年（二三九）

三軀

阿弥陀如来 檜、寄木造り、黒漆塗り・漆箔、玉眼 九七・五

両脇侍 各檜、割矧ぎ造り、黒漆塗り・漆箔、玉眼 左脇侍五九・五、右脇侍五九・

六

銘記 阿弥陀如来 像内体部正面墨書（延応元年十月十七日、僧阿念（花押））

補遺三 阿弥陀如来及び両脇侍像 神奈川 常楽寺 仁治三年（二四二）

三軀

阿弥陀如来 檜、寄木造り、金泥塗り・古色塗り、玉眼 七〇・〇 光背 桂、漆

箔・彩色 台座 檜、漆箔

両脇侍 各檜、割矧ぎ造り、金泥塗り・古色塗り、玉眼 左脇侍八四・八、右脇侍八

六・二 台座 各檜、漆箔

銘記 阿弥陀如来 台座蓮華蓮弁葺き軸第二段目底面墨書（行西（花押）、仁治三年

六月十二日）

補遺三 観音菩薩像 茨城 楽法寺 建長四年（二五二）

檜、寄木造り、古色塗り 一四〇・七

銘記 『雨引山旧記』記載の観音菩薩の台座（古蓮華座）裏書（像名、願趣、建長四

年十一月二日、十二月十七日御堂入仏、勧進、彩色文永二年八月十一日、塗師、文

永二年三月十八日）

補遺三 金剛力士像 千葉 法興寺 建長七年（二五五）

二軀

各杉、寄木造り、彩色 阿形二七一・八、吽形二六三・二

銘記 阿形 像内面部墨書（大檀那、人名、願趣）

吽形 像内面部墨書（右方材に願趣、僧名、人名 中間材に僧名、左方材に□年

□四月二十二日）

参考資料 阿形・吽形両像に納入される天保六年（一八三五）の木札墨書（「建長七

卯年四月日平氏女 建立」）

補遺三 地藏菩薩像 京都 慰称寺 正元二年（二六〇）

針葉樹（檜か）、一木造り、彩色 九一・四 光背 木製 台座 針葉樹（檜か）

銘記 台座仰蓮下端作り出し部底面墨書（願主、正元二年正月二十四日記）

補遺三 地藏菩薩像 兵庫 円教寺 文永四年（一二六七）

檜 寄木造り、黒漆塗り・玉眼 四〇・七

銘記 像内背面墨書（文永四年五月日、僧聖円）

補遺三 地藏菩薩像 滋賀 MIHOMUSEUM 文永六年（一二六九）

檜 寄木造り、彩色・切金、玉眼 五二・三

納入品 舍利容器（木製、一個 内部に舍利かと思われる三粒を納入し、錦袋に納められる）、地藏菩薩像（紙本墨画、二枚、楮紙）、地藏菩薩印仏（紙本墨捺・墨書、一枚、楮紙 各裏面に結縁交名）、地藏菩薩印仏（紙本墨捺、一枚、楮紙）、地藏菩薩印仏（紙本墨捺・墨書、一綴、楮紙 各裏面に結縁交名、(七)に建久八年正月二十日）、万坏供養札（紙本墨捺、一枚、楮紙 薬師如来印仏、新薬師寺）

補遺六 大日如来像 静岡 上原美術館 文永七年（一二七〇）

檜 割矧ぎ造り、古色塗り、玉眼 三〇・九

銘記 像内胸腹部墨書（胎蔵界大日如来真言、五大種子のうち西方菩提門、胎蔵界五仏種子、文殊菩薩真言、金剛界大日真言か）、像内背部墨書（文永七年閏九月二十七日、願主、大仏師法橋行順、僧名）

補遺元 不動明王像、毘沙門天像 和歌山 大泰寺 弘安四年（一二八二）

不動明王像 檜 寄木造り、古色塗り 一〇三・二

毘沙門天像 檜 寄木造り、彩色 一〇四・五

納入品 不動明王像 木札墨書（像名、願趣、弘安四年八月二十八日、仏師生阿弥陀仏、願主、願主）

毘沙門天像 木札墨書（像名、願趣、弘安四年八月二十八日、仏師生阿弥陀仏、願主）

補遺四 阿弥陀如来像 福島 浄泉寺 弘安五年（一二八三）

檜か、割矧ぎ造り、錆漆下地・漆箔、玉眼 七九・三

銘記 像内頭部前部墨書（願趣）、像内三道部墨書（願趣）、像内胸部墨書（願趣）、像内背部墨書（弘安□午〔五年〕二月五日）、像内胸部右側刻面墨書（願趣か）

補遺四 金剛力士像 福井 谷田寺 永仁四年（一二九六）

二軀

各針葉樹（檜か）。寄木造り。彩色 阿形二二七・二、昨形二二七・二

銘記 阿形 像内体部墨書（僧名、金剛御曾木沙弥、寺僧、永仁四年七月三日、谷田寺、大願主、大仏子法橋明慶）

補遺三 神像 兵庫 某所 永仁四年（一二九六）

九軀

各針葉樹、一木造り、彩色 男神その一二三・五、男神その二三八・〇、男神その三一二・〇、男神その四三三・〇、男神その五一八・〇、男神その六二二・〇、男神その七二三・〇、女神その一一八・五、女神その二一六・〇

銘記 男神その二 体部背面墨書（永仁四年二月六日）

男神その四 体部背面墨書（永仁四年二月六日造立供養）

補遺三 聖観音菩薩像 茨城 常福寺 永仁五年（一二九七）

檜、割矧ぎ造り、金泥塗り・漆箔、玉眼 五〇・五

銘記 像内胸腹部墨書（武蔵国浅草寺大御堂自後來柱仍為靈木、像名、願主、作者法橋定快、永仁五年三月十日始）

補遺四 釈迦如来像 広島 浄土寺 永仁五年（一二九七）

針葉樹（檜か）、寄木造り、金泥塗り・古色塗り、玉眼 八六・六

銘記 像内胸腹部墨書（願趣）、像内背部墨書（勸進、永仁五年四月二十二日、願主、僧覚賢）